

令和6年度 富士見市生涯学習推進アクションプラン

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	防災対策事業（地域防災計画等の周知・啓発）	富士見市地域防災計画やそれに基 いたガイドブック、マニュアル等を 周知啓発し、防災知識の向上を図 る。  数値目標：周知・啓発の実施 20回/ 年	「富士見市地域防災計画」や「富士見市防災ガイド ブック」等を周知・啓発し、防災意識の高揚を図る。  継続年数：10年以上 事業予算額：193,600円（R6年度予算：防災ガイド ブック印刷製本費）	実施期間：R6.4～R7.3 対象：市内在住、在勤者 内容：出前講座、富士見防災リーダー養成講座（第10期）	防災ガイドブックに関する内容の出前講座や富士見防災リーダー養成講座等 の講習会において、富士見市防災ガイドブックの配布を行い、防災に関す る周知・啓発を行った。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	危機管理課					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げ ている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					2 手法は概ね適切で ある		
基本目標③	学習成果の発表機会の充実					継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画						富士見市地域防災計画	3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	防災対策事業（防災訓練）	地域・学校・行政が連携した小学校 区合同防災訓練を実施し、防災意識 の高揚及び地域防災力の向上を図 る。  数値目標：1校実施/年	避難所の運営に携わる機関である、地域・学校・行政 がそれぞれ連携協力し、災害時に備えるため、地域の 小学校を会場とした避難所運営訓練等を実施する。 対象：市、会場小学校区の町会、学校、消防など 日時：毎年12月ごろに実施 会場：小学校体育館 講師：市職員、消防職員など 参加費：なし 募集人数：100名程度  継続年数：10年以上 事業予算額：0円（R6年度予算）	関沢小学校区合同防災訓練 日時：令和7年2月1日（土） 会場：関沢小学校体育館等 講師：市職員、前澤化成工業株式会社 参加費：なし 参加人数：129名	協力企業による非常用浄水装置の紹介、段ボールベッド等の組立、避難所 受付訓練、防災設備の紹介、感染対策用防災倉庫見学及び公衆電話回線の 紹介、防災倉庫（屋内）の見学及び簡易トイレの紹介により、来場者に対 し避難所開設の知識を普及するとともに、防災意識の向上を図ることがで きた。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	危機管理課					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げ ている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					2 手法は概ね適切で ある		
基本目標③	学習成果の発表機会の充実					継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画						富士見市地域防災計画	3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	防災対策事業（防災リーダー養成講座）	各自主防災組織に防災の知識を習得 した富士見防災リーダーを養成し、 各地域での防災活動を先導してい た だ く。  数値目標：防災リーダー認証者数 20 人/年	市民の方に防災の知識を身に付けていただくための富 士見防災リーダー養成講座を開催し、自主防災組織の 活動の中核を担う人材を養成する。 対象：各自主防災組織から推薦を受けた方 日時：令和6年6月の土日のうち2日間を予定（詳細 未定） 会場：南畑公民館 講師：危機管理課職員、埼玉県危機管理課、彩の国動 物愛護推進員ちーむふじみ 児島由枝氏、埼玉県自主 防災組織リーダー指導員 菊田高雄氏、跡見学園女子大 学 観光コミュニティ学部 教授 鍵屋一氏 参加費：なし 募集人数：30名程度 継続年数：5～9年 事業予算額：306,600円（R6年度予算：講師謝礼、消 耗品費（事務用品、認定ベスト等））	日時：令和6年6月29日（土）、30日（日） 午前10時～午後4時 会場：南畑公民館 講師：危機管理課職員、外部講師5名 参加費：なし 参加人数：24名	今まで参加のなかった団体（自主防災組織を作る予定の団体）からの参加 があった。 2日間に分けての講義であったが、参加者から夜まででもよいので、1日で 終了すると参加しやすいとの声があった。更なる参加を促すため、日程・ 時間等の工夫をしていきたい。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	危機管理課					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げ ている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					2 手法は概ね適切で ある		
基本目標③	学習成果の発表機会の充実					継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画						富士見市地域防災計画	3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	コスモス街道づくり	コスモス街道の魅力を通じ、市のPR や地域の活性化を図る。  数値目標： 令和6年10月のサイクリングコース の観光入込客数9,000人 （参考：令和5年10月観光入込客 数：8,000人）	健康増進センター付近から新河岸川河川水防センター 付近までの川沿いのサイクリングコース脇に、市民団 体（水谷小学校区まちづくり協議会）と協働し、コス モスの育成活動を行う。 対象：水谷小学校区まちづくり協議会、近隣中学生ボ ランティア 日時：5月～11月 会場：富士見サイクリングコース沿い（富士見江川・ 新河岸川合流地点から木染橋まで） 講師：- 参加費：なし 参加人数：70人程度 継続年数：5～9年 事業予算額：0円	対象：水谷小学校区まちづくり協議会、近隣中学生ボランティア 日時：5月～11月 会場：富士見サイクリングコース沿い（富士見江川・新河岸川合流地点か ら木染橋まで） 参加費：なし 参加人数：70人程度（内中学生39名） 事業予算額：0円 令和6年10月のサイクリングコースの観光入込客数7,100人	令和6年度は水谷小学校区まちづくり協議会だけではなく、本郷中学校の生 徒にも協力していただけた。 今年はコスモスの開花状況が不良であったため、コスモスマつりを見送っ た。来年度は実施体制や活動範囲を見直し、再度コスモスマつりを開催で きるよう調整する。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	シティプロモーション課					取組成果	B	A
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げ ている		
基本目標①	市民との協働による事業の充実					実施手法		
基本目標②	新たな人材の発掘					2 手法は概ね適切で ある		
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画						富士見市シティプロモーション戦略	3 次年度も継続	

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	富士見市地域活性化研究会	富士見市の観光、産業、文化等の地域資源を活用した、地域の活性化及び魅力の向上を目指す。  数値目標： 令和6年度観光情報アプリ「コソシル☆ふじみ」の月間平均ユーザー数4,000 (参考：令和5年度約3,600)	様々な市民が集まり、観光事業の振興や富士見市マスコットキャラクターふわっぴーの活用などを通してまちの活性化を図る。 対象：富士見市地域活性化研究会、市民 日時：通年 会場：市内各所 講師：- 参加費：年会費500円 会員数：16人（令和5年度） 継続年数：5～9年 事業予算額：0円	会議開催日：5/22（全体会）、8/5、10/5、3/24（合同部会） 会場：鶴瀬コミュニティセンター 参加人数：16人 事業決算額：0円 令和6年度観光情報アプリ「コソシル☆ふじみ」の月間平均ユーザー数3,664人（令和7年1月末まで）	平成27年度に会が発足してから観光事業の振興として、お散歩マップの作製・コソシル☆ふじみの運用、ももクロ春の一大事でのブース出店など、市のPRを継続してきた。 その中で、本市が観光地ではないことや、会員の高齢化などにより、会の方向性等を改めて協議し、令和7年度以降に活動方針を定めるため引き続き検討する。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	シティブロモーション課					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	市民との協働による事業の充実					実施手法		
基本目標②	新たな人材の発掘					2 手法は概ね適切である		
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画						3 次年度も継続		
富士見市シティブロモーション戦略								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	防犯対策事業（自主防犯活動リーダー講習会）	市民ひとりひとりの防犯意識を高揚させることにより犯罪機会を減少させ、市内犯罪率の減少を目指す。  数値目標：講習会参加人数100人	地域の自主防犯組織や学校関係者、市民を対象に最新の防犯に関する知識を取得するための講習会を開催し、防犯活動への意識の高揚を図る。 対象：地域の自主防犯組織、学校関係者、市民 日時：未定 会場：キラリふじみマルチホール 講師：・東入間警察署 ・宮田 美恵子氏 日本こどもの安全教育総合研究所理事長 参加費：無料 募集人数：- 継続年数：10年以上 事業予算額：114,000円	対象：地域の自主防犯組織、学校関係者、市民 日時：令和6年8月7日 会場：キラリふじみマルチホール 講師：・東入間警察署 ・宮田 美恵子氏 日本こどもの安全教育総合研究所理事長 参加費：無料 参加人数：100 継続年数：10年以上 事業決算額：102,000円	様々な地域特性がある中で、多くの方の参考となるよう、誰でもできる「ながら防犯」の紹介や、幅広い分野の内容を中心にお話しいただいたことで、参加者アンケートでは、93%の方が「日頃の防犯に役立つ」と回答した。次年度は、方向性は変えず、年々巧妙化し進化していく犯罪に対応できるように、さらに詳細まで盛り込んだ内容とする。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	協働推進課					取組成果	A	B
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					3 実施手法は適切で見直しの必要はない		
基本目標③	学習成果の発表機会の充実					継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画						3 次年度も継続		
富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	防犯対策事業（地域・青色防犯パトロール活動支援）	地域による自主的な防犯活動を活性化することにより犯罪機会を減少させ、市内犯罪率の減少を目指す。  数値目標： ①防犯パトロール用品の配布 対象：地域の自主防犯組織 配布物：ベスト・ウィンドブレーカー・帽子・誘導灯・腕章・LEDベスト 事業予算額：564,000円 ②青色防犯パトロール講習会 対象：地域の自主防犯組織 日時：随時 会場：富士見市市民総合体育館多目的室 講師：東入間警察署(青色防犯パトロール講習会) 参加費：無料 募集人数：- 継続年数：10年以上 事業予算額：0円	自主防犯組織に対して防犯パトロール用品の配布や保険加入などの支援を行い、団体が活動しやすい環境づくりを推進する。また、青色防犯パトロールカーによるパトロール実施を促進するため、定期的な青色防犯パトロール講習会の開催や、パトロールカーの運行管理を行い、多彩な自主防犯活動の実施を支援する。 ①防犯パトロール用品の配布 対象：地域の自主防犯組織 配布物：ベスト・ウィンドブレーカー・帽子・誘導灯・腕章・LEDベスト 事業予算額：564,000円 ②青色防犯パトロール講習会 対象：地域の自主防犯組織 日時：随時 会場：富士見市市民総合体育館多目的室 講師：東入間警察署(青色防犯パトロール講習会) 参加費：無料 募集人数：- 継続年数：10年以上 事業予算額：0円	防犯パトロール用品の配布実績 ベスト 49着 ジャンパー 22着 帽子 79個 信号灯 35本 腕章 18枚 LEDベスト 92枚 事業決算額：320,078円  青色防犯パトロール講習会開催日 R6.5.15、R7.3.26  青色防犯パトロール実施回数 333回	パトロール用品の配布については、県の補助金の関係で配布時期を早めたため希望数が少なくなりましたが、今年度から新たにLEDベストを加えたところ、夜間パトロールを実施している町会から、より安全で効果的なパトロールができていたとの意見をいただいた。 青パト講習会については、青パトを実施するためには講習会の受講が必要なのに対し、平日昼間開催のため、仕事をしている方が参加できていないという課題がある。土日もしくは夜間開催を検討したが難しく、解決策を模索する必要がある。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	協働推進課					取組成果	B	A
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					2 手法は概ね適切である		
基本目標③	学習成果の発表機会の充実					継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画						3 次年度も継続		
富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	地域まちづくり協議会	地域まちづくり協議会の計画する、地域の主体性及び創意工夫により地域の特性を活かした個性的かつ魅力的なまちづくりの推進を支援する。 協議会の未設置地域には設立に向けた支援を行う。  数値目標： 富士見市第6次基本構想・第1期基本計画	対象：地域まちづくり協議会 補助額：年50万円以内 継続年数：9年 事業予算額：3,000,000円	地域まちづくり協議会に対する補助金交付実績 ・南畑地域まちづくり協議会 500,000円 ・水谷東安心まちづくり協議会 500,000円 ・みずほ台駅西口地域まちづくり協議会 500,000円 ・水谷小学校区まちづくり協議会 500,000円 ・つるせ台まちづくり協議会 500,000円 ・勝瀬小学校区まちづくり協議会 500,000円 ・関沢地域まちづくり協議会 100,000円 ・みずほ台小地区まちづくり協議会 100,000円	各地域まちづくり協議会が策定した地域活動計画に位置付けられた防犯事業、高齢者見守り事業、子どもたちの健全育成事業など、各種事業へ助成を行い、地域課題の解決の一助となった。 未設置地域については、気運の醸成を図ることが難しく、設立に向けた支援の継続が必要である。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	協働推進課					取組成果	A	A
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
基本目標①	地域資源を活かした生涯学習の提供					2 手法は概ね適切である		
基本目標①						継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画						3 次年度も継続		
富士見市第6次基本構想・第1期基本計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	市民参加・協働推進事業	市民の豊かな創造性や社会経験がまちづくりに活かされるよう、多様な市民参加と協働を基調としたまちづくりを推進する。  数値目標： 市民団体との協働事業の実施数 120件	・市政への市民参加や協働によるまちづくりの推進について、調査・検討（市民参加及び協働推進委員会・市民参加及び協働推進庁内委員会） ・市民参加及び協働推進に関する全庁的な取組状況調査の実施 ・NPO交流会の実施 ・富士見市コミュニティ協議会への補助金交付 ・協働事業提案制度での事業募集 ・ミニ鉄道運転会の実施 ・市民活動保険による補償 ・AEDの貸出 継続年数：10年以上 事業予算額：2,490,000円	市民参加及び協働推進委員会の開催数 4回 市民参加及び協働推進庁内委員会の開催数 3回 協働事業提案制度 採択事業3件（継続含む） 市民参加及び協働推進に関する全庁的な調査の実施 富士見市コミュニティ協議会に対する補助 交付額：64,000円 ミニ鉄道運転会の実施 13回 AEDの貸出回数 18回	協働事業提案制度は令和5年度に改正し、3年間継続できるようになったことにより、毎年一定の利用がある。令和7年度においても、3事業が行われる予定。ただ、新規提案自体はない年度もあるため、さらなる周知が必要。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)			
担当課	協働推進課					取組成果	B	B			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	市民との協働による事業の充実					実施手法					
基本目標③	市民間交流の促進						2 手法は概ね適切である				
							継続性・発展性				
							3 次年度も継続				
本事業と関連のある他計画											
富士見市第6次基本構想・第1期基本計画											
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	ふるさと祭り推進事業	市内の各種団体で組織された実行委員会が「富士見ふるさと祭り」を開催し、市民参加型の企画を取り入れながら、市内の農業、商工業などの地場産業の振興や活性化、市民の環境問題に関する意識の向上と郷土意識の醸成を図る。  数値目標：来場者数40,000人	対象：一般市民 日時：令和6年10月26日（土） 会場：富士見市役所周辺 参加費：無料 継続年数：10年以上 事業予算額：約5,000,000円	日時：令和6年10月26日（土） 会場：富士見市役所周辺 参加費：無料 来場者数：約48,000人 補助金交付実績：5,000,000円	市内各種団体で協力し、実施することで連帯感が生まれ、市民コミュニティの推進が図られ、来場者には郷土に対する愛着心を育むことができた。また、各種イベントの実施により、地場産業の振興や活性化、市民の環境問題に関する意識の向上にも繋がった。しかし、年々物価は高騰し、人件費も上昇する中、事業費が膨らんでおり、見直しが必要となっている。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)			
担当課	協働推進課					取組成果	A	A			
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標③	学習成果の発表機会の充実					実施手法					
							2 手法は概ね適切である				
							継続性・発展性				
							3 次年度も継続				
本事業と関連のある他計画											
-											
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	出前講座	まちづくりの主体である市民が持つ市政に関する情報を知る権利を保障するため、まちづくりに関する情報及び学習の機会の提供に努める。  数値目標：実施件数40件	市内在住在勤在学の個人やグループに対し、市職員を講師として派遣し、市政の説明やテーマに関する講座を開催。  講座メニュー数：91講座（リクエスト講座含む） 継続年数：10年以上 事業予算額：0円	講座開催数 38回 利用者数 1311人	メニューの見直しを行い、事業を継続した。令和7年度においても、メニューを変更し、事業を継続する。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)			
担当課	協働推進課					取組成果	B	B			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法					
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進						2 手法は概ね適切である				
							継続性・発展性				
							3 次年度も継続				
本事業と関連のある他計画											
第6次基本構想・第1期基本計画											
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	国際交流フォーラム	多文化共生の地域づくりを目的として、外国籍市民との交流企画、国際交流関係展示、体験と交流のコーナーなどを通じ、様々な国や地域の文化と触れ合う機会を作り、国際交流関係者、外国籍市民との相互交流を図る。  数値目標：（左記計画同様・R7までに） ・参加人数520人以上 ・外国籍の人への理解が深まったと感じた割合75.0% ・国際交流を楽しみと感じた参加者の割合75.0% ・暮らしやすいと感じる外国籍市民の割合75.0%	市、教育委員会、国際友好協会の3者共催。 対象：子ども、一般 日時：10月1日（日） 会場：キラリ☆ふじみ 参加費：無料 継続年数：20年以上 事業予算額：80,000円（謝礼生涯学習課分）、100,000円（謝礼文化・スポーツ振興課分）、富士見市国際友好協会会計等	実施日：10月6日（日） ・わいわい☆ワールドトーク（外国籍の方と日本での暮らしや文化について話し合う）、フラダンス、民族衣装や着物の試着、世界のお茶体験、太鼓体験、やさしい日本語講座、国際交流団体の活動展示、セルビアフェスタ等 会場：キラリ☆ふじみマルチホール他 参加人数：374人 外国籍の人への理解が深まったと感じた割合（アンケート実施）：93.8% ・国際交流を楽しみと感じた参加者の割合（アンケート実施）：97.6% ・暮らしやすいと感じる外国籍市民の割合（アンケート実施）：100% 決算額：53,000円（謝礼生涯学習課分）、75,000円（謝礼文化・スポーツ振興課）、他（消耗品費文化・スポーツ振興課、富士見市国際友好協会会計）	令和6年度の国際交流フォーラム内で中心として行った内容は、外国籍の方と日本での暮らしや文化について話し合う「わいわい☆ワールドトーク」である。令和5年度は「外国籍市民のトーク」であったが、「一方的に話を聞くのではなく、相互に話し合う時間もほしい」という参加者等の意見も取り入れた内容にすることが出来た。また、例年人気の、民族衣装の試着や世界のお茶体験などの体験ブースも継続した。体験ブース以外にも、直近実施している「やさしい日本語講座」を、令和6年度は展示・会議室で行い、少人数の参加型として実施した。講師が連れてきた外国籍の方だけでなく、参加者の中にも外国籍の方がおり、やさしい日本語で話すことが相互理解に繋がることについて、より市民の理解が深まった。「やさしい日本語」については、国・県も多文化共生施策として普及促進に力を入れているため、国際交流フォーラムでも継続して取り入れたい内容である。全体を通して満足いただける結果となったと思う（左記参照）。各種体験や音楽等を通じて、多文化共生への理解を深めた。会場の配置や内容等を見直し、次年度もより良い事業ができるよう調整をすすめる。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)			
担当課	文化・スポーツ振興課、生涯学習課					取組成果	A	A			
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法					
基本目標①	市民との協働による事業の充実						2 手法は概ね適切である				
							継続性・発展性				
							3 次年度も継続				
本事業と関連のある他計画											
富士見市第6次基本構想・第1期基本計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	富士見市民文化祭	市民の文化創造活動を推進し、相互の文化交流を図るため、市内で活動する文化団体で組織された実行委員会が主催する全市民的な文化祭を実施する。  数値目標：来場者3,000人以上	市民文化会館キラリふじみを会場に、市内の文化4団体を中心に芸能・音楽発表、各種作品展示及び将棋大会を約2週間にわたって行う。  対象：市民 日時：11/2～11/17 会場：キラリふじみ 講師： 参加費：一部あり 募集人数： 継続年数：10年以上 事業予算額：800,000円	実施日：11月2日～11月17日 ・芸能発表 ・展示発表 ・民謡大会 ・将棋大会 ・市民音楽祭 ・市民美術展 会場：キラリ☆ふじみ 参加人数：出展・出演者727名 来場者2,717名 事業決算額：840,536円	第61回目を迎えた市民文化祭は例年どおり各団体の展示や発表を開催した。また、今年は市民文化祭のチラシ・ポスター・プログラム表紙の共通デザインを市内中学生・富士見高校生から募集し、30作品の応募があった。応募のあった作品は会期中キラリふじみ内で展示し、新たな層の来場に繋がった。本事業は市民に鑑賞機会・発表機会や交流機会を提供する取組として、引き続き継続する。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	文化・スポーツ振興課							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	学習成果の発表機会の充実							
基本目標②	市民間交流の促進					3 十分な成果を挙げている	A	A
基本目標③								
本事業と関連のある他計画						取組成果		
第2次富士見市文化芸術振興基本計画						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	消費生活講座	市民の消費に関する相談や苦情に対する調査、助言、解決に向けたあつせん等を行い、消費者の正当な利益の擁護・増進を図る。また、消費者被害の防止に向けた啓発活動を行う。  数値目標：消費生活講座実施回数4回	対象：市民 日時：随時開催（申込制） 講師：富士見市消費生活相談員 参加費：無料 継続年数：10年以上 事業予算額 ○講師謝礼(講師派遣の場合) 14,000円 ○事業協力者謝礼(南畑お月見一座) 100,000円	【消費生活講座】 日時：9月26日(木) 会場：老人福祉センターびん沼荘 講師：消費生活相談員 参加人数：26人 事業決算額：0円  【南畑お月見一座による寸劇】 高齢者の消費生活被害の拡大を防止するための啓発事業 ①日時：5月15日（水） 会場：渡戸3丁目集会所 参加人数：42人 ②日時：7月17日（水） 会場：南畑公民館 参加人数：45人 ③日時：8月2日（金） 会場：市内介護施設 参加人数：23人 ④日時：9月20日（金） 会場：ふじみ野交流センター 参加人数：28人 事業決算額：計80,000円	消費者被害の未然防止のため、消費者トラブルについて紹介した。消費生活講座アンケートからは、理解度について「大変深まった」「少し深まった」との回答を得た。  課題は、消費生活講座の実施回数の増加であり、事業の周知に努めながら継続していく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	人権・市民相談課							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供					2 一定の成果を挙げている	B	B
基本目標③	学習成果の活用機会の創出							
本事業と関連のある他計画						実施手法		
富士見市第6次基本構想・第1期基本計画						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	男女共同参画事業	性別にかかわらず、誰もがその個性と能力を發揮し、互いに対等なパートナーとしてあらゆる分野に参画し、ともに責任を担う男女共同参画社会の実現のための講演会・セミナー等を実施する。  数値目標：講演会・セミナーの参加者合計250名以上	対象：市民 日時：8～2月(3回開催予定) 会場：市内公共施設 参加費：無料 継続年数：10年以上 事業予算額：260,000円	男女共同参画講演会 日時：令和6年8月3日（土） 会場：鶴瀬コミュニティセンター 講師：木山裕策氏（歌手） 参加人数：200人 男女共同参画セミナー① 日時：令和6年11月17日（日） 会場：ピアザ☆ふじみ 講師：薄井篤子氏（埼玉県男女共同参画推進センター事業コーディネータ） 参加人数：34人 男女共同参画セミナー② 日時：令和7年2月2日（日） 会場：鶴瀬西交流センター 講師：竹信三恵子氏（ジャーナリスト・和光大学名誉教授） 参加人数：31人 事業決算額：260,000円	講演会を1回、セミナーを2回実施。「生き方、ワークライフバランス」や「男女共同参画の視点での防災・災害対応」「女性の働き方、貧困」をテーマに行い、多くの参加者を得た。今後も効果的な意識啓発に向けて内容を精査する。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	人権・市民相談課							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
						2 一定の成果を挙げている	B	B
本事業と関連のある他計画						実施手法		
富士見市第6次基本構想・第1期基本計画						2 手法は概ね適切である		
富士見市男女共同参画プラン（第4次）						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	広報紙の発行・情報コーナーの充実	広報紙やホームページ等で情報発信をするとともに、サークル・団体情報の収集提供を図る。  数値目標：広報紙発行回数年10回	「ふじみ野エクスプレス」月1回（2・8月除く）発行。A4判両面刷り。鶴瀬公民館だよりに挟込み。事業予算額：900,000円	年10回発行 19,950部/回 事業決算額：899,154円	地域に向けた情報紙として発行。生涯学習事業の案内や施設情報を提供することができた。 限られた紙面の中で、効率的かつ有用な情報提供をするためには日常的なコミュニケーションが欠かせないことから、様々な場面で住民とのコミュニケーションを図っていく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	ふじみ野交流センター					取組成果 2 一定の成果を挙げている	B	B
基本目標	施策の柱							
基本目標①	学習環境の整備							
本事業と関連のある他計画						—		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	子育て支援事業	乳幼児親子の日常的な学習、交流の場づくりを、保育園・図書館の併設機能を活かし事業展開を図る。  数値目標：参加者の満足度70%（アンケートによる）	ふじみ野保育園子育て支援センター「にこにこひろば」への会場提供やイベントの開催。 クリスマス会 対象：乳幼児親子 時期：12月中旬 会場：ふじみ野交流センター 継続年数：10年以上 事業予算額：— 連携・協力団体：図書館ふじみ野分館	日時：12月18日 午前10時30分～11時30分 会場：ふじみ野交流センター 参加人数：49人	地域の親子に、クリスマスイベントを楽しんでもらうことができた。 引き続き複合施設の利点を相互に活かしながら、事業を実施していく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	ふじみ野交流センター					取組成果 3 十分な成果を挙げている	A	A
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
本事業と関連のある他計画						第4次富士見市子ども読書活動推進計画		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	青少年対象事業	地域の子どもたちに遊びの機会を提供するとともに多世代間の交流を図る。  数値目標：参加者の満足度70%（アンケートによる）	小学生を対象にした体験学習を主に学校の夏休み期間中に行う。 対象：小学生 時期：7月下旬から8月中旬 会場：ふじみ野交流センター 参加費：材料実費負担 募集人数：各回10～20名程度 継続年数：10年以上 事業予算額：55,000円 指導者：利用団体等	「勝瀬の七夕まつり」 日時：8月1日～7日 会場：ふじみ野交流センター 講師：勝瀬昔承会、地域活動栄養士PFCの会、東邦音楽大楽フルートアンサンブル、富士見市市民人材バンク 内容：七夕飾りの再現、キッズキッチン七夕クッキー、親子でうどんづくり、七夕コンサート、七夕ビーズストラップづくり 参加人数：166人 事業決算額：55,000円	家庭で行うことが少なくなった行事の体験や地域の伝統文化に触れてもらう良い機会となった。ギャラリーに設置した大きな笹飾りには、例年どおり多くの短冊が飾られた。 体験学習においても募集人数を上回る参加申し込みがあった。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	ふじみ野交流センター					取組成果 2 一定の成果を挙げている	B	B
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供							
基本目標③	市民間交流の促進							
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進							
本事業と関連のある他計画		いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ						
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	成人対象事業（生活文化講座）	生涯学習への参加につながる各種講座を開催する。  数値目標：参加者の満足度70%（アンケートによる）	生活文化講座 趣味・芸能等の講座を開催 対象：一般 時期：7月、11月、1月 会場：ふじみ野交流センター 参加費：材料等実費負担 募集人数：各講座10～50名程度 継続年数：10年以上 事業予算額：80,000円 講師：市民講師を含め幅広い人材を起用	「講演会」 日時：7月7日、2月1日 会場：ふじみ野交流センター 講師：神田織音、神田伊織 「カルトナーズのコースージュづくり」 日時：2月8日 会場：ふじみ野交流センター 講師：フラワーアレンジ講師 参加人数：169人 事業決算額：80,000円	長年続けている講演会だが、土・日に開催してからより多くの来場があり、講演に親しむ機会が拡充した。 コースージュづくりは子育て世代の参加者を予想していたが、子育て後の世代が多かった。 常にアンテナを高くし、何を希望しているかを探る必要がある。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	ふじみ野交流センター					取組成果 2 一定の成果を挙げている	B	B
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供							
基本目標③	市民間交流の促進							
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進							
本事業と関連のある他計画		—						
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	地域交流事業（ふじみ野じゅく）	定期的な学習・交流の場を通して地域住民の生涯学習と相互交流を促進する。  数値目標：参加者の満足度70%（アンケートによる）	「ふじみ野じゅく」の開催 内容：介護、健康、社会問題、文学等の講座を開催 対象：一般 時期：4月～3月、月1回第3金曜日午前中 会場：ふじみ野交流センター 参加費：無料（一部材料費等あり） 募集人数：各回40名程度 継続年数：10年以上 事業予算額：99,000円	日時：4月～3月、月1回第3金曜日午前10時～12時 会場：ふじみ野交流センター 講師：富士見市職員ほか 参加人数：延べ254人 事業決算額：73,000円	毎回多数の参加があり、学習意欲の高さがうかがえた。 運営委員会でも活発な意見が出され、より地域住民のニーズに合った年間計画を企てることができた。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	ふじみ野交流センター					取組成果 2 一定の成果を挙げている	B	B
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供							
基本目標③	市民間交流の促進							
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進							
本事業と関連のある他計画		—						

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	地域交流事業（地域の伝統行事体験）	勝瀬地域に伝わる伝統行事を学び、体験することで地域に対する理解・親しみを深める。	勝瀬の七夕まつり他、地域の伝統行事の体験。 対象：一般 時期：勝瀬の七夕まつり8月、十五夜・十三夜飾り10月、門松1月、小正月2月、の各月1週間程度の展示とお正月飾りづくりを12月に行う。 会場：ふじみ野交流センター 参加費：無料（お正月飾りは材料費等あり） 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：52,000円 協力者：勝瀬昔承会	七夕飾り8月1日～7日、十五夜9月12日～15日、十三夜9月12日～15日、門松飾り設置12月26日～1月7日、小正月まゆ玉展示2月10日～15日 会場：ふじみ野交流センター 事業協力者：勝瀬昔承会 お正月飾り製作 ①アートフラワー 日時：12月18日午前10時～12時 講師：フラワーアレンジ講師 ②わら飾り 日時：12月26日午後1時～3時 講師：勝瀬昔承会 参加人数：延べ21人 事業決算額：52,192円	家庭で行うことが少なくなった行事の体験や地域の伝統文化にふれる良い機会となった。「子どもの頃を思い出し懐かしい」「眺めていると気持ちが安らぐ」等来館者の方からお声を頂いている。地域の方の協力なくしては成り立たない。新たな協力人の発掘に努めている。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)	
担当課	ふじみ野交流センター					取組成果	B	B	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					数値目標：参加者の満足度70%（アンケートによる）	2 手法は概ね適切である	B	B
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性			
基本目標④	生涯学習を通じたまちづくりの推進						3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画									
富士見市文化芸術振興計画									
富士見市男女共同参画プラン（第4次）									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	市民協働イベント開催事業（勝瀬de緑日）	地域住民の世代を超えた交流の場として地域団体主催による「まつり」を開催する。 数値目標：参加者数1,000人	勝瀬de緑日 対象：子ども、一般 時期：9月14日 会場：ふじみ野交流センター 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：71,000円 主催団体：勝瀬de緑日実行委員会	日時：9月13 午前11時～午後3時 会場：ふじみ野交流センター 参加人数：約1,000人 内容：子ども、親子連れを対象にした遊びの体験と交流、模擬店、舞台発表、ミニピリオパトル、地域中学校部活動参加 事業決算額：33,000円 主催：第26回勝瀬de緑日実行委員会	地域に定着した夏のイベントとして今年も世代を超えた地域住民のイベント交流が図れた。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)	
担当課	ふじみ野交流センター					取組成果	B	B	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標①	市民との協働による事業の充実					実施手法			
							2 手法は概ね適切である	B	B
							継続性・発展性		
							3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画									
富士見市男女共同参画プラン（第4次）									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	市民協働イベント開催事業（ふじみ野文化祭）	利用者及び地域住民の生涯学習活動における日頃の成果を発表する機会の提供、相互交流を目的として開催する。 数値目標：参加者数1,100人	ふじみ野文化祭 対象：一般 時期：3月1日、2日 会場：ふじみ野交流センター 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：30,000円 主催団体：ふじみ野文化祭実行委員会	日時：3月1日、2日 午前10時～午後4時 会場：ふじみ野交流センター 参加人数：1,100人 事業決算額：0円 主催：第23回ふじみ野文化祭実行委員会	参加団体が増え、新たな交流が生まれた。前年度に比べると来場者数は減少したが、地域の小、中、高校生の舞台発表が増え、賑わいが増し、来場者の層が広がった。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)	
担当課	ふじみ野交流センター					取組成果	B	B	
基本目標③	学習成果の発表機会の充実					2 一定の成果を挙げている			
基本目標④	市民との協働による事業の充実					実施手法			
							2 手法は概ね適切である	B	B
							継続性・発展性		
							3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画									
富士見市文化芸術振興計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	成人対象事業シリーズいい友	音楽やダンス、食など世代を超えて愛されるエンターテインメントを通して、地域の世代間交流や文化振興を図ってゆく。 数値目標：参加者の満足度70%（アンケートによる）	①音楽でいい友 様々なジャンルのコンサート 対象：一般 時期：10月、11月、12月 参加費：無料 募集人数：各100名 ②食べていい友 様々な食材、料理を学ぶ。 実施時期：6月、10月、11月、12月 参加費：材料費 募集人数：12名 継続年数：4年 事業予算額：105,000円 演奏者や講師はプロ、アマを問わず市民を起用する。	①音楽でいい友（コンサート） 11月10日ジャズ、12月8日クラシック 参加人数：延べ97人 ②食べていい友（食文化講座） 6月15日マレーシア料理、10月11日太巻きまつり寿司、11月20日・12月11日そば打ち、12月14日イタリア料理 参加人数：延べ63人 会場：ふじみ野交流センター 事業決算額：90,000円	どの事業も募集を上回る応募があり、好評を得た。10月に予定していたコンサートは、選挙のため中止となった。今後も様々なジャンルの音楽や食を届けたい。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)	
担当課	ふじみ野交流センター					取組成果	B	B	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標①	市民との協働による事業の充実					実施手法			
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供						2 手法は概ね適切である	B	B
基本目標③	市民間交流の促進						継続性・発展性		
							3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画									
富士見市文化芸術振興計画									
富士見市男女共同参画プラン（第4次）									

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	親子太鼓教室(新規)	太鼓を通じ、親子で一つの目標に向かい、お互い対等な立場で練習し、コミュニケーションを密にすることで一層の絆を深めることや、発表の場において湧いてくる緊張感、達成感・充実感を一緒に体験することでお互いの信頼関係を強くする結びつけることを目的として実施。	保護者と子どもが共同作業をすることにより親子のコミュニケーションが図られるほか、保護者同士の仲間作りの場として実施。 対象：鶴瀬西地域の親子 日時：5月から7月（緑日）まで、5、6回開催 会場：かじ兵衛太鼓スタジオ（三芳町） 講師：かじ兵衛太鼓メンバー 参加費：無料 募集組数：親子4組 事業予算額：30,000円	4組の親子が参加。 「緑日」での発表の機会を設け、かじ兵衛太鼓に指導を仰ぎ親子で対等な立場で練習に励む。そして発表の場において湧いてくる緊張感、達成感・充実感を一緒に体験することでお互いの信頼関係を強くする結びつけることができたと思う。	親子の触れ合いの機会としては十分達成できたと思う。 参加した子どもの対象を3年生以上にした方がスムーズに練習できると感じた。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	A	未実施
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
基本目標③	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画								
—		数値目標：参加者の満足度80%（アンケートによる）						
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	回想法講座	地域課題学習として、認知症予防、介護予防等に効果があると注目されている「回想法」の実践の場として「回想法継続会」が主体となり「唄とおはなしのサロン」を実施。 地域の高齢化が進む中、「回想法継続会」のメンバーのスキルアップと新たなメンバーの発掘することを目的に講座を開催する。	地域課題学習として認知症予防、介護予防等に効果があると注目されている「回想法」の実践講座を実施。 対象：富士見市内で「回想法」に興味がある方。 日時：3月頃 会場：鶴瀬西交流センター講座室予定 講師：未定 参加費：無料 募集人数：未定 継続年数：10年 事業予算額：50,000円	講師と受講者の日程の折り合いがつかず今年度は未実施	地域住民の高齢化が進む中、孤立を防ぐ一つの手法として「唄とおはなしのサロン」など実践し、高齢者のコミュニケーションの場として提供し回想法により脳の活性化に役立てるため継続する。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	未実施	A
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
本事業と関連のある他計画								
—		数値目標：講座受講者30人						
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	高齢者ひろば	サークル活動より緩やかな高齢者のためのひろばを設定し、スケッチや折紙を通して居場所づくりと高齢者同士の交流を深める機会とする。	高齢者の生きがいづくり、地域の居場所づくりとしてのためのひろばを設定し、スケッチや折紙を通して居場所づくりと高齢者同士の交流を深める機会とする。 毎月1回実施。 対象：西地域の高齢者 日時：毎月第3火曜日の午後 会場：市民活動室 講師：なし 参加費：無料 募集人数：制限なし  継続年数：10年以上 事業予算額：0円	月に一回スケッチを基本に高齢者のコミュニケーションの場としてきたが、新型コロナウイルスの影響で参加者が減少。令和6年度から水曜学級折紙サークルの協力のもとスケッチだけでなく折り紙も取り入れて参加者の増員を試みた。	折り紙が増えたことで参加者が増えてきた。高齢者の興味がわく種目を検討していくことが必要。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
本事業と関連のある他計画								
—		数値目標：毎月の参加者20人						
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	子ども広場	子ども自らが地域の中で自分の居場所を見つけるための応援体制とサークルや地域の大人たちの協力体制を作り出していくことを目的に実施している。 長期休業の夏休み・冬休みの時期に「子どもひろば」を開催し、豊かな体験活動を提供する。	夏休み子ども広場：いけ花体験教室、ゴム動力ヘリコプター実験教室、篆刻体験教室。冬休み子ども教室：新春子ども書初め教室。 対象：鶴瀬西地域の小学生等 日時：通常夏休み・冬休み期間 会場：鶴瀬西交流センター美術工芸室等 講師：鶴瀬西交流センター利用サークル及び団体 参加費：実費 募集人数：未定 継続年数：10年以上 事業予算額：35,000円	陶芸窯故障に伴い、生け花教室と木遊会協力のもとゴム動力ヘリコプター実験教室及び篆刻体験教室を実施。冬には子ども書初め教室を実施。 対象：鶴瀬西地域の小学生等。 日時：夏休み 会場：鶴瀬西交流センター 講師：西交流センター利用サークル 参加費：実費 参加人数：ゴム動力ヘリコプター実験教室24人、いけばな教室9人、篆刻体験教室16人、書初め教室30人 継続年数：10年以上 事業決算額：20,000円	協力団体の高齢化が進んでいるが、新規のサークルにも協力を依頼し、今後も継続していく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	A	A
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
本事業と関連のある他計画								
—		数値目標：参加者の満足度80%（アンケートによる）						

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	水曜学級	原則、鶴瀬西地域（上沢3丁目町会、関沢2～3丁目町会等含む）に在住する満60歳以上の方を対象に生涯学習講座やサークル活動などを通じて親睦を深め、心身ともに健康で生きがいのある充実した生活を送ることを目的とする。	「水曜学級（高齢者学級）」の開催 日 時：毎年5月から3月まで 会 場：鶴瀬西交流センター 参加費：1,500円 全体会：10回 全体会：毎月第2水曜日 サークル活動10サークル（R6年度） パワーアップ体操、レクダンス、コーラス、健康体操、絵画、書道硬筆、いけ花、脳トレ麻雀、折り紙、卓球  継続年数：10年以上 事業予算額：90,000円	「水曜学級（高齢者学級）」の開催 日 時：毎年5月頃から3月頃まで 会 場：鶴瀬西交流センター 参加費：1,500円（令和4年度は1,000円） 全体会1回目：5月開講式、アトラクション 全体会2回目～5回目：6月終活講座、7月音楽鑑賞、9月健康講座、10月太極拳体験講座、11月映画鑑賞「半落ち」、12月クリスマスコンサート、1月「新春のつどい」、2月わくわくシニアまつり、3月開講式 全体会：毎月第2水曜日 サークル活動10サークル（R6年度） パワーアップ体操、レクダンス、コーラス、健康体操、絵画、書道硬筆、いけ花、脳トレ麻雀、折り紙、卓球  継続年数：10年以上 事業予算額：90,000円	学級生の平均年齢が80歳を超え、新規の参加者が減少傾向にあり、サークルの存続も危うくなりつつあるため、学級生の募集対象を市内全域に拡大するなどの方策で学級生の確保に努めている。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)	
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	A	B	
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			
							2 手法は概ね適切である		
							継続性・発展性		
			3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画		数値目標：受講生100人							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	鶴瀬西交流センターフェスティバル	鶴瀬西交流センター利用者及び地域住民の交流と文化の向上、コミュニティ活動の促進を目指す。 対象：鶴瀬西交流センター利用サークル・団体及び鶴瀬西地域住民 数値目標：来館者2日間で3,000人	利用者及び地域住民の交流と文化の向上、コミュニティ活動の促進を目指す。 対象：鶴瀬西交流センター利用サークル・団体及び鶴瀬西地域住民 日時：10月5日（土）～10月6日（日） 会場：鶴瀬西交流センター 講師： 参加費：1団体500円 募集人数：  継続年数：10年以上 事業予算額：40,000円	利用者及び地域住民の交流と文化の向上、コミュニティ活動の促進を目指す。 対象：鶴瀬西交流センター利用サークル・団体及び鶴瀬西地域住民 日時：10月5日（土）6日（日） 会場：鶴瀬西交流センター 講師： 参加費：1団体500円 参加団体：35団体  継続年数：10年以上 事業決算額：20,000円	サークルの会員も高齢化にありサークル解散など減少傾向。次年度も実施する。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)	
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	B	A	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標③	市民間交流の促進					実施手法			
							2 手法は概ね適切である		
							継続性・発展性		
			3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画		なし							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	フリースペース西っ子	乳幼児を持つ親の子育て情報交換や育児のことを身近で気軽に相談できる場としてプレイルームにて開催する。 数値目標：年間参加者100人	毎月第4木曜日午前10時から正午、民生委員が見守り、子育ての相談相手をしてください。保健師・栄養士・歯科衛生士・保育士が毎月交互に入り、個別の相談に応じアドバイスを提供者に行います。 対象：プレイルームを利用している乳幼児の親 日時：毎月第4木曜日 会場：鶴瀬西交流センタープレイルーム 講師：保育士、歯科衛生士、栄養士、保健師 参加費：無料 募集人数：制限なし 継続年数：10年以上 事業予算額：45,000円	開催会場のびっぴの広場の人数制限が解除されないため中止	実施会場のびっぴの広場の入場制限があり、制限解除になり次第再開予定。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)	
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	未実施	未実施	
基本目標	施策の柱					未実施			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			
							—		
							継続性・発展性		
			—						
本事業と関連のある他計画		—							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	つるせ西だよりの発行	鶴瀬西地域の生活・文化等に係る情報を伝える広報紙として、年10回発行し、「広報富士見」と一緒に配布する。 数値目標：発行回数年10回を継続	「つるせ西だより」の発行 編集会議：月2回（原則第1、3金曜日） 編集委員：市民10名前後、任期2年 発行部数：10,300部、年10回（7・8月、1・2月は合併号） 発行形態：A3版、両面見開き  継続年数：10年以上 事業予算額：480,390円	「つるせ西だより」の発行 編集会議：月2回（原則第1、3金曜日）、年24回開催 編集委員：9名（1名欠員）、任期2年 発行部数：10,400部、年10回（7・8月、1・2月は合併号） 発行形態：A3版、両面見開き  継続年数：10年以上 事業決算額：400,260円	編集委員の高齢化が課題。新規編集委員の候補者が見つからない。西だよりの内容は地域市民から好評のため今後も継続。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)	
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	B	B	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標①	学習環境の整備					実施手法			
基本目標①	市民との協働による事業の充実						2 手法は概ね適切である		
							継続性・発展性		
			3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画		—							

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	児童館運営事業	関沢児童館、諏訪児童館及びふじみ野児童館を拠点として、子どもたちや子育て中の保護者に対する各種事業を実施することにより、児童の健全育成及び子育て支援の充実を図る。事業計画5ヶ年計画に基づいて事業を実施する。  数値目標： 新型コロナウイルスの影響前の来館者数（参考数値R1年度） 関沢児童館：16,000人（15,585人） 諏訪児童館：24,500人（24,005人） ふじみ野児童館：30,000人（29,830人） 事業計画に基づく事業実施数 関沢児童館：53事業 諏訪児童館：49事業 ふじみ野児童館：48事業	関沢児童館、諏訪児童館及びふじみ野児童館それぞれの特色を生かし、地域に密着した事業や3館連携事業を行うほか、夜間開館による中高生の居場所づくりを行う。  継続年数：10年以上 予算：68,359千円（指定管理料）	5ヶ年の事業計画に基づき従来の事業を継続するとともに新規事業に取り組むなど多彩な事業を実施した。  <b>【実施結果】</b> 来館者数 ～来館者数～ ・関沢：7,831人 ・諏訪：17,665人 ・ふじみ野：16,501人 ※R6年12月末現在  事業計画に基づく事業実施数 関沢児童館：53事業 諏訪児童館：49事業 ふじみ野児童館：48事業	地域における子育て支援の拠点施設として、乳幼児から中高生まで様々な事業を実施し、利用者アンケートでは満足度が高い。安心して遊べる居場所として定着していることから、引き続き、安定的な運営に努めてゆく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価（参考）
担当課	保育課							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
本事業と関連のある他計画						取組成果		
第二期富士見市子ども・子育て支援事業計画						3 十分な成果を挙げている	A	A
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	「びっぴ」のひろば	ひろばでの遊びや製作など、同年代の子どもと親の交流の場を提供する。また、子育てに関する相談をうけたり情報提供を行い、親子の成長を支援する。  数値目標：年間利用者数8,000人（親子合計）	対象:未就学児と保護者 日時:年間を通して実施 場所:鶴瀬西交流センター1F プレイルーム 参加費:無料 予算:0円 継続年数:10年以上	日時:年間を通して実施 年間利用者数:5,656人(3月27日現在) 場所:鶴瀬西交流センター1F プレイルーム	ひろばの利用総数については以前よりも減少傾向にあるが、理由として市内の子育て支援センターやあそび場の数が増えた事により、利用者の行先が分散している事があげられる。以前は遠方から当支援センターにやってくる人も居たが、最近では近場や新しい所に行く人も多い。市では全支援センターで集まり、周知活動の充実を図っているため、その影響で利用者の数値が他の支援センターが増える分、減る所も出てくる。（各支援センターより報告を受けている）また、利用者の低年齢化が進んでいる理由もある。以前は幼稚園後に幼児が来る事が多かったが、今の利用の中心層は0～2歳であるため、外で遊ぶ子が増えている現状がある。これらの理由から、数値目標についても再検討が必要だと考えている。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価（参考）
担当課	子ども未来応援センター							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
本事業と関連のある他計画						取組成果		
第二期富士見市子ども・子育て支援事業計画						2 一定の成果を挙げている	B	B
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	小さな子どものためのコンサート	生の演奏に触れ、親子で楽しい時間を共有し、学習の機会とする。  数値目標：参加者の満足度80%以上（アンケートによる）	対象:未就学児と保護者 日時:11月7日 会場:キラリ☆ふじみ 参加費:無料 予算:131,000円 継続年数:10年以上	日時:令和6年11月7日 会場:キラリ☆ふじみ 依頼:東邦音楽大学 参加人数:465人（親子合計） 事業決算額:116,409円 利用満足度:98%	継続してコンサート事業を行っているが、市民の口コミも広がっている様子で、今年度も沢山の申し込みがあった。参加者の中には、初めて生演奏の音楽を聞く子どもも多く、保護者からは「良い機会になった」、「赤ちゃんでも安心して観劇に参加できるのは嬉しい」などの声を聞いている。リピーターも多く満足度も高いが、より新規の参加者も増やすためにポスター掲示の場所を増やすなど、周知活動などに力を入れていきたい。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価（参考）
担当課	子ども未来応援センター							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
本事業と関連のある他計画						取組成果		
第二期富士見市子ども・子育て支援事業計画						3 十分な成果を挙げている	A	A
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	人形劇	人形劇を親子で楽しみ、相手を思いやる心や生きる喜びなどを育む機会とする。  数値目標：参加者の満足度80%以上（アンケートによる）	対象:未就学児と保護者 日時:9月18日 場所:鶴瀬西交流センター 委託団体:人形劇あゆ 参加費:無料 予算:10,000円 継続年数:10年以上	日時:令和6年9月18日 会場:鶴瀬西交流センター 依頼:人形劇あゆ 参加人数:親子17組（合計39人） 事業決算額:10,000円 利用者満足度:88%(アンケートの18分の2枚が未記入)	参加者は1歳代が中心で、全体的に低年齢の子が多かったが、小さい子が楽しめるプログラムを提供してくれた事で楽しんでみたり、集中して参加したりする姿がみられた。参加者の中には初めて人形劇を観る家庭も多かった。参加者の満足度も高く、アンケートでは目標の数値を超えている。参加者の低年齢化に伴い、次回は試験的に題材や内容を変え、講座を開催する予定である。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価（参考）
担当課	子ども未来応援センター							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
本事業と関連のある他計画						取組成果		
第二期富士見市子ども・子育て支援事業計画						3 十分な成果を挙げている	A	A
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	子育て講座	保護者向けに、子育てに役立つような講座を開き、学習機会の充実を図る。  数値目標：参加者の満足度80%以上(アンケートによる)	<3B体操> 日時：6月7日 <親子で楽しくヨガ体験> 日時：5月15日、10月9日 対象:未就学児と保護者 場所:鶴瀬西交流センター 参加費:無料 予算:15,000円 継続年数:10年以上	<3B体操> 日時:令和6年6月7日 会場:鶴瀬西交流センター 依頼:公益社団法人 日本3B体操協会 熊木 広美氏 参加人数:親子13組(合計28人) 事業決算額:5,000円 利用者満足度:100% <親子で楽しくヨガ体験> 日時:令和6年5月15日、10月9日 会場:鶴瀬西交流センター 依頼:ベビーヨガインストラクター 谷脇 昭子氏 参加人数:5月15日…親子7組(合計14人)、10月9日…親子7組(合計14人) 事業決算額:10,000円 利用者満足度:100%	<3B体操> 楽しく身体を動かしながら、プログラムに積極的に参加する様子がみられた。親子のふれあいの場にもなり、利用者からも「リフレッシュになった」と聞いている。 <親子で楽しくヨガ体験> 赤ちゃんと一緒に参加できるヨガは珍しく、利用者からも喜ばれている。親子でふれあう機会になることや、プログラムの中には子どもを保育者が預かって親が集中して参加できる時間もあり、「リフレッシュできた」と喜ばれる姿も多かった。アンケートの満足度も数値目標は超える事ができた。 ・どちらの内容も人気であるが、募集に伴いひろばの利用者へ積極的に声をかけて宣伝を行ってきた。今年はすくすくナビを活用し情報発信をした事で、新規の利用者も増えた様子があった。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	子ども未来応援センター							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
本事業と関連のある他計画								
第二期富士見市子ども・子育て支援事業計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	ふじみ福祉フォーラム21	誰もが安心して暮らせる地域社会が実現できるよう、市民自らが福祉の理解と社会参加を促進していくこと。  数値目標：参加者人数150名以上	市民参加による地域福祉活動の振興を図るため、ふじみ福祉フォーラム21実行委員会に対し、活動費を補助する。  継続年数：10年以上 事業予算額：392,000円 日時：令和7年1月18日(土) 会場：キラリ☆ふじみ	実施日：令和7年1月18日(土) 内容：中途障がいテーマとした映画『車線変更』の鑑賞及び映画プロデューサーと出演者によるトークセッションを通じて、中途障がいへの理解啓発を図る 会場：キラリ☆ふじみ 講師：国枝秀美氏(エグゼクティブプロデューサー)、村上清加氏(出演者) 参加人数：157名 補助金の交付先：ふじみ福祉フォーラム21実行委員会 事業決算額：304,738円	映画本編も好評でしたが、トークセッションにおいて、プロデューサーが映画製作に込めた思いや、義足のロードレーサー役として出演したパラアスリートの話に多くの人が耳を傾けていました。様々な障がいに向き合い、受け入れ、乗り越えていくことの大切さを参加者一人ひとりが共感できたようで、福祉への理解を深める良い機会となりました。 課題としては、映画鑑賞や講演を聞くだけでなく、参加者同士が意見交換できるような仕組みを実行委員会と共に検討していきたいと考えています。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	福祉政策課							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市地域福祉計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	生活支援体制整備事業	生活支援サービスの充実を図るとともに地域における支え合いの体制づくりを推進することを目的とする。  数値目標：生活支援コーディネーター認知率の向上(R4年度実施の高齢者等実態調査で取得中)	地域のちょっとした困りごとは地域で解決できる体制づくりを目指す。日常生活圏域(第2層)ごとの特性を活かしつつ、地域のニーズに合わせた生活支援サービスや居場所づくりの創出に向けて、生活支援コーディネーターが伴走型支援をしながら、地域の方々や関係者とともに地域について考え検討・議論できるよう取り組んでいく。  継続年数：5～9年 事業予算額：15,356,000円	◎南畑地域における移動販売の実施 ◎第2層の取組み(集計中) ◎「地域つながるおとなりフェス」の開催 ※令和7年3月13日実施予定 ※当日の講演内容等の開催報告を掲載した広報誌も今後発行予定	地域ごとの実情に合った事業を展開できるよう、日常生活圏域(第2層)における取組みを工夫してすすめた結果、令和6年4月30日より南畑地域において移動販売を開始した。(富士見市、社協、ウエルシアとの三者協定に基づくもの)引続き、次年度も地域の課題やニーズを把握し、地域を知り学びながら地域ごとに検討・議論ができるような取組みを実施できるように努めていく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	高齢者福祉課							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供							
基本目標③	学習成果の活用機会の創出							
本事業と関連のある他計画								
第9期富士見市高齢者保健福祉計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	富士見市コミュニティ大学活動支援	高齢者が自主的に行うコミュニティ大学の活動を支援する。  数値目標：活動状況を確認しながら運営等、活動に関する相談・支援等を月1回以上行う。	高齢者の生涯学習として、親睦交流や生きがいづくり、地域貢献を目的に自主運営している、富士見市コミュニティ大学の活動の場の提供等支援する。  継続年数：10年以上 事業予算額：-円	第18期の令和6年度は107人が入学し、20回開講された。 市では、受講生の募集案内の配布や申込みの受け付け、会場確保等の相談を受け、支援を行った。	カリキュラムは、参加意欲をかき立てるような工夫がされている。卒業生で構成される校友会も活動しており、学習・交流の場が充実している様子が受け取れることから、次年度も高齢者の活動の場を保障できるよう、引き続き支援していく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	高齢者福祉課							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
本事業と関連のある他計画								
第9期富士見市高齢者保健福祉計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	一般介護予防事業（集中型介護予防教室）	介護予防教室や相談を通し、誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、健康づくりや仲間づくり、自主グループ活動をすすめ、高齢者の活動性の向上や社会参加を促進する。  数値目標：75回1,200人	対象：高齢者 期間：6か月 会場：健康増進センター 募集人数：1コースあたり15名 内容：虚弱層向けに、運動や口腔、栄養など複合的なプログラムを実施し、心身機能の維持向上を図る。  継続年数：10年以上 事業予算額：3247千円	回数：76回 参加延べ人数：880人  事業決算額：3200千円	令和5年度実績より参加者数が減少した。高齢者あんしん相談センターと更なる連携強化を図り参加者増へつなげていく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	健康増進センター					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
		3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画								
第9期富士見市高齢者保健福祉計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	一般介護予防事業（フレイルチェック事業）	フレイルサポーターを養成し、高齢者の社会参加や地域貢献を促進する。また、フレイルチェックにより虚弱高齢者を早期に発見、介入することで、健康寿命の延伸をはかる。  数値目標：フレイルサポーター養成2回30人、フレイルチェック測定会23回460人	対象：高齢者 期間：通年 会場：フレイルチェック 公共施設 募集人数：フレイルチェック 各回20人 フレイルサポーター 30人/年 内容：フレイルサポーター養成研修、フレイルチェック測定会 継続年数：4年 年事業予算額：475千円 ※フレイルとは、虚弱を意味し、加齢により心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながりなど）が低下した状態をいいます。	フレイルサポーター養成：14人 フレイルチェック測定会：22回375人参加  事業決算額：475千円	フレイルサポーター養成は目標人数に届かなかったが、測定会は毎回サポーターも参加し実施できた。フレイルサポーターを増やせるように周知を工夫していく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	健康増進センター					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
		3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画								
第9期富士見市高齢者保健福祉計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	一般介護予防事業（介護支援ボランティアポイント事業）	ボランティア活動を通じ、高齢者の社会参加や地域貢献を促進する。高齢者が高齢者を支える機運を醸成する。  数値目標：登録者数350人	対象：高齢者 期間：通年 内容：介護保険施設等でボランティア活動をおこない、ポイントをためる。  継続年数：5～9年 事業予算額：5335千円	登録者数：350人 活動時間数：11,705時間  事業決算額：4,759千円	介護保険施設でのボランティア活動も再開されてきた。令和7年度からは、ポイント付与対象をコロナ禍前に戻す。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	健康増進センター					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
		3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画								
第9期富士見市高齢者保健福祉計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	一般介護予防事業（ふじみパワーアップ体操普及事業）	誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、運動と社会参加の機会をつくる。  数値目標：56クラブ1,160人	対象：高齢者 期間：通年 会場：公共施設、集会所等 内容：パワーアップリーダー養成講座、パワーアップクラブ開設講座  継続年数：10年以上 事業予算額：385千円	パワーアップリーダー養成講座は令和6年度末から実施。  パワーアップ体操地域クラブ数：54クラブ 実参加者数：1,150人  事業決算額：23千円	新しいクラブが1クラブ立ち上がった。令和6年度末から令和7年度初めにかけて公共施設以外の会場でリーダー養成講座を開催する。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	健康増進センター					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
		3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画								
第9期富士見市高齢者保健福祉計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民健康づくり事業（生活習慣病予防教室）	生活習慣病の予防に向けた基礎知識の習得をはじめ、食事や運動について日常生活で実践できる具体的な方法を体得し、健康の自己管理ができるように支援する。  数値目標：年6回	対象：成人 日時：年間6回程度 会場：市内公共施設 募集人数：20名程度 内容：生活習慣病予防に関する講話等  継続年数：10年以上 事業予算額：30千円	①糖尿病予防 日時：令和6年11月12日・19日参加人数：延べ7名 ②高血圧予防 令和6年12月11日・18日 参加人数：延べ13名 ③脂質異常症予防 令和6年1月26日・2月2日 参加人数：延べ16名会場：健康増進センター・市民総合体育館 ④高血圧予防 令和7年1月9日 会場：鶴瀬公民館 参加人数：27名 講師：日鼻医院 日鼻医師 事業決算額：30千円	①②③教室の内容を一部見直し、講話に加え、高血圧についても、運動実践の講座を追加をした。次年度は、生活習慣病を全般とした、講座と試食を行い、頭と舌で学ぶ機会とし、普段の食生活の意識向上に結び付けたい。 ④今年度より、高血圧をテーマに講演会を実施した。医師からの講演は説得力があり、満足度・理解度が高かった。次年度については、テーマを検討していきたい。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	健康増進センター					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
		3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画								
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民健康づくり事業（ヘルスセミナー）	若い世代に対して、自分自身の健康と生活習慣病予防等に関心を持てるよう支援する。 数値目標：年2回	対象：成人 期間：ヘルスチェック開催時 会場：健康増進センター 内容：生活習慣病等の予防・啓発  継続年数：10年以上 事業予算額：12千円	日時：令和6年10月8日、令和6年2月13日 会場：健康増進センター 参加人数：114名  事業決算額：5千円	乳房モデルによる乳がん触診体験及び自己触診啓発チラシの配布、野菜をたっぷり食べようについてをテーマに、リーフレットをもとに健診の必要性について周知を行った。 40歳未満の若い世代への啓発ができた。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	健康増進センター					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性	3 次年度も継続	
本事業と関連のある他計画								
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民健康づくり事業（歯周病予防教室）	歯周病を生活習慣病の一つとして捉え、正しい口腔ケアについて学び、自己管理ができるよう支援する。 数値目標：年2回	対象：成人 日時：年間2回程度 会場：市内公共施設  募集人数：20名程度 内容：口腔ケアに関する講話等  継続年数：10年以上 事業予算額：22千円	日時：①令和6年9月7日、②令和6年11月12日 会場：①ピアザ☆ふじみ②健康増進センター 講師：埼玉県歯科衛生士会朝霞支部 歯科衛生士 参加人数：17名  事業決算額：22千円	ヘルスアップ教室(糖尿病予防)や災害時の食・栄養の料理教室などの教室と一緒に歯科保健に関する事業を実施に努めて開催をした。生活習慣病と口腔衛生は深い関連があることを含め、知識の普及啓発を推進していく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	健康増進センター					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性	3 次年度も継続	
本事業と関連のある他計画								
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民健康づくり事業（運動講座）	生活習慣病予防のための運動について、日常生活で実践できる具体的な方法を体得し、健康の自己管理ができるようにする。 数値目標：年10回	対象：成人 日時：年間10回程度 会場：市内公共施設 参加費：傷害保険料 募集人数：20名程度 内容：生活習慣病予防のための運動の実践等対象  継続年数：10年以上 事業予算額：163千円	日時：令和6年5月22日等計11回 会場：市内公共施設 講師：NPO法人日本カルチャーヨガ協会、県民健康福祉村等 参加人数：延85人  事業決算額：150千円	ウォーキングやヨガ、筋トレなど自宅で実践できる内容を行い、参加者の運動に対する意識の向上を図ることができた。 休日（土日）開催を行ったことで、若い世代の参加もあった。参加今後も成人期が参加しやすい日程・時間設定を行う。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	健康増進センター					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性	3 次年度も継続	
本事業と関連のある他計画								
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民健康づくり事業（地域健康相談）	地域の要望に沿った健康づくりのテーマを設定し、地域・団体単位で継続的に健康づくりに取り組めるよう支援する。 数値目標：年4回	対象：町会や団体等 期間：通年 会場：集会所等 内容：町会等と相談して決定  継続年数：10年以上 事業予算額：54千円	日時：水谷熟年学級：令和6年11月14日 公民館まつり：令和6年5月19日、5月26日、11月10日、3月1日、3月8日、3月9日 会場：鶴瀬公民館、水谷東公民館、水谷公民館、ふじみ野交流センター、針ヶ谷コミュニティセンター、南畑公民館 参加人数：延べ185名 事業決算額：45千円	依頼を受けあなたの知りたい健康づくり講座を実施し、参加者から活発な発言があり、意欲的に学んでいただいた。また、各公民館のまつりに参加をし健康相談などを実施し、合わせて健康に関する幅広い知識の提供を行うことができた。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	健康増進センター					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性	3 次年度も継続	
本事業と関連のある他計画								
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民健康づくり事業（所内健康相談）	生活習慣病や食事について、保健師・管理栄養士による個別相談を実施し、健康の保持・増進につなげる。 数値目標：年60回	対象：成人 期間：通年（電話相談含む） 会場：健康増進センター 内容：個別健康相談  継続年数：10年以上 事業予算額：0円	日時：毎月1回（電話相談含む） 会場：健康増進センター 参加人数：66名（3月19日現在）  事業決算額：0円	医療にかかる前の方に対し、食生活や運動習慣等について対象者の生活状況に合わせた個別相談を行い、健康の保持・増進につなげた。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	健康増進センター					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性	3 次年度も継続	
本事業と関連のある他計画								
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民健康づくり事業（食生活改善推進員リーダー講習会）	市が委託している健康づくり料理講習会を円滑に実施することを目的として、食生活改善推進員協議会のリーダーに対して健康や食事に関する正しい情報の提供と交流を行う研修会を実施する。  数値目標：年6回	対象：富士見市食生活改善推進員 期間：5月～2月 会場：ピアザ☆ふじみ 内容：健康づくり料理講習会のためのリーダー講習会  継続年数：10年以上 事業予算額：241千円	実施期間：5-2月 対象：富士見市食生活改善推進員 参加人数：延べ82人 会場：ピアザ☆ふじみ 実施内容：健康づくり料理講習会のためのリーダー講習会  事業決算額：167千円	調理台の定員をコロナ禍以前の4名に戻して実施した。食生活改善推進員の会員数が減少しているが、研修会については年6回実施することができた。次年度も引き続き、定員を4名で実施していく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	健康増進センター					取組成果	A	A
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
		3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画								
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民健康づくり事業（健康づくり料理講習会）	栄養バランスのとれた健康的なメニューを実際に調理・試食し、生活習慣病予防のための食事について学ぶ機会を提供する。  数値目標：年35回（年6回×5施設、保育付き5回）	対象：成人 期間：5月～2月 会場：公共施設7カ所 委託先：富士見市食生活改善推進員協議会 募集人数：20名程度/回 内容：料理講習会と健康に関するミニ講話  継続年数：10年以上 事業予算額：540千円	実施期間：5-2月 対象：成人～高齢者 参加人数：延べ354人 会場：公共施設5カ所 実施内容：調理実習と健康に関するミニ講話  事業決算額：約400千円	調理台の定員をコロナ禍以前の4名に戻して実施した。保育は5回付けて開催した。次年度も引き続き調理台の定員を4名とし、保育については年5回付けて実施していく。参加者の固定化や新規参加者の伸び悩みが課題としてあるため、周知方法等を検討していく必要がある。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	健康増進センター					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
		3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画								
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民健康づくり事業（食育推進事業）	富士見市みんなで取り組む食育推進条例に基づき、栄養バランスのよい食事や調理方法を学ぶ機会を提供し、食に関する啓発を進める。  数値目標：年8回	対象：市民 日時：年間8回程度 会場：ピアザ☆ふじみ他 参加費：調理実習の場合は食材料費 募集人数：20名程度 内容：専門の講師によるテーマに沿った講話と調理方法の習得等  継続年数：5～10年 事業予算額：354千円	実施期間：5月-1月計8回 講師：女子栄養大学駒込カフェテリア管理栄養士ほか 参加人数：延べ532人（R7.3.21現在）  事業決算額：258千円	昨年度に引き続き対面での実施と併せて、広く食育の推進を図るため一部の教室の様子を撮影しオンデマンド配信を実施した。アンケートから満足度の高さが伺え、今後も対面とICT等を活用したハイブリット式で実施予定。一方で、若年世代の参加が少ないことが課題であり、開催方法や周知方法等について検討していく必要がある。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	健康増進センター					取組成果	A	B
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
		3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画								
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民健康づくり事業（健康に関する講演会）	いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみを推進するため、テーマに沿った講演会等を開催し、健康づくりについて啓発を進める。  数値目標：年1回	対象：市民 期間：年1回 内容：健康に関する講演会等  継続年数：3年 事業予算額：30千円	日時：令和6年11月22日 会場：針ヶ谷コミュニティセンター 講師：儀賀 理咲氏 参加人数：14名  事業決算額：30千円	幅広い世代の参加があり、「健康管理」について関心が高まった方が多く、健康づくり活動のスキルアップにつながった。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	健康増進センター					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
		3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画								
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民健康づくり事業（コバトンALKOOマイレージ事業）	生活習慣病を予防するための運動習慣づくりを支援するため、ポイント制度を活用し楽しみながら歩くことを促す。  数値目標：コバトンALKOOマイレージ登録者数1000人	対象：成人 期間：通年 内容：歩数に応じたポイント獲得や運動教室参加によるポイント獲得等によって、プレゼント抽選に参加できる。  継続年数：5～9年 事業予算額：1204千円	新規登録者数1653名（令和7年2月28日現在） 賞品授与者215名  事業決算額：932千円	令和6年1月よりコバトンALKOOマイレージが開始となった。スマートフォンにアプリをダウンロードしてアプリをベースに行うが、引き続き事業の周知にも力を入れていく必要がある。日々の歩数が一目わかり、ポイントが溜まることで励みになるという声があり、楽しみながら実施でき、運動習慣づくりの支援につなげる事ができた。市独自の抽選の当選者数を増やした事で、参加者のモチベーション向上につながった。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	健康増進センター					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
		3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画								
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント(課題及び次年度の方向性等を含む)	担当課評価		
事業名	自殺対策事業(ゲートキーパー養成研修)	自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる「ゲートキーパー」の役割を担う人材等を養成する。  数値目標:年3回	対象:市内在住、在学、在勤の方 期間:年3回 継続年数:5~9年 事業予算額:90千円	対象:市内在住、在学、在勤の方 期間:年3回 日時:①5月23日中級 ②6月28日 ステップアップ研修 ③12月6日(午前)初級 場所:①③市民総合体育館 ②針ヶ谷コミュニティセンター 計70名  事業決算額:90千円	今年度よりステップアップ研修を開始し、継続して研修を受講できるような環境を調整をした。幅広い年代の参加があった。次年度に向けても、継続して養成することができるよう研修内容などについても検討していく必要がある。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	健康増進センター					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画								
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ								
第2期富士見市自殺対策計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント(課題及び次年度の方向性等を含む)	担当課評価		
事業名	家庭学習応援事業	児童・生徒が主体的に取り組めるよう支援を行い、学習意欲と達成感を高め、家庭学習の習慣化と基礎学力の定着を図る。  数値目標:参加者の満足度90%以上	対象:小学5・6年生、中学3年生 期間:7~3月 会場:鶴瀬公民館、水谷公民館、針ヶ谷コミュニティセンター 委託事業者:平成29-令和3年度は株式会社エデュケーション・ネットワーク 令和4年度は株式会社トライグループ 令和5年度は株式会社学研エル・スタッフィング 参加費:小学生3,500円、中学生1教科5,500円 募集人数:小学5年生60名、小学6年生60名、中学3年生1教科60名 開講教科:小学生…算数、中学生…数学、英語(1教科の選択可) 継続年数:5~9年 事業予算額:13,544,000円	対象:小学5・6年生、中学3年生 期間:7~3月 会場:鶴瀬公民館、水谷公民館、針ヶ谷コミュニティセンター 委託事業者:株式会社学研エル・スタッフィング 参加費:小学生3,500円、中学生1教科5,500円 参加人数:小学5年生62名、小学6年生78名、中学3年生 英語57人、数学55人 開講教科:小学生…算数、中学生…数学、英語(1教科の選択可) 継続年数:5~9年 事業予算額:11,805,194円	集団講義と少人数グループ指導を組み合わせた学習指導を行い、集中力を維持するための学習環境を構築すること出来た。 アンケートの結果より、全ての学年で家庭学習時間の増加が確認されたことと、参加してよかった・内容に満足できたと回答した割合が90%を上回っており参加者にとって有益な事業を実施出来たと考える。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	生涯学習課					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
夢つなぐ富士見プロジェクト+(プラス)								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント(課題及び次年度の方向性等を含む)	担当課評価		
事業名	国際交流フォーラム(再掲)	多文化共生の地域づくりを目的として、外国籍市民との交流企画、国際交流関係展示、体験と交流のコーナーなどを通じ、様々な国や地域の文化と触れ合う機会を作り、国際交流関係者、外国籍市民との相互交流を図る。 数値目標:(左記計画同様・R7までに) ・参加人数520人以上 ・外国籍の人への理解が深まったと感じた割合75.0% ・国際交流を楽しみと感じた参加者の割合75.0% ・暮らしやすいと感じる外国籍市民の割合75.0%	市、教育委員会、国際友好協会の3者共催。 対象:子ども、一般 日時:10月1日(日) 会場:キラリ☆ふじみ 参加費:無料 継続年数:20年以上 事業予算額:80,000円(謝礼生涯学習課分)、100,000円(謝礼文化・スポーツ振興課分)、富士見市国際友好協会会計等	実施日:10月6日(日) ・わいわい☆ワールドトーク(外国籍の方と日本での暮らしや文化について話し合う)、フラダンス、民族衣装や着物の試着、世界のお茶体験、太鼓体験、やさしい日本語講座、国際交流団体の活動展示、セルビアフェスタ等 会場:キラリ☆ふじみマルチホール他 参加人数:374人 外国籍の人への理解が深まったと感じた割合(アンケート実施):93.8% ・国際交流を楽しみと感じた参加者の割合(アンケート実施):97.6% ・暮らしやすいと感じる外国籍市民の割合(アンケート実施):100% 決算額:53,000円(謝礼生涯学習課分)、75,000円(謝礼文化・スポーツ振興課)、他(消耗品費文化・スポーツ振興課、富士見市国際友好協会会計)	令和6年度の国際交流フォーラム内で中心として行った内容は、外国籍の方と日本での暮らしや文化についてお話しする「わいわい☆ワールドトーク」である。令和5年度は「外国籍市民のトーク」であったが、「一方的に話を聞くのではなく、相互に話し合う時間もほしい」という参加者等の意見も取り入れた内容にすることが出来た。また、例年人気の、民族衣装の試着や世界のお茶体験などの体験ブースも継続した。体験ブース以外にも、直近実施している「やさしい日本語講座」を、令和6年度は展示・会議室で行い、少人数の参加型として実施した。講師が連れてきた外国籍の方だけでなく、参加者の中にも外国籍の方がおり、やさしい日本語で話すことが相互理解に繋がることについて、より市民の理解が深まった。「やさしい日本語」については、国・県も多文化共生施策として普及促進に力を入れているため、国際交流フォーラムでも継続して取り入れたい内容である。全体を通して満足いただける結果となったと思う(左記参照)。各種体験や音楽等を通じて、多文化共生への理解を深めた。会場の配置や内容等を見直し、次年度もより良い事業ができるよう調整をすすめる。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	生涯学習課、文化・スポーツ振興課					取組成果	A	A
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画								
富士見市第6次基本構想・第1期基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント(課題及び次年度の方向性等を含む)	担当課評価		
事業名	子ども大学☆ふじみ	大学やNPOなどと連携して取り組み、地域の教育力の向上を図るとともに、子どもたちに多様な学びの機会を提供する。  数値目標:子ども大学に参加して「楽しかった」と感じた児童の平均割合80%	対象:小学4年生~6年生(定員40名) 期間:6~9月 会場:市内公共施設、淑徳大学等 内容:学校では学ぶことができない、子どもの知的好奇心を刺激する講義や体験活動 主催:子ども大学☆ふじみ実行委員会  継続年数:10年以上 事業予算額:340,000円(補助金)	参加人数:46名(定員40名) 実施日:6/8、6/15、6/29、7/26、8/6、8/21、9/14(全7回+オプション講座7/13) 会場:市内公共施設、淑徳大学埼玉キャンパス(三芳町) 講義内容:クイズラリー、自然観察、心理学、防災、国語学、薬学、かくれフードロス 事業決算額:391,061円(内補助金対象額340,000円)	定員については、安全に運営できる人数として40名としたが、46名の応募があった為、淑徳大学と調整し全員参加となった。平均して90.72%の児童が「楽しかった」と回答しており、子ども達の知的好奇心の醸成につながった。次年度も多くの子どもたちの興味関心をひけるよう、実行委員会と協働で講義内容の選定に努めたい。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	生涯学習課					取組成果	A	A
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない		
						継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント(課題及び次年度の方向性等を含む)	担当課評価		
事業名	子ども大学☆ふじみ	大学やNPOなどと連携して取り組み、地域の教育力の向上を図るとともに、子どもたちに多様な学びの機会を提供する。  数値目標:子ども大学に参加して「楽しかった」と感じた児童の平均割合80%	対象:小学4年生~6年生(定員40名) 期間:6~9月 会場:市内公共施設、淑徳大学等 内容:学校では学ぶことができない、子どもの知的好奇心を刺激する講義や体験活動 主催:子ども大学☆ふじみ実行委員会  継続年数:10年以上 事業予算額:340,000円(補助金)	参加人数:46名(定員40名) 実施日:6/8、6/15、6/29、7/26、8/6、8/21、9/14(全7回+オプション講座7/13) 会場:市内公共施設、淑徳大学埼玉キャンパス(三芳町) 講義内容:クイズラリー、自然観察、心理学、防災、国語学、薬学、かくれフードロス 事業決算額:391,061円(内補助金対象額340,000円)	定員については、安全に運営できる人数として40名としたが、46名の応募があった為、淑徳大学と調整し全員参加となった。平均して90.72%の児童が「楽しかった」と回答しており、子ども達の知的好奇心の醸成につながった。次年度も多くの子どもたちの興味関心をひけるよう、実行委員会と協働で講義内容の選定に努めたい。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	生涯学習課					取組成果	A	A
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない		
						継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民人材バンク	幅広い分野における人材を発掘し、その情報を提供することによって、市民一人ひとりの多様な学習や活動を支援し豊かな地域社会をつくる。	対象：市民 期間：通年  継続年数：10年以上 事業予算額：80,000円（補助金）	登録件数：231件 利用件数：258件（中止除く） 延利用人数：15,310名 人材バンクを利用して「とてもよかった」、「よかった」と回答した人の割合：99.5% 事業決算額：95,180円（内補助金対象額 80,000円）	前年度に比べ、利用件数は7件、延べ利用人数は2,602名増加しており、多くの市民に人材バンクを利用してもらうことができた。また99%以上の利用者に「よかった」「とてもよかった」と評価されており、高い満足度を得ることができ、また利用件数以外の数値目標は達成することができた。引き続き、利用者・登録者の増加に向け、モデル事業の開催や広報の工夫など、推進員の会との連携・協働を図っていく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	生涯学習課					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
第9期富士見市高齢者保健福祉計画								
富士見市男女共同参画プラン（第4次）								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	生涯学習ガイド	市内の生涯学習事業の一覧を作成し、周知を行うことで、市民の生涯学習活動を支援する。	市内の生涯学習事業の一覧を作成し、冊子の配布・HPに公表し周知を行う。 対象：市民 日時：6月発行予定  継続年数：5年以上 事業予算額：消耗品費のみ	市内の生涯学習事業を掲載した生涯学習ガイドを作成。公共施設に印刷した冊子の配布とHPに公表し周知を行った。  配布箇所：23か所 配布部数：69部 事業決算額：不明（紙代）	目標としている6月に発行することができた。紙面については、より多くの市民の方に手に取ってもらえるよう引き続き研究を続けていく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	生涯学習課					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	生涯学習推進委員会	富士見市生涯学習推進委員会を設置し、富士見市の生涯学習を推進する。	生涯学習に関する、教育委員会、市長部局の担当課による委員で構成される生涯学習推進委員会にて、富士見市の生涯学習の推進・進捗管理や部署間の連携の為に情報交換を行う。  期間：年1回程度 継続年数：10年以上 事業予算額：0円	2回実施 日時：令和6年9月30日（月） 場所：市役所第2会議室 日時：令和7年3月12日（水） 場所：中央図書館集會室	次期計画等に向けて庁内の関係各課と情報共有を行い、引き続き生涯学習の推進を図っていく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	生涯学習課					取組成果	B	未実施
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	生涯学習推進市民懇談会	広く市民の意見を求めるため、富士見市生涯学習推進市民懇談会を開催し、富士見市の生涯学習を推進する。	学識経験者、市民団体等の代表者などで構成される生涯学習推進市民懇談会にて広く市民の意見を求め、富士見市の生涯学習を推進する。  期間：年1回程度 継続年数：5～9年 事業予算額：消耗品費、参加者謝礼	2回実施 日時：令和6年10月9日（水） 場所：市役所第2会議室 日時：令和7年3月18日（火） 場所：中央図書館視聴覚ホール	次期計画等に向けて市民の意見を求めるため、定期的に生涯学習推進市民懇談会を開催する。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	生涯学習課					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	人権教育推進事業（人間尊重啓発講座）	様々な人権問題の解消と、市民一人ひとりがお互いを認め合い、尊重しあえる地域社会づくりを目指して、公民館ごとにテーマを定めて開催する。  数値目標：各公民館で1回以上講座を実施。	対象：市民 期間：年4回、4公民館で1回ずつ実施予定。時期は未定  継続年数：10年以上 事業予算額：講師謝礼のみ	①日時：7月11日 午前10時30分～12時 会場：南畑公民館 テーマ：『虹色おやこコンサート』 参加人数：32人（14組） ②日時：9月12日 午前10時～11時45分 会場：水谷東公民館 テーマ：『誰もががのびのびと生きていくために～さまざまな人権問題を考えてみましょう～』 参加人数：39人 ③日時：3月8日 午後1時30分～3時30分 会場：水谷公民館 テーマ：『ひきこもりの子と共に生きる～今と未来のお金の話～』 参加人数：61人 ④日時：3月8日 午後1時30分～3時30分 会場：鶴瀬公民館 テーマ：『戦後80年 平和を守るために今私たちができること』 参加人数：80人	様々な人権問題への理解と解決に向けて、公民館で講演会を開催することは意義のあることと捉えている。今後も時代のニーズを見極めながら、講演会を開催していく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)	
担当課	生涯学習課					取組成果	B	B	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			
							2 手法は概ね適切である		
							継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画									
第3次富士見市教育振興基本計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	人権教育推進事業（人権教育講演会）	人間尊重の教育理念に基づき、あらゆる差別や偏見を許さない地域社会づくりを目標とする。  数値目標：参加者50人以上。	対象：市民 期間：年1回  継続年数：10年以上 事業予算額：講師謝礼のみ NPO法人富士見市民大学と共催で開催	日時：12月7日午後1時30分～3時 会場：鶴瀬コミュニティセンターホール テーマ：『いずればみんな、おひとりさま』 講師：社会学者・東京大学名誉教授・認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）理事長 上野 千鶴子 氏 参加人数：215人	毎年、NPO法人富士見市民大学の公開講演会として開催している。講師の選定について市民の意見を取り入れ、興味関心のあるテーマ設定を行っている。 差別や偏見を許さない地域社会づくりを行っていくためにも今後も継続すべき事業である。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)	
担当課	生涯学習課					取組成果	B	B	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			
							2 手法は概ね適切である		
							継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画									
第3次富士見市教育振興基本計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	人権教育推進事業（社会人権教育指導者養成講座）	人間尊重の教育理念に基づき、あらゆる差別や偏見を許さない地域社会づくりを目標とする。  数値目標：6校で1回以上実施。	地域や団体において積極的に働きかけのできる人材の養成を目的とし、市内の小・中特別支援学校のPTA役員を対象に開催 対象：PTA役員等 期間：ローテーションにより1年度6校で実施  継続年数：10年以上	①日時：6月9日 会場：鶴瀬小学校 テーマ：『己（こ）育てする子育て 個（こ）子育てにしない子育て』 講師：校長 野村 佐智夫氏 参加人数：9人 ②日時：7月17日 会場：みずほ台小学校 テーマ：『人権とは「はて？」～社会科学習（歴史）を通して～』 講師：富士見市人権擁護委員 大根田 良夫氏 参加人数：10人 ③日時：11月2日 会場：水谷小学校 テーマ：『高齢者や外国人に対する排除、同和問題、原発事故に伴う問題、様々な人権課題について』 講師：教頭 齋藤 智哉氏 参加人数：14人 ④日時：12月13日 会場：西中学校 テーマ：『性的指向・性自認、その他男女平等、正しい男女交際』 講師：助産師 櫻井 裕子氏 参加人数：約170人 ⑤日時：1月15日 会場：ふじみ野小学校 テーマ：『人権とは「はて？」～社会科学習（歴史）を通して～』 講師：富士見市人権擁護委員 大根田 良夫氏 参加人数：10人	子ども達が人権問題に触れ・考える機会はあるが、保護者・教員をはじめとした育成者側の人達への人権問題の啓発の場も必要と考える。引き続き、保護者・教員のための講座を開催する。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)	
担当課	生涯学習課					取組成果	B	B	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			
							2 手法は概ね適切である		
							継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画									
第3次富士見市教育振興基本計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	人権教育推進事業（社会人権教育指導者養成講座）	人間尊重の教育理念に基づき、あらゆる差別や偏見を許さない地域社会づくりを目標とする。  数値目標：6校で1回以上実施。	地域や団体において積極的に働きかけのできる人材の養成を目的とし、市内の小・中特別支援学校のPTA役員を対象に開催 対象：PTA役員等 期間：ローテーションにより1年度6校で実施  継続年数：10年以上	①日時：6月9日 会場：鶴瀬小学校 テーマ：『己（こ）育てする子育て 個（こ）子育てにしない子育て』 講師：校長 野村 佐智夫氏 参加人数：9人 ②日時：7月17日 会場：みずほ台小学校 テーマ：『人権とは「はて？」～社会科学習（歴史）を通して～』 講師：富士見市人権擁護委員 大根田 良夫氏 参加人数：10人 ③日時：11月2日 会場：水谷小学校 テーマ：『高齢者や外国人に対する排除、同和問題、原発事故に伴う問題、様々な人権課題について』 講師：教頭 齋藤 智哉氏 参加人数：14人 ④日時：12月13日 会場：西中学校 テーマ：『性的指向・性自認、その他男女平等、正しい男女交際』 講師：助産師 櫻井 裕子氏 参加人数：約170人 ⑤日時：1月15日 会場：ふじみ野小学校 テーマ：『人権とは「はて？」～社会科学習（歴史）を通して～』 講師：富士見市人権擁護委員 大根田 良夫氏 参加人数：10人	子ども達が人権問題に触れ・考える機会はあるが、保護者・教員をはじめとした育成者側の人達への人権問題の啓発の場も必要と考える。引き続き、保護者・教員のための講座を開催する。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)	
担当課	生涯学習課					取組成果	B	B	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			
							2 手法は概ね適切である		
							継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画									
第3次富士見市教育振興基本計画									

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	地域子ども教室	放課後や週末などに子どもが安心して活動できる場をつくとともに、次世代を担う児童の健全育成を支援する。  数値目標：子ども教室の延べ開催日数100日以上	対象：市内在学の小学生 期間：通年 会場：各小学校、公民館等 委託事業者：各企画運営委員会  継続年数：10年以上 事業予算額：3,531,000円	対象：市内在学の小学生 参加児童数：8,734人 参加ボランティア数：1,766人 期間：通年 実施回数：147回 会場：各小学校、公民館等 委託事業者：各企画運営委員会  継続年数：10年以上 事業決算額：2,582,752円（一般財源1,667,752円、県補助金915,000円）	各小学校区の企画運営委員会を中心に学校や公民館等と連携して地域子ども教室を実施。放課後や週末における安全で安心な子どもたちの居場所づくりに努めた。多くの教室にとって担い手の確保や活動の周知が課題となっているため、連絡協議会を開催することで各教室間の情報交換・情報共有を図った。次年度も引き続き、活動支援ならびに情報共有の場の提供に努める。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)				
担当課	生涯学習課					取組成果	B	B				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法						
						2 手法は概ね適切である						
						継続性・発展性						
						3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画												
第3次富士見市教育振興基本計画												
第二期富士見市子ども・子育て支援事業計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	図書館運営事業（おはなし会）	子どもを対象に、おはなし会を行い、図書館や本に対して親しみを持つ機会を作る。  数値目標：参加人数 4,400人	対象：幼児・小学生 日時：毎月 会場：中央図書館、鶴瀬西分館、ふじみ野分館 参加費：無料 内容：子どもに本や紙芝居の読み聞かせ、手遊び等を行う。  継続年数：10年以上 事業予算額：指定管理料を含む	日時：各館の計画に合わせて実施 場所：各館、児童館等 参加者：212回 4203人（概算値）	定例的なおはなし会に加え、児童館等への出張や、野外での実施など、参加者獲得のための様々な手法を試みている。今後も引き続き継続する。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)				
担当課	生涯学習課					取組成果	A	A				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法						
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない						
						継続性・発展性						
						3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画												
第3次富士見市教育振興基本計画												
第4次富士見市子ども読書活動推進計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	図書館運営事業（富士見市子ども読書コンクール）	小学生・中学生を対象に、自分で読んだ本を短い文章（POP）で人に紹介することにより、読解力や文書力が育つ。小学生・中学生が読書の楽しさを広げていく機会を作る。  数値目標：応募点数320点	対象：小学生・中学生 日時：11月（図書館まつり） 会場：中央図書館 参加費：無料 内容：本を短い言葉や絵で紹介するPOPを募集し、優秀作品の表彰および作品展示を行う。  継続年数：5～9年 事業予算額：指定管理料を含む	11月10日に表彰式実施 会場：中央図書館 応募点数：321点	市内小学校・中学校・特別支援学校から応募があり、短い文章で本の魅力を伝えることにより、読解力や文章力を育てるとともに、POPをきっかけに新たな本への興味を持たせている。今後も継続して実施する。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)				
担当課	生涯学習課					取組成果	A	A				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法						
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない						
						継続性・発展性						
						3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画												
第3次富士見市教育振興基本計画												
第4次富士見市子ども読書活動推進計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	図書館運営事業（子ども司書講座）	図書館の仕事体験しながら学び、図書館や本の楽しさを周囲にも伝えていけるような子ども達を育成していく。  数値目標：参加者数10人	対象：小学生 日時：夏休み 会場：中央図書館 参加費：無料 内容：図書館の仕事体験および図書の分類等についての学習する。  継続年数：5～9年 事業予算額：指定管理料を含む	日時：8月6日～8月8日 会場：中央図書館 参加者：6名	参加人数は少なかったが、アンケートでは全員がとても楽しかったと回答しており、子どもたちが図書館の仕事に触れることができる貴重な機会となっている。今後も継続して実施し、図書館の仕事や読書の楽しさを伝えていく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)				
担当課	生涯学習課					取組成果	A	A				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法						
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない						
						継続性・発展性						
						3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画												
第3次富士見市教育振興基本計画												
第4次富士見市子ども読書活動推進計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	図書館運営事業（読み聞かせ講座）	読み聞かせの技術向上のための講座を開催し、読み聞かせボランティアの育成に努める。  数値目標：年1回実施	対象：読み聞かせに興味がある方 日時：年に1回 会場：中央図書館 参加費：無料 内容：読み聞かせの際の注意点や本の選び方等を学ぶ。  継続年数：5～9年 事業予算額：指定管理料を含む	日時：11月28日・1月17日・2月21日 会場：中央図書館 参加者：延べ26名 講師：高橋 ふじえ氏 (県立久喜図書館おはなしボランティア指導者)	本年度は「ストーリーテリングを学ぼう」と題して、全3回の講座を実施した。最終回では受講者が自分で選んできた話を発表した。参加者からも続けていきたいという声をいただいており、今後も継続して実施する。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)				
担当課	生涯学習課					取組成果	A	A				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法						
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない						
						継続性・発展性						
						3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画												
第3次富士見市教育振興基本計画												
第4次富士見市子ども読書活動推進計画												

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	図書館運営事業（図書館職員のおすすめ本）	利用者が本を選ぶ手助けと読書の幅を広げる機会を作る。	対象：利用者全体 日時：テーマ展示は毎月、福袋は年に1回 会場：中央図書館、鶴瀬西分館、ふじみ野分館 内容：本の福袋の他、本のテーマ展示や関係各課等と連携した展示を行う。  継続年数：5～9年 事業予算額：指定管理料に含む	日時：テーマ展示毎月 福袋年1回 会場：各館 内容：本のテーマ展示本の福袋	月ごとに異なるテーマの展示を行うことで利用者の興味を引き、新しい本を読む意欲につなげている。また、年始めに実施している新春貸出福袋では、袋を作成したスタッフからの一言を添えるなど、手にとりやすくなるための工夫を行っている。利用者の読書の幅を広げられることから、今後も事業を継続していきたい。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	生涯学習課					取組成果 3 十分な成果を挙げている	実施手法 3 実施手法は適切で見直しの必要はない	継続性・発展性 3 次年度も継続
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
第4次富士見市子ども読書活動推進計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	文化財保存団体連絡協議会への支援	市指定文化財であるお囃子や獅子舞などの民俗芸能を保存・継承する団体で構成する文化財保存団体連絡協議会への補助金の交付や活動の支援を行うとともに、市HP上などで民俗芸能について市民へ周知し、後世へ守り伝えていく。  対象：文化財保存団体加盟7団体 継続年数：10年以上 事業予算額：200,000円（補助金交付額）	市指定文化財であるお囃子や獅子舞などの民俗芸能を保存・継承する団体で構成する文化財保存団体連絡協議会への補助金の交付や活動の支援を行うとともに、市HP上などで民俗芸能について市民へ周知し、後世へ守り伝えていく。	確定額：190,000円 民俗芸能に用いる道具等修繕や後継者育成に対し、補助金を交付した。	年々後継者が少なくなってきたおり、若い人が関心を持てるような取り組みが必要となっている。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	生涯学習課					取組成果 2 一定の成果を挙げている	実施手法 2 手法は概ね適切である	継続性・発展性 3 次年度も継続
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	ほるとま展	大型商業施設（ららぽーと富士見）における文化財展示を開催し、市の埋蔵文化財を通して、歴史を市民に広く紹介する。  数値目標：来場者数4000人以上	対象：市民 日時：10～11月の土日を含む数日間 会場：ららぽーと富士見 内容：公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団との共催という形で、展示事業を実施。その中で富士見市のブースを設け、市内の埋蔵文化財について展示解説を実施。  継続年数：5～10年 事業予算額：0円	事業名：ほるとま展2024 開催日：10月19日～20日 見学者：2,341人 コロナ禍の影響で、事業を縮小した。	市民・県民の多くの方々に埋蔵文化財の周知することができた。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	生涯学習課					取組成果 2 一定の成果を挙げている	実施手法 2 手法は概ね適切である	継続性・発展性 3 次年度も継続
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	子育てサロン	乳幼児を持つ親が子どもと一緒に気軽に集い、子育ての孤立感を解消し、仲間づくりや情報交換ができる居場所づくりを目的とし、また子どもと離れて落ち着いた環境で子育ての不安や悩みを話し合うことができる機会も提供する。  数値目標：親子はーとふるTime 31回 おかあさんのほっとTime 6回 げんきっこTime 11回	【親子はーとふるTime】 対象：乳幼児と保護者 日時：毎週金曜日 午前10時半から11時45分 【おかあさんのほっとTime】保育付き 対象：乳幼児の保護者 期間：4月から2月 年6回 午前10時半から12時 募集：6人（保育も同じ） 【げんきっこTime】 対象：幼児と保護者 日時：月1回程度 火曜日 10時半から11時半 参加費：なし 継続年数：10年以上 予算額：115,172円	【親子はーとふるTime】 対象：乳幼児と保護者 日時：毎週金曜日 午前10時半から11時45分 実施：30回 【おかあさんのほっとTime】保育付き 対象：乳幼児の保護者 期間：4月から3月 実施：7回 午前10時半から12時 募集：6人（保育も同じ） 【げんきっこTime】 対象：幼児と保護者 日時：月1回程度 火曜日 10時半から11時半 参加費：なし 実施：11回 継続年数：10年以上 事業決算額：講師謝礼15,000円 事業協力者謝礼62,186円	子育て中の同世代のママたちが出会い、交流するとともに、子育ての先輩ママによるボランティアスタッフとも子育ての不安や悩みを話し合え、孤立感を解消していける場所として機能している。こうした場所を提供し続けられるように今後も子育てサロンの充実を図っていきたい。課題：安心して参加できる機会の提供、サポーターの確保。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	鶴瀬公民館					取組成果 2 一定の成果を挙げている	実施手法 2 手法は概ね適切である	継続性・発展性 3 次年度も継続
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	おかあさんのステップアップ講座	乳幼児を持つ親育ちの機会として、様々な子育てに関する学習の場として開催する。 数値目標：6回	対象：乳幼児の保護者 期間：6月から11月 回数：6回 会場：鶴瀬公民館 募集人数：各回10人程度 保育付きあり 継続年数：10年以上 予算額：115,640円	①6月21日午前10時30分～11時30分、②6月28日午前10時30分～11時30分、③7月12日午前10時～11時30分、④10月18日午前10時～11時30分、⑤10月25日午前10時30分～11時30分、⑥11月15日午前10時～11時30分 ①「ネイルケアとオイル作り」講師 豊島 夏奈氏（2組4人） ②「簡単おやつ作り」講師 健康増進センター 管理栄養士（1組2人） ③「親子で楽しむリトミック」講師 大澤 愛氏（5組10人） ④「ヨガストレッチ」講師 ヨガインストラクター 河合 美華氏（7組15人） ⑤「よりよい親子関係を築くために」講師 市教育相談室長（4組12人） ⑥「ベビーダンス」講師 市民人材バンク登録講師 大山かおる氏（8組16人） 講師謝礼20,000円 事業協力者謝礼38,522円	子育てにかかわる知識や意識の向上が図れ、親子のふれあいや、お母さん同士の交流の機会にもなった。市民講師による講座も開催できた。特に、親子関係についての講座が再開でき、参加者にも好評だったので、地道に続けていければと思う。 課題：参加者のニーズにあった講座の開催。保育者の確保。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)				
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	3 十分な成果を挙げている	A	A			
基本目標	施策の柱					実施手法				2 手法は概ね適切である		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性						
本事業と関連のある他計画						第3次富士見市教育振興基本計画						
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	子育てコーチング講座					親子のコミュニケーションスキル向上と、子育ての悩みを解決する学習機会として開催 数値目標：2回	対象：幼児から小学生の保護者 日時：11月2回 午前10時～正午 会場：鶴瀬公民館 参加費：なし 募集人数：各回15人程度 (保育10人程度) 継続年数：10年以上 事業予算額：56,256円	子育てコーチング講座（全2回） 日時：10月31日・11月6日 午前10時から正午 会場：第三集会所 いきいき活動室 講師：コンフィダントコーチ代表 斉藤智子氏 事業決算額：講師謝礼 20,000円 事業協力者謝礼 29,458円 参加人数：のべ43人	基本のコーチングスキルを学び、普段のコミュニケーションの取り方を見直す良い機会にできたと思う。また、ロールプレイによりコーチングを体験し効果を実感できたと思う。課題：参加者のニーズにあった内容、保育者の確保	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	鶴瀬公民館	取組成果	3 十分な成果を挙げている	A	A							
基本目標	施策の柱	実施手法								2 手法は概ね適切である		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実	継続性・発展性										
本事業と関連のある他計画		第3次富士見市教育振興基本計画										
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）					担当課評価		
事業名	高齢者サロン	保健と福祉、社会教育が連携し、住民の参加を得ながら「健康づくり、地域づくり」を目指して介護予防を推進する。介護予防施設「いきいき活動室」の常設事業として、サロン型事業（3つのサロンの定着）を開設する。 数値目標：10名	【ひだまりほっとたいむ】 日時：第1～第3木曜日 午後1時30分～3時30分 参加費：月100円 【うたごえサロン】 日時：第1～第4火曜日 午後1時30分～3時30分 参加費：なし 【おしゃべりサロン】 日時：毎週水曜日 午後1時30分～3時30分 参加費：なし 対象：高齢者 会場：鶴瀬公民館 募集人数：20名程度 継続年数：10年以上 事業予算額：0円	【ひだまりほっとたいむ】 期日：第1・2・3木曜日午後1時30分から3時00分 計27回実施 内容：話し合い、ゲーム、歌など。月1回保健師による健康相談を実施。サポーター9人 参加：延べ556人 【おしゃべりサロン】 期日：毎週水曜日午後1時30分から3時30分 計43回実施 内容：雑談、相談など何でも気軽に話せる場の提供。 サポーター2人 参加：延べ227人 【うたごえサロン】 期日：第1・2・3火曜日午後1時30分から3時00分 計33回実施 内容：童謡、唱歌、歌謡曲などの歌を楽しむ。サポーター2人 参加：延べ513人	気軽に来て他の参加者と話をすることでストレス発散になるという声も多い。また、サポーターの方々の献身的な貢献が非常に大きく高齢者のつどいの場として参加者も増えており、介護予防の地域の拠点となっている。 課題：新たなサポーターの発掘と行政からの予算的な支援も必要と考える。					個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	2 一定の成果を挙げている	B	A			
基本目標	施策の柱					実施手法				2 手法は概ね適切である		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性						
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進					第3次富士見市教育振興基本計画						
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	介護予防事業					介護予防施設「いきいき活動室」の常設事業として、リハビリグループの自主活動支援を行う。 数値目標：20名	【つるの会】 日時：毎週火曜日 午前10時00分～12時00分 会場：鶴瀬公民館 対象：高齢者 募集人数：20名程度 継続年数：10年以上 事業予算額：0円	「つるの会」毎週火曜日 午前10時から12時 計36回 参加：延べ354人 「げんきかい！」毎週水曜日 午前10時から12時 計38回 ※げんきかい！は、毎月第2水曜日はウォーキング 参加：延べ194人	「つるの会」は、介護施設でも行われている早口言葉やバタカラ体操を取り入れ高齢者のリハビリとして行っている。また、「げんきかい！」は軽体操やウォーキングをフレイル予防として行っている。どちらも週1回の集まりを楽しみに和気あいあいとした雰囲気の中で活動されている。 課題：新たなサポーターの発掘	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	鶴瀬公民館	取組成果	2 一定の成果を挙げている	B	A							
基本目標	施策の柱	実施手法								2 手法は概ね適切である		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実	継続性・発展性										
本事業と関連のある他計画		第3次富士見市教育振興基本計画										

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	小学生体験教室	地域の小学生が、体験教室を通じて、学び合いから交流の輪を広げる機会とする  数値目標：参加人数30人	対象：市内小学生 日時：7月～8月（夏休み中） 会場：鶴瀬公民館 参加費：100円～300円程度 夏休みの工作作りを実施。  募集人数：10～20人程度  継続年数：10年以上 事業予算額：10,000円	対象：市内小学生 ①木の枝で作るフォトスタンド 指導：職員 日時：7月30日（火）10時30分から12時 参加人数：12人 参加費：無料  ②植物画に挑戦！ 指導：植物画同好会 日時：8月2日（金）10時から12時 参加人数：6人 参加費：無料 事業決算額：5,000円	「植物画に挑戦！」では、植物画の描き方を実践する貴重な機会を作ることができた。また、世代を超えて地域の市民同士が交流できた。定番のフォトスタンド作りも好評で、熱心に材料選びから製作まで取り組んでいた。講座によって参加人数の差が大きいため、多くの児童が参加しやすい開催時期や内容を検討する。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)	
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	B	A	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である
							継続性・発展性		
							3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画									
第3次富士見市教育振興基本計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	健康スマイル講座（市民生活講座）	地域資源や、地域の人が持っている能力を、講座を通して広く共有することにより、生きがいや健康づくりに寄与することを目的に開催する。  数値目標：開催数10回	対象：市内在住の方 日時：通年（月1回） 午前10時～正午 会場：鶴瀬公民館 参加費：なし イムス富士見と連携をし、健康講座を月1回実施。  募集人数：20名程度  継続年数：8年 事業予算額：0円	健康スマイル講座 月1回（イムス富士見総合病院との連携による講座） 6/20 暑い夏を乗り越えよう！夏バテ予防と食事について 管理栄養士 参加9人 7/18 室内でできる運動～暑さに負けないカラダづくり 理学療法士 参加14人 8/22 薬の知識 薬剤部 参加16人 9/26 健診結果の見方 検査科 参加17人 10/24 感染症対策 看護師 参加13人 11/28 動脈と静脈のお話～動脈瘤・静脈瘤・閉塞性動脈硬化症 担当医師 参加15人 12/26 減塩のすすめ 栄養科 参加14人 1/23 冬を元気に乗り切る！お家でできる簡単エクササイズ 理学療法士・作業療法士 参加18人 2/20 帯状疱疹とワクチンについて 看護師 参加16人 3/27 慢性腎臓病について 担当医師 参加25人 市民生活講座「茶道体験教室」 3月11日 講師 茶道同好会 参加者4人 事業決算額：8,000円	健康スマイル講座について、引き続き実施した。参加者が20名近くなる人気の講座もあり、市民からのニーズを強く感じている。参加者同士の交流があったことも成果である。市民生活講座の茶道体験教室は普段から公民館を利用している団体に講師を依頼し、公民館活動の活性化や利用者同士の交流につながった。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)	
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	B	A	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進						継続性・発展性		
							3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画									
第3次富士見市教育振興基本計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	つるせ公民館まつり	学習・文化・スポーツ等の公民館活動の日頃の成果を確かめ合い、互いの交流を深めるとともに、公民館活動の地域への一層の広がりと地域住民の幅広い参加・交流のために開催する。新型コロナウイルス感染対策のため、規模を縮小し、黙食会場を設けて開催。  数値目標：来場者数2500人	対象：公民館利用者 日時：5月17日（土）、18日（日） 会場：鶴瀬公民館 公民館利用団体の発表の場として年1回開催。舞台発表、展示、模擬店などを実施。  継続年数：10年以上 事業予算額：0円	とき：5月18日（土）午前10時から午後5時・5月19日（日）午前10時から午後3時 参加人数：のべ2,000人 テーマ 「笑顔で集う公民館」 主な内容 ①舞台発表（20団体）…演奏、合奏、ラウンドダンス、コーラスなど ②展示（9団体）…短歌、山の作品展示など ③模擬店（7団体）…チーズつくね・フランクフルト・パン・ジュースなど ④交流（2団体）…お茶席・健康チェックなど *打上交流会（92人参加） *実行委員会3回の他、運営委員会、各部会の開催	サークル・団体の日頃の学習成果の発表の機会と交流を深める機会となった。課題：参加団体数はコロナ禍以前には至っていない。関連して当日の運営を担う人員（受付、駐輪場、会場整理等）の確保に苦慮している。子どもたちが楽しめる企画が少ない。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)	
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	B	B	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標③	学習成果の発表機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である
							継続性・発展性		
							3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画									
第3次富士見市教育振興基本計画									

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	げんもりかん	市民団体との協働による芸術・文化活動の普及を目的とし、主に映画の上映を行う。年間2回の開催。  数値目標：各日200人	対象：市民 日時：6月22日、2月1日 会場：鶴瀬コミュニティセンターホール 内容：映画会を年1回開催 参加費：前売り800円・当日1,000円  募集人数：1日3回上映、各回120名  継続年数：10年以上 事業予算額：0円	「テノール！人生はハーモニー」6月22日①午前10時：90人②午後2時：50人③午後：6時：15人 「せかいのおきく」2月2日①午前10時：90名②午後2時：49名③午後6時：19名	今年度は洋画と邦画を1回ずつ上映した。テレビやネットで映画を鑑賞するよりも、大勢の方と一緒に大画面で鑑賞することを皆さん楽しみにしていると思う。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	B	A
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	市民との協働による事業の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	富士見市子どもフェスティバル	富士見市の子どもたちの健全な成長を願い、富士見市における青少年活動の集大成の場として、子どもたちに「ふるさと富士見」と呼べる文化を伝える機会として開催する。富士見市全域の子どもたちが一堂に会し、遊びの体験や子どもが主役のステージ発表、模擬店などでのふれあいを通して、思い出づくりや意識を育む場とする。  数値目標：参加団体数30以上	日時：4月21日（日） 午前10時～午後3時まで 会場：文化の杜公園及び周辺 内容：子どもステージ、アトラクション、ポスター展示など  継続年数：10年以上 事業予算額：2,567,000円	日時：4月21日（日）午前10時から午後3時まで 会場：文化の杜公園及び周辺 内容：子どもステージ、アトラクション、ポスター展示など 参加人数：13,000人 事業決算額：2,567,000円(補助金)	子どもたちが遊びなどの体験を通して、異世代の子どもたちや地域の大人たちと触れ合い、交流を深めることができた。また、自主性のある子どもたちの育成につながった。23団体の参加があり、アトラクションや縁日など、多くの市民に楽しんでいただけた。 学生ボランティアは、ステージの司会をはじめ、様々な役割で活躍してくれた。 課題：団体間で当番や会議の出欠等に不公平が生じないよう、各部会の募集要項の改正を検討する。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	A	A
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	市民との協働による事業の充実					実施手法		
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	富士見市民大学	市民自らが考え、参画し、自己創造していく市民大学を目指している。富士見市民大学は、2006年から市民大学推進市民の会（2008年NPO法人富士見市民大学）が事業委託、2016年から補助金を受けて鶴瀬公民館との協働により運営。  数値目標：公開講演会での満足度75パーセント以上	対象：市内在住の方 期間：6月～2月 会場：鶴瀬公民館等市内公共施設 参加費：300円～800円（運営費・保険料） 文学講座・国際社会学・富士見の歴史・行政と市民生活・市民サロン塾等、毎年様々な講座を開催  継続年数：10年以上 事業予算額：1,100,000円	対象：市内在住・在勤・在学の方 期間：6月～2月 会場：鶴瀬公民館等市内公共施設 参加費：300円～800円（運営費・保険料） 文学講座・国際社会学講座・富士見の歴史・行政と市民生活・市民サロン塾・公開講座 親子で学ぼう「スポーツ障害と予防知識」と公開講演会（5回）を開催。 事業決算額：1,100,000円（補助金）	5講座と6回の公開講演会を開催した。講座数は減少したものの、定員に対する申込率が90%を超える講座が2つあり、市民の要望が高かったことが窺えた。また、公開講演会の回数を昨年度から1回増やし、より多くの市民に学ぶ機会を提供した。 課題：全体としては参加者にも好評であり、盛況であるが、運営側の理事及びスタッフが高齢化している。準備等の人員が不足しているため、運営側のさらなる増員が課題である。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	A	A
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	ピースフェスティバル	1984年6月富士見市議会において「富士見市非核平和都市宣言」が全会一致で決議された。これを受けて1987年に、富士見市として非核平和都市宣言を行った。この理念を多くの市民に広める目的で記念事業として、ピースフェスティバルの開催をはじめとした平和・憲法啓発事業を実施する。 数値目標：参加人数2,700人	日時：8月～9月 会場：鶴瀬公民館他 内容：市民平和祈念のつどい、舞台発表、展示、模擬店、フリーマーケットなど  継続年数：10年以上 予算額：523,000円	1) ピースフェスティバル2024 参加者：2,449人 その1：9月21日（土）・9月22日（日） オープニング・市民平和祈念のつどい・特別講演・展示コーナー・ピースステージ・模擬店・ふれあい広場（鶴瀬公民館・コミセンにて） オープニング…つるせ台小学校合唱部、特別講演…「海の中から地球が見える」講師：武本匡弘氏（環境活動家、プロダイバー、NPO気候危機対策ネットワーク代表） 展示コーナー…実行委員による企画展示「考えてみませんか 世界から戦争と核兵器をなくすにはどうしたらよいか」、「広島の高中生と被爆者との共同制作による『原爆の絵』」約50点、小学6年生によるピースカード、市民平和作品（俳句・短歌・写真・絵画・彫刻・放課後児童クラブの作品）を展示 ピースステージ…ダンス、合唱、紙芝居など8団体による発表 ふれあい広場…紙芝居、折り紙であそぼう、戦争体験を聞く会、ピースワードさがし その2：8月2日（水）～15日（木） 市民平和作品展（市立中央図書館展示ホールにて） 文芸作品・絵画・写真・放課後児童クラブの作品など 出品者60人 来場者710人 その3：8月1日（木）～9月1日（日） 小学6年生によるピースカード（市内公共施設7館に展示） 6年生の全児童に非核・平和都市宣言文を配付し、平和への思いを書いてもらった。参加児童979人 その4：8月15日（木） 平和の鐘を鳴らそう 参加者30人 （2）平和記念式典市民派遣事業（ヒロシマ平和学習会） 8月5日（月）～6日（火） 参加者 1人 （3）平和学習会 講演会 「戦後80年 平和を守るために今私たちができること」 令和6年3月8日（土） 講師：猿田 佐世氏（新外交イニシアチブ代表） 参加者：80人 事業決算額：講師謝礼 80,000円 *（1）（3）事業協力者謝礼 49,949円*（1） 旅費 51,334円*（2）案内職員分のみ公費 印刷製本費 31,515円*（1） 役務費 255,200円*（1）	ピースフェスティバルでは猛暑を避けるため9月に実施した。また、今回も実行委員による企画展示を実施し、学びを深めた。課題：戦後80年を迎える中、伝承者の発掘や育成、若い人たちに向けた取り組みなどの充実が必要である。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)				
基本目標	施策の柱					取組成果	2 一定の成果を挙げている	B	A			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法				2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性				3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画												
第3次富士見市教育振興基本計画												
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	戦争体験を語る市民派遣事業	富士見市教育行政方針に基づいて取り組んでいる。学校と社会教育の連携事業の一環として、社会科などの授業の中で小学6年生が市民による戦争体験を聞き、命を尊ぶ平和学習の機会をつくる。  数値目標：話者派遣実施校4校	対象：市内小学校6年生 期間：9月～1月 会場：市内各小学校 協力：各公民館、鶴瀬西交流センター 内容：戦争体験を語る話者を各小学校に派遣する。授業1時間分を使って実施。その際、ビデオ撮影をし、2名程度の体験談をDVD記録化。  継続年数：10年以上 事業予算額：78,000円	対象：市内小学校6年生 協力：各公民館、鶴瀬西交流センター 実施校：2校 参加人数：180人 派遣話者：1人 ※1校はDVD視聴での実施	45分間という短い時間ではあるが、子どもたちは、話者の話を真剣に聞いていた。子どもたちが生命の尊さや平和について考える学習の機会とすることができた。 課題：戦後79年が経ち、戦争体験をお話いただける方が減少しているため、話者の発掘や記録化が課題。DVDの活用を進めていく工夫など必要である。また、近年実施する校数が減少しているため、担当教諭への周知方法の検討が必要である。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)				
基本目標	施策の柱					取組成果	2 一定の成果を挙げている	B	A			
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供					実施手法				2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性				3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画												
第3次富士見市教育振興基本計画												

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント(課題及び次年度の方向性等を含む)	担当課評価		
事業名	ふじみ青年学級	知的障がい等をもつ15歳以上の市民を対象に、学習・音楽・文化・スポーツ活動を支援し日常生活をより豊かにしていくと共に、なかま同士の関わりと地域交流を深める。  数値目標：ボランティア10名	対象：知的障がい等をもつ15歳以上の市民 期間：5月～3月 会場：鶴瀬公民館ほか 参加費：無料 食材費等の負担は有り  継続年数：10年以上 事業予算額：284,000円	5月12日(日)午前：開級式 午後：音楽クラブ 参加者22人 5月19日(日)午前・午後：公民館まつり舞台発表及び喫茶 参加者19人 6月23日(日)午前：調理実習 午後：野菜の収穫(雨天中止) 参加者19人 7月23日(日)午前：平和に関する映画 午後：ピースフェスティバルの貼り絵 参加者17人 8月25日(日)午前：ボウリング 午後：カラオケ 参加者20人 9月29日(日)午前：調理実習 午後：川越東高吹奏楽部による演奏 参加者21人 10月27日(日)午前・午後：バスハイキング 参加者24人 11月17日(日)午前：工作(サンキャッチャー作り) 午後：音楽クラブ 参加者15人 12月22日(日)午前：午後：クリスマス会 参加者19人 1月26日(日)午前：ポッチャ(スポーツ推進員) 午後：音楽クラブ 参加者18人 2月16日(日)午前。午後：バレンタインコンサート(なかまの発表・ゲストの演奏) 参加者19人 3月16日(日)午前・午後：電車でGO!(板橋区立教育科学館、サンシャイン60展望台) 事業決算額：音楽指導謝礼20,000円(1人) ボランティアコーディネーター謝礼50,000円(1人)、ボランティア謝礼15,000円(5,000円×3人)	公民館利用団体や市民との連携により事業が実施できたことが大きな収穫であった。また、バスバイクや電車でGO!では、できるだけ学級生の希望に沿った行き先の計画を立てることができた。  課題：主に知的障がいをもつ仲間たちの居場所を確保するため、職員・保護者・ボランティアが協力して青年学級を運営しているが、保護者の高齢化などにより卒業する学級生が増え、今後も減少が続くことが考えられる。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	鶴瀬公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
基本目標②								
基本目標③								
基本目標④								
本事業と関連のある他計画						取組成果		
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている	B	B
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント(課題及び次年度の方向性等を含む)	担当課評価		
事業名	鶴瀬学級	地域に住む60歳以上の方を対象に、学習機会を提供する。教養講座、趣味クラブを通じて時代に適応できる知識を高めるとともに、親睦を図ることを目的とする。  数値目標：学級生130人	対象：鶴瀬公民館区及び近隣地域に在住の60歳以上の方 日時：5月～3月 会場：鶴瀬公民館・鶴瀬コミュニティセンターホール 内容：教養講座(年3回)文化祭(年1回)、趣味活動(年14回) 会費：年2,500円  募集人数：266人  継続年数：10年以上 事業予算額：50,000円	◆趣味クラブ(5～2月、各コース計14回) 月曜コース(カラオケ、軽体操、社交ダンス、民謡、ペン習字、毛筆) 木曜コース(コーラス、ウォーキング、新舞踊、詩吟、水墨画、料理) ◆全体会 5月16日 開級式 6月20日 教養講座「講演『相続ココだけの話』」(講師：行政書士 松島明子氏) 68人 7月18日 教養講座「ハッピーシュガー+αスペシャルコンサート」(出演：ハッピーシュガー+αスペシャル) 110人 11月21日 教養講座「講演『防火の話と消防音楽隊コンサート』」(講師・出演：入間東部地区事務組合消防本部職員) 111人 10月10日 社会見学(中止) 2月12～13日 文化祭(作品展示、舞台発表) 3月13日 修了式 事業決算額：15,000講師謝礼 学級生：130人	計画どおり、趣味クラブ、文化祭、修了式を開催することが出来た。7月、11月の教養講座は公開講座として、一般の方にも参加していただき好評を得た。主催する学級生も一般参加者を招くことで運営に積極的に関わることになった。学級生の高齢化により学級生が減少した。教養講座は今後も公開講座として多くの方に参加していただき、新規加入のきっかけを作り人数を増やしたい。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	鶴瀬公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
基本目標②	生涯学習を通じたまちづくりの推進							
基本目標③								
基本目標④								
本事業と関連のある他計画						取組成果		
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている	A	A
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント(課題及び次年度の方向性等を含む)	担当課評価		
事業名	富士見市地域・自治シンポジウム	自ら行動し、まちの風景を変えている方々をパネリストに招き、具体的な実践事例を学ぶことにより参加者一人一人の行動へと結びつける機会とする。  数値目標：参加人数100人	日時：1月～2月頃 内容：事例発表、グループワークなど  会場：鶴瀬コミュニティセンターなど 参加費：無料  継続年数：10年以上 事業予算額：90,000円	テーマ 「サークルっていいね!つどい・学びあうこと」 日時 2月2日(日)午後1時から午後4時まで 会場 南畑公民館 参加者 35人 内容 防災サークル(さいたま市立常盤公民館利用団体)による報告、参加者を交えたフリートーク  事業決算額：執行額(報償費) 講師謝礼なし	一市民目線の実体験に基づいた話が展開され、「地域に還元する」「自分事として地域課題を捉える」ことの必要性が確認された。また、フリートークでは多くの参加者の発言を得ることができた。このまちについて自分が考えている意見を言葉にして互いに意見交換をする場を作ることができた。  課題：テーマは「サークル(団体活動)のあり方」だったが、防災に関する取り組みの一つひとつが参考になるものだったため、参加者の関心が「防災」に移り、テーマのメッセージ性をいかに伝えるかが課題であった。  職員による企画で開催しているが、シンポジウムの趣旨としては市民参画が望ましい。従来の実行委員会体制までいかなくとも、市民とともに企画するような手法を模索していく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	鶴瀬公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供							
基本目標③								
基本目標④								
基本目標⑤								
本事業と関連のある他計画						取組成果		
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている	B	B
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	鶴瀬公民館だより発行事業	市民による編集委員の視点で、地域の課題や話題を取り上げ、地域に目を向けるきっかけを提供する。また公民館活動の情報などを市民に提供する。読者が楽しめる特集を組む。	A3版両面印刷、鶴瀬公民館区内の世帯・関係機関に年10回配布（約19,950部）。編集会議を月1回開催。 1面：わがまち点描、公民館施設利用案内等 2・3面：特集 4面：公民館事業案内、編集委員雑感	A3版両面印刷、年10回発行、19,950部を公民館区の世帯と市内公共施設に配布。 編集会議：11回開催（4月18日・5月21日・7月23日・8月27日・9月27日・10月29日・11月28日・1月28日・2月25日・3月27日）  ◆1面：わがまち点描（*）、施設利用等  ◆2・3面：特集テーマ 4月号／第515号 「いきいき・はつらつ 鶴瀬学級～今年はどういっしょしませんか～」 5月号／第516号 「第43回つるせ公民館まつり」 6月号／第517号 「旅の思い出」 7・8月合併号／第518号 「地元の野菜農家さん」 9月号／第519号 「ピースフェスティバル 平和について考えてみませんか」 10月号／第520号 「でかけてみませんか？ 10月はサークル活動公開月間です」 11月号／第521号 「放課後児童クラブとは？」 12月号／第522号 「あなたが選ぶ 今年の漢字」 1・2月合併号／第523号 「今年の抱負」 3月号／第524号 「富士見市社会福祉協議会のボランティア活動をご紹介します」 4月号／第525号 「鶴瀬学級の活動紹介、ふじみ青年学級の活動紹介」  ◆4面：公民館事業案内、編集委員雑感（*） *…編集委員が輪番で執筆 事業決算額（報償費）：134,000円（4館分編集委員謝礼3,000円×34人、4館分取材協力報酬160本32,060円）	編集委員が特集記事の企画・取材を行うことで、公民館事業に関する理解が進み、利用者同士のつながりを増やすことができた。また、時折、読者からの感想が窓口に寄せられ、公民館だよりに対する地域の方々の関心の高さがうかがわれる。 課題：新たな編集委員を発掘し、居住地域や属性に多様性のある委員構成としたい。また、引き続き、取材に基づく、地域に根差した「公民館だより」ならではの特集企画を続け、地域のつながりを醸成する一助となるようにしたい。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価（参考）
担当課	鶴瀬公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	学習環境の整備							
基本目標②	市民との協働による事業の充実							
基本目標③								
数値目標	年10回配布							
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
取組成果	2 一定の成果を挙げている	B	B					
実施手法	2 手法は概ね適切である							
継続性・発展性	3 次年度も継続							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	公民館運営審議会	公民館の管理・運営・事業推進などを審議する。また、公民館事業に積極的に参加することで、実際の取り組み状況を把握し、さらに活性化を図る。	対象：各公民館利用団体や各種地域団体から選出された16人の委員により、概ね年4回の審議会及び鶴瀬地区の審議会を概ね年4回開催。  継続年数：10年以上 事業予算額：384,000円	第1回：6月27日(木)午後7時から午後8時30分 内容：令和6年度事業計画について（報告） ・協議テーマ「公民館のデジタル化」について（報告） 第2回：7月16日(火)午後7時から午後8時30分 内容：役員選出 ・オリエンテーション 第3回：11月12日(火)午後7時から8時30分 内容：各館の令和6年度上半期主要事業報告及び下半期主要事業について ・公共施設予約システムの更新について（説明） ・現任期の協議テーマについて（意見交換） 第4回：3月6日(木)午後7時から午後8時30分 内容：現任期の協議テーマについて	前任期（～6月）においては「公民館のデジタル化」をテーマに協議を重ね、教育委員に報告したが、この報告を活かした取組や検証をどのように展開していくか。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価（参考）
担当課	鶴瀬公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	市民との協働による事業の充実							
基本目標②	推進体制の充実							
基本目標③	新たな人材の発掘							
数値目標								
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
取組成果	2 一定の成果を挙げている					A	A	
実施手法	3 実施手法は適切で見直しの必要はない							
継続性・発展性	3 次年度も継続							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	鶴瀬公民館利用者懇談会	鶴瀬公民館を利用している団体・サークルの任意加入連携組織として「鶴瀬公民館利用者懇談会」がある。その地域づくりを意識した自主的・自立的活動を支援する。	年度初めの役員会から始まり、各種会議や自主事業・事業協力等、様々な支援を行う。  継続年数：10年以上 事業予算額：0円	1日目：11月29日(金)午後1時30分から午後3時30分 参加者：約60人  2日目：11月30日(土)午前10時から正午 参加者：約40人  (いずれも公共施設予約システム説明会と併せて実施)	デジタル化の進捗や高齢化等により公民館利用者とのつながりが薄くなる中、利用者の意見や要望をどのように聞き、活かしていくかが課題となる。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価（参考）
担当課	鶴瀬公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
基本目標②	市民との協働による事業の充実							
基本目標③	新たな人材の発掘							
数値目標								
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
取組成果	2 一定の成果を挙げている					B	B	
実施手法	2 手法は概ね適切である							
継続性・発展性	3 次年度も継続							

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	公民館施設維持管理事業	安心・安全な施設管理を目的とし、利用者目線での施設維持管理を図る。  数値目標：構造部の評価基準：B評価（75点）を維持する。	①施設維持管理に関する各種業務委託を実施。  継続年数：10年以上 事業予算額：68,508千円	委託業務内容： 清掃業務・警備業務・施設管理業務・建築設備定期検査・エレベーター保守点検・消防設備保守点検・自動ドア保守点検・舞台機構操作・舞台吊物設備保守管理・音響設備保守・空調設備保守点検・照明設備保守・防火対象物定期点検・樹木維持管理業務 修繕等対応内容： 【修繕】 ・ホール座席クリーニング ・ホール入口チャイム ・ホール扉ドアクローザー ・空調冷却水モニター ・ホール外壁落下防止ネット設置 ・男子便所温水洗浄便座 ・中庭屋外コンセント ・点字シート ・排気フード ・和室敷居 【備品】 ・ホワイトボード	緊急対応的な修繕や備品の経年劣化による不具合が年間を通じてあることから優先順位を付け修繕を実施している。施設が建設後40年を超えているため、公共施設個別施設計画に沿って耐久性を高める予防保全を図る。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)			
担当課	鶴瀬公民館										
基本目標	施策の柱										
基本目標①	学習環境の整備										
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											
富士見市公共施設等総合管理方針											
富士見市公共施設個別施設計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	家庭教育支援事業	同世代の子を持つ保護者が互いに学びあい、交流の輪を広げる機会とする。  数値目標：参加者の満足度80%（アンケートによる）	「未定」 対象：未定 日時：未定 会場：南畑公民館 講師：未定 参加費：未定 募集人数：未定  継続年数：5～9年 事業予算額：未定	①「親子で作ろう 手作りうどんづくり」 日時：6月16日（日）10時～13時 会場：南畑公民館 講師：吉川芳一氏、清水誠二氏 参加費：500円 参加人数：8家族 23人 事業決算額:10,000円  ②「親子で楽しむ キャンプクッキング」  日時：11月23日（土）9時～13時 会場：びん沼自然公園 講師：埼玉県立神川げんきプラザ職員 参加費：500円（材料代） 参加人数：9家族 19人 事業決算額:6,000円  ③「親子で楽しむ メリンちゃんを動かそう～遊んで学ぶプログラミング～」 日時：12月14日（土）14時～15時30分 会場：南畑公民館 講師：野村泰朗氏（埼玉大学STEM教育研究センター代表） 参加費：無料 参加人数：11家族 27人 事業決算額:10,000円	①南畑地域の郷土料理である手打ちうどんを親子で作ることにより、親子の交流を深めるとともに、地域への愛着心や食への関心を高めることが出来た。  ②親子で火起こし体験と棒パン作りを体験し、学ぶことにより、親子の交流を深めるとともに、家族間の交流にも繋がった。  ③親子でロボットを使ったプログラミングを、遊びながら学ぶことにより、親子の交流を深めるとともに、後に学校で学ぶプログラミングの足がかりにすることが出来た。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)			
担当課	南畑公民館										
基本目標	施策の柱										
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実										
基本目標③	市民間交流の促進										
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	なんばた学級（高齢者学級）	高齢社会を迎える中で、自ら生きがいを見つけ、活力を得るための一助を目的とする。  数値目標：全体学級参加率7割	地域の60歳以上を対象として、運営委員会 で年間計画を立て、月1回全体学級を開催し、クラブ活動（8クラブ）にも取り組む。 対象：60歳以上 日時：－ 会場：南畑公民館 募集人数：－  継続年数：10年以上 事業予算額：200,000円（講師謝礼等）	<全体学級> 開催回数：年10回 参加者合計：444人 参加率：71.6% 会場：南畑公民館 <クラブ活動> クラブ数：8 開催回数合計：107回 参加者合計：777人 会場：南畑公民館 ・なんばた学級だより3回発行 ○事業決算額155,000円（講師謝礼）	全体学級はアンケート結果から講座等の時間や内容について、満足していることがうかがえる。参加率は約7割あり、生きがいづくりや人との交流の場として、今後取り組む。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)			
担当課	南畑公民館										
基本目標	施策の柱										
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実										
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進										
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	なんばた学級（高齢者学級）	高齢社会を迎える中で、自ら生きがいを見つけ、活力を得るための一助を目的とする。  数値目標：全体学級参加率7割	地域の60歳以上を対象として、運営委員会 で年間計画を立て、月1回全体学級を開催し、クラブ活動（8クラブ）にも取り組む。 対象：60歳以上 日時：－ 会場：南畑公民館 募集人数：－  継続年数：10年以上 事業予算額：200,000円（講師謝礼等）	<全体学級> 開催回数：年10回 参加者合計：444人 参加率：71.6% 会場：南畑公民館 <クラブ活動> クラブ数：8 開催回数合計：107回 参加者合計：777人 会場：南畑公民館 ・なんばた学級だより3回発行 ○事業決算額155,000円（講師謝礼）	全体学級はアンケート結果から講座等の時間や内容について、満足していることがうかがえる。参加率は約7割あり、生きがいづくりや人との交流の場として、今後取り組む。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)			
担当課	南畑公民館										
基本目標	施策の柱										
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実										
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進										
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	わくわく子ども体験室	子どもたちの休日を有意義なものにするきっかけを提供するものとし、自分で考え学ぶ心を育てる。  数値目標：2講座開催	小学生の休日や長期休暇にあわせて工作物を中心に構成 対象：小学生 日時：未定 会場：南畑公民館 講師：未定 参加費：未定 募集人数：未定 継続年数：10年以上 事業予算額：20,000円	①「木の香りのおうち貯金箱」 日時：7月23日（火）13時30分～15時 会場：南畑公民館 講師：飯島 紀氏 参加費：200円（材料代） 参加人数：25人 事業決算額：6,000円  ②「キャップで作ろうエコチャーム」  日時：7月25日（木）13時30分～15時 会場：南畑公民館 講師：小山 由佳氏 参加費：100円（材料代） 参加人数：16人 事業決算額：6,000円  ③「スーパーボール作り実験」 日時：7月29日 会場：南畑公民館 講師：富士見高校理科部 参加費：100円（材料代） 参加人数：23人 事業決算額：10,000円	子どもたちの休日を有意義なものにし、自分で考え、学ぶ意識を育むことが出来た。 また、工作の材料として牛乳パックやペットボトルのキャップを使うことにより、資源を大事にするという意識づけが出来た。 さらに講師を高校生にお願いすることにより、世代交流と相互の学び合いに繋げることが出来た。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)				
担当課	南畑公民館					取組成果	3 十分な成果を挙げている	A	A			
基本目標	施策の柱					実施手法						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					3 実施手法は適切で見直しの必要はない						
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性						
						3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画												
第3次富士見市教育振興基本計画												
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	子ども事業企画「怪皆亭」					年数回の公民館でのイベントを、メンバー（南畑小4～6年生の参加希望児童）が話し合いながら実施していく。様々な地域事業に参加することによって、異年齢間の交流や地域の人とのつながりを大切にし、またスタッフの子どもたちの自主性を伸ばす。  数値目標：5イベント開催	①「南畑あそび隊」夏まつりへの参加 ②南畑地域を巡る「ナイトウォーク」開催 ③「なんばた青空市場」への参加 ④「アボなしサンタ」開催 ⑤「お楽しみ会」開催  継続年数：10年以上 事業予算額：16,000円	R6年度メンバー52人 6月メンバー・スタッフ会議（1回目）、ダークパークの準備、7月「あそもんだークパーク」開催、9月メンバー・スタッフ会議（2回目）、10月かしコンテスト作品作り、11月なんばた青空市場でやさい販売、「ナイトウォーク」開催、12月「アボなしサンタ」、3月メンバー・スタッフ会議（3回目）、南畑ふるさとまつりで「子どもみこし」開催、「お楽しみ・お泊り会」レクリエーション	・会議の際に子どもたちに司会・書記を任せることにより、のびのびとした自由な発想・自主的な発言ができた。 ・「怪皆亭の〇〇」と名前が入ることにより、イベント当日も自分たちで流れを確認し合い運営していくなど、責任感のある活動ができた。 ・大人数の参加になったので、主体性をなかなか発揮できない子たちがいる。 ・1人ひとりの子どもたちの希望をできるだけ実現できるよう工夫が必要。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	南畑公民館	取組成果	3 十分な成果を挙げている	A	A							
基本目標	施策の柱	実施手法										
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実	3 実施手法は適切で見直しの必要はない										
基本目標③	市民間交流の促進	継続性・発展性										
		3 次年度も継続										
本事業と関連のある他計画												
第3次富士見市教育振興基本計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）					担当課評価		
事業名	南畑地区体育祭支援	南畑地区の一大イベントであり、地域をあげての取組みである南畑地区体育祭を、地域の活性化と地域コミュニティ構築の場として支援する。  数値目標：	夏前の調整会議に始まり、実行委員会の会議等、当日も含め様々な支援を行う。 日時 10月13日（日） 会場 南畑小学校 継続年数：10年以上 事業予算額： ー 円	実行委員会形式により、地域の多くの団体が企画段階から参画し、当日は大きなトラブルも無く、多くの参加者を得ることが出来た。	南畑地区の一大イベントである南畑知育体育祭を支援することにより、地域の活性化と地域コミュニティ構築に繋げることが出来た。 今後も引き続き地域コミュニティの発展に寄与出来るよう支援していく。					個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	南畑公民館					取組成果	3 十分な成果を挙げている	A	A			
基本目標	施策の柱					実施手法						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					2 手法は概ね適切である						
基本目標①	市民との協働による事業の充実					継続性・発展性						
基本目標②	新たな人材の発掘					3 次年度も継続						
基本目標③	市民間交流の促進											
本事業と関連のある他計画												
第3次富士見市教育振興基本計画												
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	南畑ふるさとまつり支援	公民館利用団体、サークル・地域団体等の活動成果発表の場、地域住民相互の親睦と交流の場として南畑公民館利用者の会が主催する「南畑ふるさとまつり」を支援する。  数値目標：来場者数1,000人	1月の第1回全体会に始まり、各部会会議等、3月の当日も含め、様々な支援を行う。  継続年数：10年以上 事業予算額： ー 円	参加人数 約1,100人  会議 全体会（3回実施） 役員会（2回実施） 各部会（1回以上実施）	公民館利用者の活動発表の場として、また地域の祭りとして、利用者の会が主催となり地域団体も参加協力しながら実施し、地域に必要な催しとなっている。今後も利用者の会を援助し継続をしていく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)				
担当課	南畑公民館					取組成果	3 十分な成果を挙げている	A	A			
基本目標	施策の柱					実施手法						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					2 手法は概ね適切である						
基本目標①	市民との協働による事業の充実					継続性・発展性						
基本目標②	新たな人材の発掘					3 次年度も継続						
基本目標③	市民間交流の促進											
本事業と関連のある他計画												
第3次富士見市教育振興基本計画												

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	南畑公民館利用者の会活動支援	南畑公民館を利用している団体・サークルの任意加入連携組織として「南畑公民館利用者の会」がある。その地域づくりを意識した自主的・自立的活動を支援する。  数値目標：加入数50団体以上	年度初めの役員会から始まり、各種会議や自主事業・事業協力等、様々な支援を行う。  継続年数：10年以上 事業予算額： ー 円	実施期間：通年 役員会、理事会、総会、グラウンドゴルフ大会協力、ソフトボール大会協力、公民館大掃除、新春交流会、文化公演会『落語を楽しむ』共催、南畑ふるさとまつり協力 ・公民館事業への協力（子ども事業）	公民館利用団体や地域団体のつながり・交流を促す意味で重要な組織である。高齢化が進み、後継者の発掘・育成が課題となっている。サークル間の交流や各団体活動の活性化、利用者相互の結びつきを強める支援が必要である。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	南畑公民館					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
基本目標①	市民との協働による事業の充実					2 手法は概ね適切である		
基本目標②	新たな人材の発掘					継続性・発展性	3 次年度も継続	
基本目標③	市民間交流の促進					3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	南畑お月見一座支援	地元南畑の入たちで構成されている劇団「南畑お月見一座」が、地域の話題を盛り込んだ新作を毎年創り続けている。また防犯を目的とした寸劇を市内外で行っていることから、これからの地域づくりへの関心や意欲・防犯意識を高めあう団体として支援していく。  数値目標：	長編公演として、毎年2月に南畑ふれあい劇場として新作劇披露の場として支援している。また寸劇公演を2市1町のエリアを中心に高齢者サロン等での披露等、様々な支援を行う。  継続年数：10年以上	(1)長編公演 ●南畑ふれあい劇場 第27作『プロジェクトY 風に吹かれて』令和7年2月8日(土)14時開演 (2)寸劇公演 【演目：簡単！特殊詐欺講座(？)、交通安全】5/15 渡戸3丁目ふれあいサロン、7/17 南畑公民館なんばた学級、9/20 ふじみ野交流センター高齢者学級 【未完のラブレター-short ver.】9/1 演劇のつどい【ももたろう】8/2 デイサービス サーバント	・劇団サポートスタッフ（当日の受付等）の確保ができた ・細かな声掛けにより、長編公演には新団員が2人入団した ・当日パンフレットにも団員募集の掲載 ・舞台BGM用で、JASRACに許可申請を出した	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	南畑公民館					取組成果	A	A
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
基本目標①	市民との協働による事業の充実					3 実施手法は適切で見直しの必要はない		
基本目標②	新たな人材の発掘					継続性・発展性	3 次年度も継続	
基本目標③	市民間交流の促進					3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	地域子ども教室「南畑あそび隊」支援	南畑地域の子ども事業の中心であり、学年が違う子どもたち同士や子どもと地域住民をつなぐ「南畑あそび隊」。学校と地域をより深くつなぐ重要な事業であると位置づけ、積極的に支援する。  数値目標：南畑あそび隊『夏まつり』参加人数200人	南畑小学校の授業がある月曜日の放課後に自由遊びを実施している「南畑あそび隊」を支援する。また7月の日曜日に開催される「あそび隊夏まつり」にも協力している。  継続年数：10年以上	今年度も、7月に開催された「あそび隊夏まつり」を中心に活動が滞りなく実施出来るよう支援した。	今後も学校と地域をより深くつなぐ重要な事業であるため、滞りなく開催出来るよう支援していく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	南畑公民館					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
基本目標①	市民との協働による事業の充実					2 手法は概ね適切である		
基本目標②	新たな人材の発掘					継続性・発展性	3 次年度も継続	
基本目標③	市民間交流の促進					3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	文化公演会	身近な施設で日本の伝統芸能文化に触れる。  数値目標：1回開催	日時：令和7年2月15日（土）午後1時30分～2時30分（予定） 会場：南畑公民館 内容：未定 入場料：無料 主催：南畑公民館利用者の会・南畑公民館  継続年数：5～10年 事業予算額：10,000円	日時：令和7年2月15日（土） 会場：南畑公民館 講師：山遊亭金太郎(落語)、おのんのん(マジシャン弁護士)、澤田一咲(津軽三味線) 参加人数：120人  事業決算額： 10,000 円	・南畑公民館と利用者の会との共催により、プロの芸人の方を呼ぶことができた。 ・毎年楽しみにしている方が多く、定着している ・利用者の会の方が当日も動いてくれて、問題なく開催できた	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	南畑公民館					取組成果	A	A
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
基本目標①	市民との協働による事業の充実					3 実施手法は適切で見直しの必要はない		
基本目標②	新たな人材の発掘					継続性・発展性	3 次年度も継続	
基本目標③	市民間交流の促進					3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	南畑まちづくり協議会支援	住民が主人公となって、南畑地域全体のまちづくり活動を行う「南畑地域まちづくり協議会」への支援を行うことを通し、地域住民相互の交流と地域の活性化を図る。  数値目標：	①「子育てサロンちびっこあおむし」でクリスマス会を共催で実施。②1月のもちつき交流会を支援する。③「南畑まちcafé」の開催を支援する。④農バルプロジェクトとタイアップした「まち協ニュースレター」の発行を支援する。等、様々な支援を行う。  継続年数：10年以上 事業予算額： ー 円	南畑まちづくり協議会の各種事業において会場の提供や取材・PR等で支援した。	南畑地域まちづくり協議会の事業として南畑公民館を会場にもちつき交流会やまちcafé等の住民相互の交流事業を実施していることからこれからも継続して援助していく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	南畑公民館					取組成果	A	A
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
基本目標①	市民との協働による事業の充実					3 実施手法は適切で見直しの必要はない		
基本目標②	新たな人材の発掘					継続性・発展性	3 次年度も継続	
基本目標③	市民間交流の促進					3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	南畑ふれあい劇場	地元素人劇団「南畑お月見一座」の新作劇初演の場として、その時代背景や地域課題を反映した劇を通して、楽しみながらも地域問題や課題を考える場とする。また身近な施設で気軽に演劇を鑑賞できる機会の充実を図る。	日時：令和7年2月8日（土） 会場：南畑公民館 入場料：無料 内容：お月見一座新作劇  継続年数：10年以上 事業予算額：10,000円	日時：令和7年2月8日（土） 会場：南畑公民館 講師：南畑お月見一座 内容：演劇 第27作『プロジェクトY 風に吹かれて』 参加人数：151人  事業決算額：10,000円	・事前申し込み制としたが、当日参加の方もいて、毎年楽しみにしてくれているのが分かった。 ・アンケートの回収率は74%で、内83%がおもしろかったと回答した。内容・公演時間ともに満足度が高かった。 ・新団員の加入もあり、次回以降にも期待が持てる	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	南畑公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
基本目標②	市民との協働による事業の充実							
基本目標③	新たな人材の発掘							
基本目標④	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画		数値目標：1回開催				取組成果	A	A
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている		
						実施手法		
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	南畑公民館だより発行事業	地域住民で構成された編集委員会の視点で地域の問題や課題を取り上げ、地域情報や交流の場の広報紙として公民館情報と共に発信する。	月1回（2・8月除く）発行。A4判8ページ立て。館区内世帯・関係機関へ配布。 月1回の編集会議では、特集等の紙面構成を検討。その他適宜取材を実施。  継続年数：10年以上 事業予算額：—円	月1回（2・8月除く）発行。 A4判8ページ立て。 館区内世帯・関係機関へ配布 編集会議：月1回、その他適宜取材 発行部数：1800部	各町会から推薦された編集委員と公民館の協働で幅広い年代の方が楽しめるような紙面を発行することが出来た。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	南畑公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	学習環境の整備							
基本目標②	市民との協働による事業の充実							
基本目標③								
基本目標④								
本事業と関連のある他計画		数値目標：10回発行				取組成果	B	B
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている		
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	南畑ざやらりい	公民館の利用団体やサークル会員が、公民館施設を利用して制作した作品を展示することにより、サークルの活動内容等を公開し、交流の輪を広げる機会とする。	公民館ロビーにコーナー設置した展示スペースで、最長概ね1か月を目途に、各種団体の作品等を展示する。  継続年数：10年以上	約1か月を基本として、16の団体・個人に展示をしてもらった	活動団体だけでなく、様々な展示をすることができた。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	南畑公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	学習環境の整備							
基本目標②	新たな人材の発掘							
基本目標③	学習成果の発表機会の充実							
基本目標④	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画		数値目標：展示団体数10団体(個人含む)				取組成果	A	A
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている		
						実施手法		
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	公民館運営審議会南畑地区会議	南畑公民館の管理・運営・事業推進などを審議する。また、公民館事業に積極的に参加することで、実際の取り組み状況を把握し、さらに活性化を図る。	公民館利用団体や各種地域団体から選出された4人の委員により、概ね年3回の審議会を開催。  継続年数：10年以上 事業予算額：—円	実施日 第1回会議 6月20日（木） 第2回会議 10月25日（金） 第3回会議 2月20日（木）	地域において様々な分野で活躍している運営審議会委員の意見は、公民館事業を進めていく上で大変重要である。地域が抱える課題について整理し、公民館の活性化に向けた取組みについて今後も協議することが求められる。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	南畑公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	市民との協働による事業の充実							
基本目標②	推進体制の充実							
基本目標③	新たな人材の発掘							
基本目標④	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画		数値目標：				取組成果	B	B
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている		
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	なんばた青空市場	生産者と消費者が直接交流する場を設けることによって、生産者の顔が見える地元生産物をPRし、コミュニケーションを図る。	市民による実行委員会が運営している。例年11月3日（祝）に南畑地域の田んぼにおいて開催。地元生産物（農産物）の販売や、各種模擬店・フリーマーケット、焼き芋販売やかかしコンテスト、さんだら飛ばし、かぼちゃの重さ当てコンテスト・米のつかみ取り等のイベントを開催している。 対象：一般 日時：11月3日（日・祝） 会場：南畑地域の田んぼ 講師：— 参加費：無料 募集人数：—  継続年数：10年以上（なんばた青空市場） 事業予算額：132,000円	地元生産物（農産物）の販売、各種模擬店・フリーマーケット、焼き芋販売、かかしコンテスト、さんだら飛ばし、かぼちゃの重さ当てコンテスト、米のつかみ取り、大声コンテスト、東中学校吹奏楽部演奏 対象：一般 日時：11月3日（日・祝） 会場：南畑地域の田んぼ 参加費：無料 来場者数：3,100人	・当日は天候にも恵まれ、多くの来場者で賑わったが、前日の雨により、一部レイアウトを変更して開催。事前に変更案を決めていたことで、混乱はなかった。 ・中学生ボランティア7人参加により、投票用紙の配布や参加者のお弁当配布など、がスムーズにできた。 ・10/18(金)に農業委員さんを中心としたさんだら講習会を実施。 ・天候により、コーナー場所の変更や駐車場が使えなくなってしまう。屋外イベントなので、想定をした準備をしておくことが必要。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	南畑公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標③	市民間交流の促進							
基本目標④								
基本目標⑤								
基本目標⑥								
本事業と関連のある他計画		数値目標：来場者数3,000人				取組成果	A	A
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている		
						実施手法		
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	子育てサロン「ちびっこあおむし」	少子化や孤立感を持つ親が増えている状況の中で、親と子が楽しい時間を過ごす場を提供し、子ども同士が仲良く遊び、親同士が子育ての悩みなどを話し合える仲間づくりの機会とし、地域で子育てができる環境づくりを目指す。  数値目標：延べ参加人数300人	毎月1回（年間12回）開催。 ボランティアスタッフによる無料の子育てサロン。対象は未就園児とその親で、子どもを持つ親同士の交流の場として、また親と子が一緒に遊べる場としている。季節や月齢に応じた催しや、手遊び・絵本の読み語りなどを行っている。年1～2回、子育ての講演を聞いたたり、プロの芸術活動を鑑賞したりするなど、スタッフだけではできない分野も取り入れて、親の気分転換や子どもの豊かな感情を育成する工夫をしている。 対象：未就園児とその親 日時：毎月1回（木曜日） 会場：主に南畑公民館 講師：－ 参加費：－ 募集人数：－  継続年数：10年以上 事業予算額：208,000円	4/11(木) あおむしティータイム 5/9(木) 子どもにかかるお金の話 6/13(木) えのぐの色あそび 7/11(木) 虹色おやこコンサート 8/22(木) 水あそびとミニゲーム 9/12(木) ベビー&キッズマッサージ 10/10(木) ハロウィンでおさんぽのおかし作り 11/21(木) やさい 12/12(木) クリスマス会&リユースバザー 1/9(木) 絵本で広がる世界 2/13(木) 食育劇『アリスの不思議なおさんぽ』 3/13(木) おもいで工作&あおむし旅立ち式	年度末に参加者アンケートをしたところ、満足度が高く、毎回の内容も工夫されていて楽しかったと好評をいただいた。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)	
担当課	南畑公民館								
基本目標	施策の柱								
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実								
基本目標③	市民間交流の促進								
本事業と関連のある他計画									
第3次富士見市教育振興基本計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	利用者懇談会	定期利用団体の声を反映した公民館運営及び利用者同士の交流や施設の整備に反映させる場とするため開催する。参加者の意見を聞き、公民館事業や施設の整備に反映させる。  数値目標：参加人数20人	令和6年5月24日（金）開催 令和6年12月14日（土）開催予定 公民館利用等についての意見交換  継続年数：10年以上 事業予算額：－円	開催日 令和6年5月24日（金）10名 令和6年12月14日（土）69名 ・公民館利用等についての意見交換 ・公民館事業のお知らせ	公民館事業を運営するうえで、利用者の意見・要望を聞く貴重な機会となっている。利用者同士の交流を図る機会ともなっており、今後も継続する。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)	
担当課	南畑公民館								
基本目標	施策の柱								
基本目標①	市民との協働による事業の充実								
基本目標③	市民間交流の促進								
本事業と関連のある他計画									
第3次富士見市教育振興基本計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	農バルプロジェクト支援	南畑地域内の農・商・工業等事業者のネットワーク化を図り、それに関わるイベントを企画し、地域内の活気と賑わいを生み出すプロジェクトを支援する。  数値目標：  以上の事業を主催する農バルプロジェクト事業企画委員会を公民館として支援する。  継続年数：5年 事業予算額：－円	①南畑まち協とタイアップし、地域の飲食店等の事業者をニュースレターとして紹介する（隔月発行）。 ②地域内の飲食店等に協力を得て、イベントにおいて南畑のお米&地域のおかずを元にした「地元メシ」を販売し地域の魅力を発信する。  継続年数：3年	①予算の都合等で令和6年度は年3回に変更し発行し（9月、1月、3月）取材・編集等支援した。 ②令和6年度では難波田城公園まつり、南畑あおぞら市場、大地の収穫祭で飲食店協力のもと「地元メシ」を販売し、実施にあたり企画・広報・掲示物など支援した。	自立性の高い団体ではあるが、企画を実行する際に支援が必要な部分はまだあり、地域交流において推進している団体の為、今後も協力を継続していく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)	
担当課	南畑公民館								
基本目標	施策の柱								
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供								
基本目標③	市民間交流の促進								
本事業と関連のある他計画									
第3次富士見市教育振興基本計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	動画配信（Webの活用）	社会状況（新型コロナ）を踏まえた生涯学習の在り方を、施設に来館しなくても可能な生涯学習としての一方策を実施する。  数値目標：2番組	「おうちで楽しむ公民館」と題して計11番組を配信した実績に基づき、動画配信に適する内容を精選し制作する。  継続年数：3年	○事業内容紹介 ①【工作】エコチャーム作り①//ペットボトルキャップと余った毛糸で作る/エコチャーム作り （わくわく子ども体験室の内容紹介動画）  ②【工作】エコチャーム作り②//ペットボトルキャップと余った毛糸で作る/タッセル作り （わくわく子ども体験室の内容紹介動画）	・公民館で行っている活動を、来たことが無い方にも知ってもらえるツールとなった。 ・編集に時間がかかるが、公民館のことを知ってもらえる機会なので、少しずつでもアップしていきたい。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)	
担当課	南畑公民館								
基本目標	施策の柱								
基本目標①	学習環境の整備								
本事業と関連のある他計画									
第3次富士見市教育振興基本計画									

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	施設維持管理事業	安心・安全な施設管理を目的とし、利用者目線での施設維持管理を図る。  数値目標：     <b>本事業と関連のある他計画</b> 第3次富士見市教育振興基本計画 富士見市公共施設等総合管理方針 富士見市公共施設個別施設計画	①施設維持管理に関する各種業務委託を実施。 ②必要な修繕を実施 継続年数：10年以上 事業予算額：2,925,000円	①各種業務委託実施 ②各種修繕実施（事務室クレセント交換修繕、多目的ホールワイヤレス受信機修繕、建具交換修繕等）	修繕及び維持管理に係る委託業務については、予定通り完了した。利用者が安全・安心に公民館を利用できるよう施設・設備の経年劣化への計画的な対応が求められる。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	南畑公民館					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	学習環境の整備					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性	3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	親の学習講座（子育て学習支援事業ババママのステップアップ講座）	子育てなどに役立つ学習や体験、仲間づくりの場を提供することを目的とする。  数値目標： 参加者の満足度70% (アンケートによる)	・ババママのステップアップ講座 対象：未就園児の親 開催日時：6～3月 会場：水谷公民館 参加費：材料費など実費 募集人数：12名程度 継続年数：10年以上 予算額：174,000円	・6月19日「スイーツデコのマグネット&ボードづくり」 9組、 ・7月17日「夏バテ予防！ビネガースフレチーズケーキづくり」 4組 ・9月18日「食材を活かす冷凍術（試食つき）」 5組 ・10月16日「ババママのためのやさしいヨガ」 10組 ・12月18日「寒さにまけるな！いちごのシナモンマフィン」 6組 ・1月21日「タオルのぬいぐるみづくり&おしゃべり会」 1組 ・2月19日「アロマスプレーづくり」 4組 事業決算額 97,980円	講座内容により、申込人数に差があることから、地域のニーズに合わせた内容の実施を検討していく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水谷公民館					取組成果	A	A
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない		
						継続性・発展性	3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	教育講演会	登校拒否・不登校、ひきこもりについての学習を通して、親や地域がどのような役割を果たすかなどを学ぶ機会を提供することを目的とする。  数値目標： 参加者の満足度70% (アンケートによる)	不登校や引きこもり等の子育てをする親の不安や孤立感に悩む市民の学びの機会を提供する講演会を開催する。対象：市民一般 開催日時：3月 会場：水谷公民館 参加費：なし 募集人数：40名程度 継続年数：10年以上 予算額：60,000円（うち人間尊重啓発講座として、生涯学習課予算から20,000円）（親の学習講座と兼ねる）	日時：令和6年3月8日（土）午後1時30分～3時30分 会場：水谷公民館多目的ホール 内容：「ひきこもりの子と共に生きる～今と未来のお金のお話～」 講師：浜田裕也氏（社会保険労務士・ファイナンシャルプランナー） 参加人数：41人 事業決算額：30,000円（うち人間尊重啓発講座として、生涯学習課予算から20,000円）	30年以上続く取り組みを今後も継続していくための講演内容等の検討と、この問題に多くの方に参加してもらえるような取り組み内容の検討、講座開催の周知や案内方向の検討が必要。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水谷公民館					取組成果	B	A
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性	3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	健康づくり事業	地域住民が身体を動かしながら親睦を深めることとともに、成人病予防・介護予防につながる健康な心身づくりの一助とする。  数値目標： 参加者の満足度70% (アンケートによる)	市民の健康づくりの一助となるよう、ノルディックウォーキングなどを開催する。 対象：市民一般 開催日時：9月～10月 会場：未定 参加費：なし 募集人数：20名程度 継続年数：5～9年 予算額：60,000円	介護予防教室 日時：1月17日(金)午後1時30分～3時 対象：水谷学級生及び一般 講師：高齢者安心相談センター ひだまりの庭むさしの参加人数：14人  お口の健康講座 日時：2月20日(木)午前10時～11時30分 対象：水谷学級生及び一般 講師：埼玉県歯科衛生士会朝霞支部歯科衛生士 参加人数：21人 事業決算額：7,700円	成人病・介護予防のために日常生活において心掛けることなどを学習し、健康に対する意識の向上に寄与した。定員を下回る参加者だったので、今後、事業の周知方法などについて検討していく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水谷公民館					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性	3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	子育て学習支援事業子育てサロン親子フレンドパーク	親が集まり、自由に子どもを遊ばせながら仲間づくりや情報交換ができる居場所づくりを目的とする。  数値目標： 参加者の満足度70% (アンケート結果による)	子育ての親とその子が集まり、一緒のおしゃべりしたり、手遊びや紙芝居観賞しながら仲間づくりや情報交換をする。 対象：未就園児の親子 開催日時：通年 会場：水谷公民館児童室など 参加費：なし 募集人数：5組程度 予算額：5,000円  継続年数：10年以上	・4月16日 2組、5月14日 5組、6月11日 5組、7月9日 5組、9月10日 4組、10月8日 4組、11月12日 2組、12月14日 3組、1月14日 5組、3月11日 4組 会場：水谷公民館 児童室 協力：NPO法人ふじみっこ夢みらい、鶴瀬西交流センター紙芝居ボランティア 事業決算額：5,000円（紙芝居謝礼）	アンケートの結果も好評で申込人数も安定している。今後さらに新しい参加者を獲得するために効果的な周知方法を検討していく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水谷公民館					取組成果	A	A
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない		
						継続性・発展性	3 次年度も継続	
		本事業と関連のある他計画	第3次富士見市教育振興基本計画	第4次富士見市子ども読書活動推進計画	いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ			

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	水谷学級	高齢者をいきいきと暮らすための学習・仲間づくりの一助となることを目的とする。  数値目標： 延べ参加者数800人	月1回学級生全体を対象とした芸術鑑賞などを行う「全体会」と、ジャンルごとに講師を設けて月1～2回の活動を行う「サークル活動」を実施する。 対象：主に水谷地区在住で60歳以上の高齢者 開催日時：5～3月 会場：水谷公民館各室 参加費：なし 参加人数：150人程度 継続年数：10年以上 事業予算額：144,000円	月1～2回サークルごとに活動を行い、年4回全体会を実施した。 対象：主に水谷地区在住の60歳以上 開催日時：6～3月（折紙8回、書道16回、民謡15回、フラダンス14回、体操15回、カラオケ14回、舞踊14回） 会場：水谷公民館各室 参加人数：延べ人数761人 継続年数：10年以上 事業決算額：60,000円	参加者の減少が課題。新たな参加者を増やすため、積極的な周知を行うとともに、全体会の内容についても検討していく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)				
担当課	水谷公民館					取組成果	B	B				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法						
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進					2 手法は概ね適切である						
						継続性・発展性						
本事業と関連のある他計画												
第3次富士見市教育振興基本計画												
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ												
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	水谷公民館企画運営委員会	市民と職員協働による公民館運営の仕組みを整え、新たな事業展開に資することを目的とする。  数値目標： 利用者の満足度70% (アンケートによる)	館内の季節展示（七夕など）の提示や水谷文化祭の企画・運営  継続年数：5～9年 事業予算額：なし	館内の季節展示（七夕など）では七夕において短冊をかいてもらうことで参加者同士で交流が生まれた。  継続年数：5～10年 事業決算額：0円	委員の固定化や高齢化が課題となっており、新たな協力者の獲得を検討する。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)				
担当課	水谷公民館					取組成果	B	A				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている						
基本目標①	市民との協働による事業の充実					実施手法						
基本目標②	新たな人材の発掘					2 手法は概ね適切である						
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性						
本事業と関連のある他計画												
第3次富士見市教育振興基本計画												
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	水谷公民館だより発行事業					地域住民による編集委員会により、地域課題や話題を掘り起こし、地域への関心を高める。また各種情報提供を通じて公民館活動や市民活動等の周知を図る。  数値目標： 編集委員の増員10人以上を100%とし現状の8人を維持を70%とする。	市民編集委員（12名以内）により編集会議を月1回開催、特集記事のテーマ決定など行っている。 館区内全戸配布（約16,000部）。 「特集記事」や「公民館からのお知らせ」などにより情報を発信する。  継続年数：10年以上 事業予算額：鶴瀬公民館予算から支出	市民編集委員（7名）により編集会議を月1回開催、特集内容の決定、取材など行っている。 A3版両面刷り、館区内全戸配布（約16,500部）。 特集記事(第1面)及び「公民館からのお知らせ」(第2面)において、生涯学習情報を発信する。 事業決算額：鶴瀬公民館予算から支出 継続年数：10年以上	居住年数に関わらず地域に興味・愛着を持ってもらえるよう、幅広い世代に合わせた紙面内容を検討していく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水谷公民館	取組成果	A	A								
基本目標	施策の柱	3 十分な成果を挙げている										
基本目標①	学習環境の整備	実施手法										
基本目標①	市民との協働による事業の充実	3 実施手法は適切で見直しの必要はない										
		継続性・発展性										
本事業と関連のある他計画												
第3次富士見市教育振興基本計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）					担当課評価		
事業名	水谷文化祭	公民館利用団体・サークル、各種定期利用団体の活動成果の発表や、誰もが気軽に参加できる多彩な催し物をととして、地域住民相互の交流と親睦を深めることを目的とする。  数値目標： 参加者の満足度70% (アンケートによる)	公民館利用団体、サークル活動の成果発表。舞台発表、展示発表など。 対象：市民 開催日時：11月上旬 会場：水谷公民館 参加費：未定 募集人数：特になし 予算額：10,000円 主催：水谷文化祭実行委員会  継続年数：10年以上	・開催日時：11月5日（火）～10日（日） ・内 容：オープニングセレモニー、舞台発表（ギター演奏、女声コーラス、民謡等）、展示発表（絵手紙、陶芸、書道等）、模擬店（焼きそば、フランクフルト、豚汁等） 参加人数：1,300人 事業決算額：0円 継続年数：10年以上	運営を担う人材の固定化・高齢化が課題。新たな人材の確保と幅広い世代の参加を促すことが必要。					個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水谷公民館					取組成果	A	A				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている						
基本目標③	学習成果の発表機会の充実					実施手法						
基本目標③	市民間交流の促進					2 手法は概ね適切である						
						継続性・発展性						
本事業と関連のある他計画												
第3次富士見市教育振興基本計画												
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	公民館運営審議会水谷地区会議					水谷公民館の運営、事業、施設維持管理等についての課題を中心に、意見交換や協議を行うことにより、各種事業展開に活かしていくことを目的とする。  数値目標： 実施回数3回	公民館利用団体や各種地域団体から選出された4人の委員により、概ね年4回の審議会を開催。  継続年数：10年以上 事業予算額：鶴瀬公民館の予算から支出	1月31日午後1時30分～ 公民館の運営や事業について、評価、アドバイスをいただき、利用者対応や利便性の向上が図られている。 事業決算額：鶴瀬公民館予算から支出 継続年数：10年以上	地域の課題や公民館が果たす役割などについて議論する機会が少なく、事業展開に活かすことが難しかった。会議の回数を増やす等、今後検討していく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水谷公民館	取組成果	A	A								
基本目標	施策の柱	3 十分な成果を挙げている										
基本目標①	市民との協働による事業の充実	実施手法										
基本目標①	推進体制の充実	2 手法は概ね適切である										
基本目標②	新たな人材の発掘	継続性・発展性										
基本目標③	市民間交流の促進											
本事業と関連のある他計画												
第3次富士見市教育振興基本計画												

計 画 の 位 置 付 け		事 業 目 標	事 業 概 要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	施設維持管理事業	安心・安全・快適な施設提供に向けて、市民・利用者目線で施設の維持管理を図る。  数値目標： 実施回数3回	①施設老朽化等に伴う、修繕、工事の実施。 ②施設維持管理に関する各種業務委託の実施。 ③その他、施設維持管理に関する業務の実施。  継続年数：10年以上 事業予算額：① 880,000円 ②3,063,000円 ③ 349,000円	施設の設備などを修繕することで、利用者の安全、安心、快適な利用に寄与した。 事業決算額：①3,208,430円 ②3,022,800円 ③227,603円 ※工事費決算額未定のため後日修正いたします。	施設の建築から40年が経過し老朽化が進んでいるため、施設の現状を注視し、これまで以上に計画的な工事の検討や日常修繕の実施に取り組む。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水谷公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	学習環境の整備							
本事業と関連のある他計画						取組成果	B	A
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている		
富士見市公共施設等総合管理方針						実施手法		
富士見市公共施設個別施設計画						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計 画 の 位 置 付 け		事 業 目 標	事 業 概 要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	学習情報の発信、提供・相談窓口の充実	生涯学習支援としてイベント等の情報の発信、提供を行い、職員の専門性の向上に努め、学習等相談窓口の充実を図る。  数値目標：ホームページアクセス件数3,000件	市ホームページやYouTubeを活用した動画配信、施設の情報コーナーでイベント等の情報発信・提供を行うとともに、学習ニーズ等の相談に随時対応する。 対象：一般 時期：随時 会場：水谷東公民館 外 参加費：－ 募集人数：－  継続年数：10年以上 事業予算額：－	・YouTubeチャンネルによる情報発信 時期：随時 今年度はやなせ川いかだラリーの様子を発信した。 ・ホームページ、情報コーナーで情報発信・提供、学習等の相談 時期：随時	ホームページやSNS、動画配信により今後もタイムリーな情報発信に努める。 利用者が最新情報を入手しやすい情報コーナーとして今後も整備に努める。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水谷東公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	学習環境の整備							
本事業と関連のある他計画						取組成果	B	B
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている		
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計 画 の 位 置 付 け		事 業 目 標	事 業 概 要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	公民館だより発行事業	地域情報の発信、公民館情報の提供や地域課題の掘り起こしを図り、また、紙面を通じた地域交流を図ることを目的とする。  数値目標：市民編集委員人数1名増(7→8名)	地域住民からなる編集委員を中心とした、公民館だより「ひがし」の編集、発行。 対象：地域住民 時期：年11回発行 2,860部発行 会場：－ 参加費：－ 募集人数：－  継続年数：10年以上 事業予算額：30,000円（報償費） 連携・協力団体：公民館だより編集委員会	時期：年11回発行、水谷東4町会へ全戸配布 2,780部 編集委員：7人 決算額（事業協力者謝礼）：30,000円	地域住民が興味を持つことができるような特集を組むことができた。 地域の話題や人に焦点をあてるべく様々な地域住民から原稿をいかに集められるかが課題となっている。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水谷東公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	学習環境の整備							
基本目標②	市民との協働による事業の充実							
本事業と関連のある他計画						取組成果	A	A
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている		
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計 画 の 位 置 付 け		事 業 目 標	事 業 概 要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	川の探検隊	地域を流れる柳瀬川を活用し、自然や環境について学ぶ機会とするとともに、地域への愛着醸成を図る。  数値目標：募集人数に対する参加人数割合100%	柳瀬川の水質検査、魚とり、学習会を実施 対象：小学生以上 時期：6月16日(日) 会場：水谷東公民館、柳瀬川 参加費：無料 募集人数：小学生とその保護者（20組40名程度）  継続年数：10年以上 事業予算額：15,000円（報償費） 連携・協力団体：やなせ川いかだラリー実行委員会	日時：6月16日（日） 午前9時～11時30分 対象：小学生以上 参加人数：33名 会場：水谷東公民館、柳瀬川 指導：金澤光氏（埼玉県魚類研究会） 内容：柳瀬川の水質検査、魚とり（たも網、投網）、講師による学習会 決算額（講師謝礼）：15,000円	市内各所からの参加申し込みがあり、関心の高さがうかがえた。参加者は子どもも大人もとても熱心に講師の話聞きながら水質や生き物について観察していた。身近な地域を流れる柳瀬川に生息する生き物についての学習ができ、非常に満足度の高い事業となった。 子どもたちが川に入るため、安全管理上、天候や上流の情報、現在の河川状況を把握し的確な判断ができるよう注視する必要がある。また、熱中症対策の必要性も高くなってきている。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水谷東公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供							
本事業と関連のある他計画						取組成果	A	A
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている		
第3次富士見市環境基本計画						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計 画 の 位 置 付 け		事 業 目 標	事 業 概 要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	子育て応援の勉強室	家庭教育支援事業として、親の学びや育ちを応援することを目的とする。  数値目標：募集人数に対する参加人数割合75%	学習講座の実施 対象：小中保護者 時期：未定 会場：水谷東公民館 参加費：－ 募集人数：35名  継続年数：10年以上 事業予算額：20,000円（報償費） 連携・協力団体：地域小中PTA 外	日時：11月30日（土） 午前10時～12時 対象：市内小中学校保護者等 参加人数：30名 会場：水谷東公民館多目的ホール 講師：富士見市教育相談室 室長 関崎 純也氏 テーマ：「子どもへの望ましいいかかり方」 決算額（講師謝礼）：出前講座	受講者アンケートから満足度の高い結果となった。また自由意見欄には多くの記載があり、関心の高さがうかがえた。参加の機会を拡大する試みとして、ZOOMでの参加を募集したところ2名の申し込みがあった。 受講するための時間の捻出に苦慮するとの声を受けて、ZOOMによる参加を募集したところ2名の参加であった。参加手段としては有効であったところであるが、意見の交換などに課題が残った。引き続き多くの参加につなげるために開催時間・方法を検討し、受講者を獲得していく必要がある。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水谷東公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
本事業と関連のある他計画						取組成果	A	A
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている		
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計 画 の 位 置 付 け		事 業 目 標	事 業 概 要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
						個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
						取組成果		
						3 十分な成果を挙げている		
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		

事業名	子ども公民館事業	子どもが公民館活動を体験し、公民館に慣れ親しむことを目的とし、将来の公民館活動の活性化を図る。	年間5・6回料理教室、陶芸教室（親子参加型）等を実施 対象：小学生（親子） 時期：通年 会場：水谷東公民館 参加費：実費徴収 募集人数：10～30名  継続年数：10年以上 事業予算額：30,000円（報償費） 連携・協力団体：公民館利用団体 外	日時：6月15日（土）、7月6日（土）、11月9日（土）、12月7日（土）、12月21日（土）、3月15日（土）、午前10時～12時 対象：市内小学生（料理教室は小学3年生以上、扇だこは中学生以下） 参加人数：延べ64名 会場：水谷東公民館、前沼公園 講師：利用サークル、富士見市扇だこ保存会 内容：料理教室、七宝焼き教室、キッズ扇だこをつくろう 決算額（講師謝礼）：25,000円	子どもが公民館に親しみを持つことだけでなく、公民館利用団体の方に講師を務めてもらうことで世代間交流も図ることができている。講師の方々が高齢ということもあり、負担が大きくなるのが懸念される。また、水谷東小学校区の生徒の数が減少していく中での参加者の確保が課題である。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水谷東公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標②	新たな人材の発掘							
基本目標③	地域の人材を活かした学習機会の提供							
基本目標④	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画		数値目標：延べ参加者数50名	継続年数：10年以上 事業予算額：30,000円（報償費） 連携・協力団体：公民館利用団体 外	日時：6月15日（土）、7月6日（土）、11月9日（土）、12月7日（土）、12月21日（土）、3月15日（土）、午前10時～12時 対象：市内小学生（料理教室は小学3年生以上、扇だこは中学生以下） 参加人数：延べ64名 会場：水谷東公民館、前沼公園 講師：利用サークル、富士見市扇だこ保存会 内容：料理教室、七宝焼き教室、キッズ扇だこをつくろう 決算額（講師謝礼）：25,000円	子どもが公民館に親しみを持つことだけでなく、公民館利用団体の方に講師を務めてもらうことで世代間交流も図ることができている。講師の方々が高齢ということもあり、負担が大きくなるのが懸念される。また、水谷東小学校区の生徒の数が減少していく中での参加者の確保が課題である。	取組成果	A	A
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
いさいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	施設維持管理事業	誰もが使いやすく、安全で快適に施設が利用できるよう施設の維持管理を図る。	設備の保守点検等各種業務の委託や修繕の適時発注、備品の整備等 対象：－ 時期：通年 会場：－ 参加費：－ 募集人数：－  継続年数：10年以上 事業予算額：8,026,000円	各種設備の保守点検、業務委託のほか、主な修繕として「多目的ホール舞台縦横開閉装置交換修繕」、「多目的ホール舞台修繕」、「エレベーター非常電源用バッテリー交換修繕」、「多目的ホール床修繕」、「1階ロビー空調室内機電磁弁交換修繕」等を実施した。 決算額1,079,496円	安全に快適に利用できる施設として維持に努めた。施設の緊急修繕的に対応や備品の経年劣化による不具合が生じるため、計画的な対応が必要である。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水谷東公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	学習環境の整備							
本事業と関連のある他計画		数値目標：延べ利用人数20,000名	継続年数：10年以上 事業予算額：8,026,000円	各種設備の保守点検、業務委託のほか、主な修繕として「多目的ホール舞台縦横開閉装置交換修繕」、「多目的ホール舞台修繕」、「エレベーター非常電源用バッテリー交換修繕」、「多目的ホール床修繕」、「1階ロビー空調室内機電磁弁交換修繕」等を実施した。 決算額1,079,496円	安全に快適に利用できる施設として維持に努めた。施設の緊急修繕的に対応や備品の経年劣化による不具合が生じるため、計画的な対応が必要である。	取組成果	B	B
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
富士見市公共施設等総合管理方針								
富士見市公共施設個別施設計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	熟年学級	高齢者の生きがいづくりを目的とする。	全体学習会と各部活動の実施 対象：60歳以上の地域住民 時期：6～3月 会場：水谷東公民館 外 参加費：500円 募集人数－  継続年数：10年以上 事業予算額：140,000円（報償費） 連携・協力団体：熟年学級運営委員会	全体会9回開催 参加者延べ380人 クラブ活動9種目 参加者延べ561人 決算額（講師謝礼）143,000円 全体会 73,000円（うち運営費20,000円+人間尊重啓発事業補助金20,000円を含む） クラブ活動 70,000円	役員体制の変更に伴い、ポジティブクラブ通信の内容や全体会の進行等で新たな工夫がもたらされた。男性の受講者を増やすこと。クラブ活動の追加。平均年齢が80歳を超え、能動的な活動ができにくくなっている中でも、楽しい取組みのみならず、学び合いの場、日常生活の質を高め合うような学び・気づきの機会をつくってきたい。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水谷東公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
基本目標③	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画		数値目標：受講者数80名	継続年数：10年以上 事業予算額：140,000円（報償費） 連携・協力団体：熟年学級運営委員会	全体会9回開催 参加者延べ380人 クラブ活動9種目 参加者延べ561人 決算額（講師謝礼）143,000円 全体会 73,000円（うち運営費20,000円+人間尊重啓発事業補助金20,000円を含む） クラブ活動 70,000円	役員体制の変更に伴い、ポジティブクラブ通信の内容や全体会の進行等で新たな工夫がもたらされた。男性の受講者を増やすこと。クラブ活動の追加。平均年齢が80歳を超え、能動的な活動ができにくくなっている中でも、楽しい取組みのみならず、学び合いの場、日常生活の質を高め合うような学び・気づきの機会をつくってきたい。	取組成果	A	A
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
第9期富士見市高齢者保健福祉計画								
第3次富士見市地域福祉計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	豆の木学校	次世代を担う子どもたちの社会性の育成や地域のなかでの繋がりをつくり出し、人材育成を目的とする。	集団生活体験、レクリエーション活動の実施 対象：地域の小学生 時期：8～12月 会場：水谷東公民館 外 参加費：実費徴収 募集人数：－  継続年数：10年以上 事業予算額：5,000円（報償費） 連携・協力団体：おむすび少年団、参加者の保護者	日程：8月4日（日）～8月6日（火） 参加人数：延べ36名 会場：水谷東小学校体育館および校庭 決算額（事業協力者謝礼）5,000円	豆の木学校は歴史のある事業である。かつての参加児童が協力者側（指導員）となり地域を支えていく循環が生まれており、着実に成果を残している。体育館に空調設備が整えられたため、体育館内での活動における熱中症の心配は減ったが、外での活動も充実していることから、引き続き参加者の体調管理は課題である。また、指導員の確保も課題である。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水谷東公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標②	新たな人材の発掘							
本事業と関連のある他計画		数値目標：参加者数30名	継続年数：10年以上 事業予算額：5,000円（報償費） 連携・協力団体：おむすび少年団、参加者の保護者	日程：8月4日（日）～8月6日（火） 参加人数：延べ36名 会場：水谷東小学校体育館および校庭 決算額（事業協力者謝礼）5,000円	豆の木学校は歴史のある事業である。かつての参加児童が協力者側（指導員）となり地域を支えていく循環が生まれており、着実に成果を残している。体育館に空調設備が整えられたため、体育館内での活動における熱中症の心配は減ったが、外での活動も充実していることから、引き続き参加者の体調管理は課題である。また、指導員の確保も課題である。	取組成果	B	B
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	水谷東ふれあいサロン運営事業	介護予防を目的とする。	各種介護予防事業の実施 対象：地域の高齢者 時期：通年 月～土 会場：水谷東ふれあいサロン 参加費：－ 募集人数：－  継続年数：10年以上 事業予算額：－ 連携・協力団体：水谷東ふれあいサロン運営委員会	介護予防関連施設「ふれあいサロン」を活用した各種介護予防事業の開催 参加者延べ5,786人（令和7年3月18日実績）	各事業の参加者は人と出会い、交流できることを楽しみにしている人も多く、介護予防につながっているものとする。活動内容により参加者の固定化や減少傾向がみられるため、新たな参加者を増やすための情報提供に努める必要がある。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水谷東公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
本事業と関連のある他計画		数値目標：参加者数延べ4,600名	継続年数：10年以上 事業予算額：－ 連携・協力団体：水谷東ふれあいサロン運営委員会	介護予防関連施設「ふれあいサロン」を活用した各種介護予防事業の開催 参加者延べ5,786人（令和7年3月18日実績）	各事業の参加者は人と出会い、交流できることを楽しみにしている人も多く、介護予防につながっているものとする。活動内容により参加者の固定化や減少傾向がみられるため、新たな参加者を増やすための情報提供に努める必要がある。	取組成果	A	A
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
いさいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ								
第3次富士見市地域福祉計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	水谷東文化祭	公民利用団体等の活動成果を発表する機会を充実し、学習等の活動を深めるとともに地域住民の交流を図る。  数値目標：参加者数延べ1,100名	展示、舞台、模擬店等 対象：一般 時期：11月予定 会場：水谷東公民館 外 参加費：－ 募集人数：－  継続年数：10年以上 事業予算額：－ 連携・協力団体：水谷東文化祭実行委員会	開催期日：11月16日（土）、17日（日） テーマ：「地域に根ざし 明日につなげ輝きを」 会場：水谷東公民館 内容：展示発表11団体7個人（油彩画、水彩画、絵手紙、折り紙、書道、お茶席、生け花、フラワーアレンジメント、七宝焼き、写真等） 舞台発表13団体1個人（合唱、カラオケ、体操、太極拳、大正琴、楽器演奏等） 模擬店6団体3個人（射的、綿菓子、落花生、コーヒー、ケーキ、パン、カレーライス、フランクフルト、おむすび、おでん、じゃがバター、ジュース等） 体験コーナー（子ども生け花体験、お茶席（表千家））	日頃の活動の成果発表の場として、また世代間の交流の場として参加団体や地域住民の交流の輪が広がり、成果があった。 個人参加の枠を新しく設けたが、引き続き参加団体の増加に向けた工夫が必要である。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水谷東公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標③	学習成果の発表機会の充実							
基本目標③	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画						取組成果	B	B
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている		
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	やなせ川いかだラリー	地域を流れる柳瀬川を活用し、自然や環境について学ぶ機会とするとともに、地域への愛着醸成を図る。  数値目標：出艇数8チーム	参加者が作製したいかだで川を下り、パフォーマンスを競う 対象：一般 時期：7月21日(日) 会場：柳瀬川 参加費：1,000円（1チーム） 募集人数：－  継続年数：10年以上 事業予算額：60,000円（報償費等） 連携・協力団体：やなせ川いかだラリー実行委員会	開催日：7月21日（日） 午前8時30分～ 午後12時まで 会場：志木大橋から下流約350m地点 出艇数：9艇（乗船者20名） 参加費：1,000円（1チーム） 決算額（事業協力者謝礼）：60,000円	柳瀬川に親しみ夏の恒例行事として定着しており、自然に親しみ、環境を考える機会として、また参加者相互の親睦を図ることができた。その他にも、ふじみビデオクラブに撮影・編集をお願いした大会の様子の動画をYouTubeにアップしたり、キッチンカーを呼ぶことで、観客の増員に努めたりと、事業の周知においても様々工夫を行った。 参加チームの増加を目指し、気軽に出艇できるような工夫が求められる。また現在の河川状況を把握し、実施場所の検討や安全面への配慮が必要である。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水谷東公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供							
本事業と関連のある他計画						取組成果	B	B
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている		
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	地域問題学習会	地域課題について、学習する機会を提供し、課題解決、まちづくり推進を目的とする。  数値目標：参加人数50名	対象：一般 時期：未定 会場：水谷東公民館 参加費：－ 募集人数：－  継続年数：10年以上 事業予算額：10,000円（報償費） 連携・協力団体：水谷東安心まちづくり協議会	対象：一般 日時：9月10日（木） 午後1時30分～3時30分 会場：多目的ホール 講師：小林 麦碧氏（市危機管理課職員）、漆原 淳子氏（新座市在住・輪島市出身） テーマ：「令和6年度能登半島地震のリアル」 参加者50人 決算額0円	避難所生活体験をされた漆原さん、富士見市の職員として被災地の避難所運営支援に携わった小林さんのリアルな体験談は、多くの参加者の共感と理解を得たことがアンケート回答からも窺われた。 まち協との連携を図りながら、より多くの地域住民の声に対するアンテナを高くあげ、地域問題を掘り起こし、形にしていく必要がある。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水谷東公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進							
本事業と関連のある他計画						取組成果	B	B
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている		
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	子育てサロン	子育ての不安や孤立感の軽減を目的とする。  数値目標：参加延べ人数115名	交流の場として人形劇やコンサート等を実施 対象：0～3歳の子どもとその保護者 時期：通年 会場：水谷東公民館 参加費：無料 募集人数：各回親子6組程度  継続年数：10年以上 事業予算額：91,000円（報償費） 連携・協力団体：公民館利用団体等	11回開催 参加者延べ60人 決算額（講師謝礼25,000円 事業協力者謝礼49,000円）	参加者アンケートでは、また参加したいなどの声が寄せられるとともに、保護者や子ども同士の交流や情報交換の場として交流を図ることができた。 参加者数を増やすための工夫が必要である。また協力である子育てサロンサポーターの後継者養成や人材確保について検討する必要がある。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水谷東公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供							
本事業と関連のある他計画						取組成果	B	B
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている		
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	音楽の夕べ	生演奏と音楽に触れ、地域交流を図る。  数値目標：参加人数70名	対象：一般 時期：11月 会場：水谷東公民館 参加費：－ 募集人数：－  継続年数：10年以上 事業予算額：30,000円（報償費） 連携・協力団体：町会	日時：11月30日（土） 午後4時～5時 参加者数：77名 会場：多目的ホール 出演：東海林尚文（声楽家）、浅香郁子（ピアノ伴奏） 内容：まっ赤な秋、翼、初恋、一本の鉛筆、落葉松、愛燦燦、みんなで歌おう、もみじ、赤とんぼ アンコール：瑠璃色の地球 決算額（講師謝礼）30,000円	ここ数年好評を博している市内在住声楽家の東海林尚文氏リクエスト企画。今年も定員を大幅に上回る来場者を得た。しばらくは年末恒例企画にしようと考えている。 公民館イルミネーション点灯式は、来場者へのおもてなしとして温かい甘酒が振舞われ、好評を得た。「甘酒が楽しみで来た」という方も。 このコンサートは、年末のクリスマスコンサートというだけでなく、水谷東地域に居ながらにして本格的な音楽に触れる機会としてきた経緯がある。東海林尚文氏はその目的に相応しい。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水谷東公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標③	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画						取組成果	A	B
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている		
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	仙人体操教室	地域住民の心身の健康保持増進と交流の場づくりとともに比較的若い世代の参加促進を目的とする。 数値目標：参加人数35名	対象：一般 時期：未定 会場：水谷東公民館 参加費：－ 募集人数：－  継続年数：5年 事業予算額：20,000円（報償費） 連携・協力団体：－	健康増進事業（タイ式ヨガ）として3回（1/16、23、30）実施 参加者延べ30名 決算額（講師謝礼）15,000円	一般的なヨガではなく、体の内側に語り掛け自身の治癒力を高めていくこと、無理な体制はとらない、呼吸による緊張とリラクセスをしながら様々な動作を反復するルーシーダットン（タイ式ヨガ）を行った。 リピーター参加が多く定評を得ている。講師のスケジュール上、開催時間や日程に限りがある。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 （参考）
担当課	水谷東公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
	本事業と関連のある他計画 第3次富士見市教育振興基本計画							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	水谷東安心まちづくり協議会との連携・支援	連携、支援により地域のまちづくり推進を図る。 数値目標：まちづくり協議会HPアクセス数 前年同月比平均+15,700件	対象：一般 時期：通年 会場：水谷東公民館 集会所 外 参加費：－ 募集人数：－  継続年数：10年以上 事業予算額：－ 連携・協力団体：水谷東安心まちづくり協議会	住民主体のまちづくりを推進するため地域の拠点施設である公民館が事務局として活動の連携支援を実施。参加者 まち協役員延べ23人 部会員75人	今年度の事業実施状況は、コロナ禍以前の水準に戻すことができた。地域問題学習会は、能登半島地震を取り上げて企画することができ、参加者の反響を得た。 地域支え愛隊の活動等地域住民へのさらなる浸透に向け、地道な啓発活動に努める必要がある。また、地域住民の高齢化に伴う人材確保が必要である。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 （参考）
担当課	水谷東公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進							
	本事業と関連のある他計画 第3次富士見市教育振興基本計画							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	公民館運営審議会水谷東地区会議	水谷東公民館の運営・事業・施設維持管理等についての課題を中心に意見交換、協議を行うことを通じて、各種事業展開に活かしていく。 数値目標：審議会開催3回	公民館利用団体や各種地域団体から選出された4人の委員による審議会を開催。  継続年数：10年以上 事業予算額：鶴瀬公民館予算にて一括措置	公民館運営審議会委員4名（水谷東地区委員） 2回の地区会議の実施 決算額（報償費）委員報酬0円（鶴瀬公民館予算から支出）	地域において様々な分野で活躍している委員の視点により、活発な意見交換とともに評価やアドバイスを伺うことができた。 今期の全体協議テーマの議論を進めていくとともに、地域公民館として地域の抱える課題や公民館の役割について、今後の事業展開に活かすための協議が必要である。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 （参考）
担当課	水谷東公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	市民との協働による事業の充実							
基本目標①	推進体制の充実							
基本目標②	新たな人材の発掘							
基本目標③	市民間交流の促進							
	本事業と関連のある他計画 第3次富士見市教育振興基本計画							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	水谷東地区親睦スポーツフェスティバル	スポーツを通じて水谷東地域の住民相互の親睦交流を図るとともに健康増進の一助とする。 数値目標：参加人数90名	小学生から高齢者まで幅広くグラウンドゴルフ大会に参加 対象：一般 時期：未定 会場：学校校庭 参加費：－ 募集人数：－  継続年数：10年以上 事業予算額：－ 連携・協力団体：水谷東地区親睦スポーツフェスティバル実行委員会	第36回水谷東地区親睦スポーツフェスティバル 内容：グラウンドゴルフ大会・モルック体験 開催日：令和7年3月9日（日） 会場：水谷東小学校校庭 参加人数：約100人 参加費：－ 募集人数：－ 決算額（報償費）0円	地区体育祭では、多くの人が水谷東小学校校庭集まり、スポーツを通して親睦を深めることができた。スポーツフェスティバルについても、本来の目的である住民相互の親睦交流を図ること、そして健康の一助とすることができた。 高齢化が進むなかで、参加者全員が楽しむことのできる方法を考える必要がある。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 （参考）
担当課	水谷東公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標③	学習成果の発表機会の充実							
基本目標③	市民間交流の促進							
	本事業と関連のある他計画 第3次富士見市教育振興基本計画							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	水谷東ふるさとまつり	地域住民の親睦と交流を図り、水谷東のふるさとづくりの一助とするふるさとまつりを支援する。 数値目標：参加人数延べ2,700名	子どもから高齢者まで多くの地域住民が参加 対象：一般 時期：5月26日（日） 会場：前沼公園 水谷東公民館 参加費：－ 募集人数：－  継続年数：10年以上 事業予算額：－ 連携・協力団体：水谷東ふるさとまつり実行委員会	開催期日：5月26日（日） 午前10時～午後4時 会場：前沼公園、水谷東公民館 内容：舞台、模擬店、フリーマーケット、あそび広場、健康相談コーナー、ビアホール、抽選会 本部役員8名、実行委員85名 決算額（報償費）0円 ※実行委員会予算で運営	地域の大きなイベントとして、多くの参加者があった。 課題は特になし。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 （参考）
担当課	水谷東公民館							
基本目標	施策の柱							
基本目標③	市民間交流の促進							
	本事業と関連のある他計画 第3次富士見市教育振興基本計画							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	水谷東ふるさとまつり					個別事項評価		
担当課	水谷東公民館					取組成果		
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている	B	B
基本目標③	市民間交流の促進					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		

事業名	縄文の森コンサート	水子貝塚公園を活用し、市民に本物の楽器、楽曲に親しんでいただくことを目的とする。 数値目標：1回開催	毎年、伝統的な楽器を使用した演奏会を実施している。 対象：一般 時期：6月30日(日) 会場：水子貝塚公園内展示館 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：20,000円(報償費)	実施日：6月30日(日) 対象：一般 参加人数：85人 会場：水子貝塚展示館 内容：フルートアンサンブルによる演奏会を開催。 演奏団体：フルートアンサンブルみよし 事業決算額：20,000円	開演前から、数多くの方々が並び事業を楽しみにしてくれている光景が認められた。例年80～100人の参加者が認められ、縄文の森コンサートも恒例の事業として根付いてきていると考えられる。 アンケートでも満足度が高い結果となっている。 ただ、展示館自体が、演奏会に適した構造ではないので、限界はあると感じている。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	水子貝塚資料館							
基本目標	施策の柱							
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供							
本事業と関連のある他計画						取組成果	B	B
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている		
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント(課題及び次年度の方向性等を含む)	担当課評価		
事業名	体験！いつでもセブン	誰もが楽しめる体験を実施し、地域の歴史や文化を学んでもらうとともに、市民間交流の促進を図る。 数値目標：参加者数1000人以上	土・日曜日、祝日や春休みなどの長期休暇中に、まが玉づくりや古代の鏡づくりなどの体験を行っている。 対象：市民 時期：随時 会場：水子貝塚資料館 参加費：無料～800円 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：－ 連携・協力団体：市民学芸員	実施日：土曜・日曜・祝日、学校の春休みなどの長期休暇中。 対象：市民 参加人数：計129日実施し、計973人 会場：水子貝塚資料館 内容：まが玉づくりや古代の鏡づくり、貝輪づくり、どんぐりクラフトなどの体験事業 参加費：無料～800円 事業決算額：－ 連携・協力団体：市民学芸員	いつでも、気軽に水子貝塚公園・資料館に来て体験してもらい、歴史に興味を持ってもらえる事業として定着してきている。 課題としては、参加者が低年齢化しているため、小学生高学年にもっと参加してもらえるような体験の取組みを増やしていく必要がある。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	水子貝塚資料館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供							
基本目標③	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画						取組成果	B	B
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている		
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント(課題及び次年度の方向性等を含む)	担当課評価		
事業名	土曜おもしろミュージアム	身近な素材で手軽にできる体験を実施し、水子貝塚公園に親しんでもらうとともに、地域の歴史や文化を学んでもらうことを目的とする。 数値目標：15回開催	毎月1～2回、土曜日に身近な材料で手軽にできる様々な体験を行っている。 対象：一般 時期：毎月1～2回 会場：水子貝塚資料館 参加費：100～300円程度 募集人数：－ 継続年数：10年以上 連携・協力団体：市民学芸員	実施日：毎月第1・3土曜日に午前・午後の2回実施。 対象：一般 参加人数：計16日(32回)実施し、計379人 会場：水子貝塚資料館、学習広場 内容：皮の中着や貝層パフェ、縄文ポシェットづくりなど体験事業 参加費：100～300円程度 事業決算額：－ 連携・協力団体：市民学芸員	土曜おもしろミュージアムは、定番のメニューに加え、新たな体験メニューを加え、少しでも多くの方に興味をもって参加してもらえるように工夫をしている。 定着はしている事業ではあるが、参加者の低年齢化が進んでいる。高学年をどう取り込めるか検討が必要である。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	水子貝塚資料館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供							
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供							
基本目標③	学習成果の発表機会の充実							
本事業と関連のある他計画						取組成果	B	B
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている		
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント(課題及び次年度の方向性等を含む)	担当課評価		
事業名	夏休み縄文体験	縄文時代の生活を体験してもらおうことで、地元の当時の歴史に興味を持ってもらうことを目的とする。 数値目標：アンケートによる満足度80%以上	毎年夏休み期間中に、火起こしや土器づくりなど縄文時代の生活を体験することができる。 対象：小学4～6年生 時期：7～8月 会場：水子貝塚資料館 参加費：1,500円 募集人数：20人 継続年数：10年以上 事業予算額：10,000円(報償費) 連携・協力団体：資料館友の会(土器づくり部会)、市民学芸員	実施日：7月27日(土)～28日(日)、8月17日(土) 対象：小学4～6年生 参加人数：20人 会場：水子貝塚資料館・公園 内容：夏休み期間中に土器づくりをはじめ火起こしや縄文ポシェットづくりなど縄文時代の生活を体験する。 参加費：1,500円 事業決算額：10,000円 連携・協力団体：資料館友の会土器づくり部会、市民学芸員	水子貝塚公園全体を使って、様々な縄文時代の生活を体験する事業で、普段は経験できない園内の宿泊体験もできることから、リピーターもいる事業である。 継続していきたい事業だが、職員の体制、協力団体の体制が整わないと実施できない事業であるため、内容や実施方法は検討していく必要がある。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	水子貝塚資料館							
基本目標	施策の柱							
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供							
基本目標③	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画						取組成果	B	B
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている		
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント(課題及び次年度の方向性等を含む)	担当課評価		
事業名	ふじみ考古学教室	毎年度の企画展のテーマに合わせた講演会を実施し、市民が文化財に親しんでもらうことを目的とする。 数値目標：参加人数30人以上	毎年度の企画展のテーマに沿った講演会を実施する。 対象：一般 時期：未定 会場：水子貝塚資料館 参加費：－ 募集人数：30人 継続年数：10年以上 事業予算額：25,000円(報償費)	実施日：3月29日(土)13時30分～15:00 対象：一般 参加人数：40人 会場：水子貝塚資料館 内容：企画展「縄文文化のはじまり～八ヶ上遺跡全部見せます～」に関連した講演会 「旧石器・縄文移行期における石器群の系譜―石斧、尖頭器、そして石鏃の登場」 講師：橋本勝雄氏(千葉県教育振興財団) 参加費：－ 事業決算額：20,000円	資料館の事業の中で、一般向けの専門的な講座である。企画展のテーマに即した講座であるため、来館者が企画展の理解を深める貴重な事業と考える。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	水子貝塚資料館							
基本目標	施策の柱							
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供							
基本目標③	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画						取組成果	B	B
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている		
						実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	土器づくり教室	土器づくりの一連の作業（粘土こねから焼成まで）を行うことによって、地域の歴史や文化を学んでもらうことを目的とする。  数値目標：参加者10名以上	富士見市内の遺跡から出土した縄文土器をモデルに土器の製作を行う(全4回)。 対象：一般 時期：1～2月 会場：水子貝塚資料館 参加費：500円 募集人数：15人 継続年数：10年以上 事業予算額：40,000円（報償費） 連携・協力団体：資料館友の会（土器づくり部会）	実施日及び内容：12月1日(日)－事前学習・粘土こね、12月15日(日)－つみあげ・成形、12月22日(日)－みがき、1月19日(日)－土器の焼成 対象：一般 参加人数：12人 会場：水子貝塚資料館・公園 参加費：500円 事業決算額：40,000円 連携・協力団体：資料館友の会土器づくり部会	水子貝塚公園ができる以前から続く体験事業であり、縄文土器を実際に触れて、造ることができるため、例年、多くの参加希望者がある事業である。 現在は良いが、自然の粘土・川砂を使用しているため、材料の採取・確保が難しい。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)				
担当課	水子貝塚資料館					取組成果	B	B				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法						
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					2 手法は概ね適切である						
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性						
本事業と関連のある他計画						第3次富士見市教育振興基本計画		3 次年度も継続				
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	ふじみジュニア考古学クラブ					考古学についての基礎学習や体験を通して、富士見市の歴史や遺跡に興味をもってもらうことを目的とする。  数値目標：5回開催	大学の教授や資料館職員が講師となり、考古学について講義や体験を通して楽しく学ぶ。 対象：小学4～6年生 時期：10～12月 会場：水子貝塚資料館他 参加費：300円程度 募集人数：15人 継続年数：10年以上 事業予算額：25,000円（報償費）	実施日及び内容：10月12日(土)－遺跡のある場所を歩こう、10月26日(土)－遺跡の調査を体験しよう、11月9日(土)－資料の調査・研究をしよう、11月23日(土)－大学の先生から学ぼう、12月7日(土)－研究成果を展示しよう 対象：小学4～6年生 参加人数：14人（うち、修了者12人） 会場：水子貝塚資料館 参加費：300円 事業決算額：25,000円 連携・協力機関：生涯学習課	子どもが普段経験できない発掘体験や大学教授から専門的に考古学について学べる機会、アンケートでも、満足度が高い結果であった。 特に、発掘体験は参加する子どもたちは楽しみにしているものであるが、生涯学習課で実施している発掘調査とのタイミングを合わせるのが難しい。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水子貝塚資料館									取組成果	B	B
基本目標	施策の柱	2 一定の成果を挙げている										
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供	実施手法										
基本目標③	市民間交流の促進	2 手法は概ね適切である										
本事業と関連のある他計画		第3次富士見市教育振興基本計画		継続性・発展性								
本事業と関連のある他計画		第3次富士見市教育振興基本計画		3 次年度も継続								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）					担当課評価		
事業名	水子貝塚星空シアター	水子貝塚公園を活用し、市民間交流の推進を図るとともに、地域の歴史や文化を学んでもらうことを目的とする。  数値目標：参加人数1500人以上	毎年9月の第1土曜日に、水子貝塚公園を会場に実施している。広場での縄文体験やおみこし行列、ステージでの和太鼓の演奏やミニライブ、そして、夜には野外での映画鑑賞といった様々なイベントがある。 対象：一般 時期：9月7日（土） 会場：水子貝塚公園 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：1,398,000円（補助金） 連携協力団体：水子貝塚星空シアター実行委員会・市民学芸員	実施日：9月7日(土) 15時～20時30分 対象：一般 参加人数：3,300人 会場：水子貝塚公園 内容：野外映画会「ミニオンズ フィーバー」、ステージ発表、ミニライブ、縄文体験、模擬店、特別企画「火おこしチャンピオンシップ」 参加費：－ 事業決算額：1,398,000円 連携・協力団体：－	令和6年度のシアターは、5年に1度の水子貝塚まつりを兼ねた催しとなるので、特別企画として火おこしチャンピオンシップを実施。ステージ上で火おこしの技術を競ってもらい、1位・2位を市長から縄文トロフィーを表彰。盛り上がりみせた。 地域の交流イベントとして定着し、多くの来園者でにぎわう事業である。課題としては、物価の高騰により運営が厳しくなっている。今年度は模擬店の出店料を値上げして対応した。今後対応を検討する必要がある。					個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水子貝塚資料館									取組成果	A	A
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法						
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					2 手法は概ね適切である						
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性						
本事業と関連のある他計画						第3次富士見市教育振興基本計画		3 次年度も継続				
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民学芸員育成事業					生涯学習社会にふさわしい市民に開かれた資料館事業を市民とともに創出することを目的とする。  数値目標：活動日数100日以上	生涯学習社会に相応しい市民に開かれた資料館事業を市民と共に創出するため、市民学芸員の育成を行う。 対象：市民学芸員 時期：随時 会場：水子貝塚資料館 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：360,800円（報償費） 連携・協力団体：市民学芸員	実施内容：資料館事業（展示案内、ミュージランド、星空シアター、30周年記念事業縄文フェスタなど） 対象：市民学芸員 参加人数：令和6年度水子貝塚での登録者36人 会場：水子貝塚資料館・公園 時期：土曜・日曜・祝日および資料館事業で随時 参加費：－ 事業決算額：293,300円 連携・協力団体：市民学芸員	資料館事業は、生涯学習の推進をはかるため、養成講座を受講し希望した人を市民学芸員として活動してもらい、共に事業をつくりあげている。令和6年度も多くの事業に携わってもらい、成果を得ている。 市民学芸員制度は平成12年から始まり、新しい人材も入っているが、全体的に高齢化が進んでいる。引き続き、新しい人材の発掘と育成が必要である。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	水子貝塚資料館									取組成果	B	B
基本目標	施策の柱	2 一定の成果を挙げている										
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供	実施手法										
基本目標③	学習成果の活用機会の創出	2 手法は概ね適切である										
本事業と関連のある他計画		第3次富士見市教育振興基本計画		継続性・発展性								
本事業と関連のある他計画		第3次富士見市教育振興基本計画		3 次年度も継続								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント(課題含む)	担当課評価		
事業名	資料館友の会協働事業	体験教室や先人たちの技術を学び、市民の生涯学習の推進と向上を図る。 数値目標：協働事業2回以上	資料館友の会等と協働で、展示や体験学習などを開催する。 対象：資料館友の会 時期：随時 会場：水子貝塚資料館他 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 連携・関連団体：資料館友の会	実施内容：資料館事業（土器づくり教室、夏休み縄文体験、星空シアター、30周年記念事業縄文フェスタなど）で協働・協力 対象：資料館友の会 会場：水子貝塚資料館・公園 時期：事業にあわせて随時 参加費：－ 連携・協力団体：資料館友の会	資料館事業は、友の会など協力が必須なものが多くある。こちらからはデータや資料を提供し、事業にも協力いただくことで、生涯学習の推進をはかっている。今年度は土器づくりをはじめ、周年事業にも協力してもらい、成果を得ている。 課題としては、友の会会員の高齢化が進み、新たな人材の確保が必要である。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	水子貝塚資料館					取組成果	B	B
基本目標						2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	学習環境の整備					実施手法		
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					2 手法は概ね適切である		
基本目標③	地域の人材を活かした学習機会の提供					継続性・発展性	3 次年度も継続	
基本目標④	学習成果の活用機会の創出							
基本目標⑤	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント(課題及び次年度の方向性等を含む)	担当課評価		
事業名	水子貝塚資料館企画展示事業	収蔵資料についての研究成果を企画展として発表し、市民に知っていただくことで、地域の歴史を学んでもらうことを目的とする。 数値目標：見学者数6000人以上	毎年、収蔵資料の研究成果等を、テーマに沿って発表する企画展を実施。 対象：一般 時期：未定 会場：水子貝塚資料館 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：5000円(報償費)189,000円(展示委託)	実施日：令和7年3月15日(土)～6月15日(日) 対象：一般 参加人数：－ 会場：水子貝塚資料館 内容：①令和6年度企画展「縄文文化のはじまり～ハケ上遺跡全部見せます～」 ②企画展関連事業「石器づくりワークショップ」3月23日(日)13時30分～15時 講師：金彦 氏(東北大学考古学研究室大学院生)参加者25人 参加費：－ 事業決算額：40,000円(報償費)118,800円(展示委託)457,600円(印刷製本費)	今年度は、縄文時代草創期の遺跡であるハケ上遺跡を中心に資料を紹介し、市内における縄文時代のはじまりをテーマとした企画展。今回の企画展では、ワークショップも開催し、石器づくりの実演と体験を実施し、好評を得た。 この企画展以外にも、コーナー展や特別展として、短期間ではあるが、ミニ企画展を実施し、収蔵資料の紹介、成果を展示している。 常設展と並び、資料館の根幹となる事業で、市民の歴史学習の基礎となる事業で今後もテーマの開拓と継続が必要と考えている。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	水子貝塚資料館					取組成果	B	B
基本目標						2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	学習環境の整備					実施手法		
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					2 手法は概ね適切である		
基本目標③	学習成果の発表機会の充実					継続性・発展性	3 次年度も継続	
基本目標④	学習成果の活用機会の創出							
基本目標⑤	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント(課題及び次年度の方向性等を含む)	担当課評価		
事業名	難波田城公園まつり	難波田城公園を活用し、地域の歴史や文化、伝統行事などを学ぶとともに、市民間交流の促進を図る。 数値目標：来園者数を2700人以上にする(コロナ前の人数)	毎年6月の第1日曜日に、難波田城公園を会場に実施。古民家の庭での芸能発表や、古民家内での拓本・紙芝居などの体験や実演、武者行列・火縄銃演武といった様々なイベントを実施する。活用推進協議会への補助事業として実施 対象：一般 時期：6月2日(日) 会場：難波田城公園 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：23年 事業予算額：267,000円	日時：6/2(日) 会場：難波田城公園内 参加人数：延べ1900人 補助金の交付先：難波田城公園活用推進協議会 事業決算額：258,131円	今年度は開催時間を新型コロナウイルス流行以前と同じ15時終了に戻し、以前と同様の体制で実施することができた。また、市長が富士見市の姉妹都市・シャバツ市があるセルビア協和国の大使を招き、火縄銃演武に参加していただいた。 しかし、初めての雨天開催となり、来園者数は昨年(延べ2500人)より減った。音響設備の雨対策や芸能発表の会場転換などが課題として浮き彫りになった。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	難波田城資料館					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	地域資源を活かした生涯学習の提供					実施手法		
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供					2 手法は概ね適切である		
基本目標③	学習成果の活用機会の創出					継続性・発展性	3 次年度も継続	
基本目標④	市民間交流の促進							
基本目標⑤	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント(課題及び次年度の方向性等を含む)	担当課評価		
事業名	ふるさと体験	地域の伝統行事や暮らしの知恵などを先人たちから学び、伝統行事や先人たちの技術、知恵などを学ぶ機会とする。 数値目標：各事業の参加者を定員の9割以上	関係団体・協力者の支援を受けながら、古民家での味噌づくりや藍の生葉染めなどの体験教室を実施。 対象：一般 時期：8月～3月 会場：難波田城公園 参加費：300円～2,000円 募集人数：10人～30人 継続年数：23年 事業予算額：15,000円	日時： ①藍の生葉染め7/27 ②お月見団子づくり9/14 ③古民家で手作りみそ2/22 会場：難波田城公園内 講師：市民学芸員・近隣農家 参加人数・対定員割合： ①10人・10割 ②7組・8.75割 ③15人・10割 委託先：－ 事業決算額：14,200円	昨年度まで実施していた「正月飾り作り」は、講師の高齢化と、材料確保が値段と手間の問題で難しくなったことを理由に実施しなかった。今後の開催は検討課題である。しかし、実施した3つの事業については満員2つ、9割まであと一歩のお月見団子については、子ども連れの参加が多く、伝承行事にちなんだ行事食を作る楽しさを味わってもらえた。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	難波田城資料館					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					2 手法は概ね適切である		
基本目標③	地域の人材を活かした学習機会の提供					継続性・発展性	3 次年度も継続	
基本目標④	市民間交流の促進							
基本目標⑤	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント(課題及び次年度の方向性等を含む)	担当課評価		
事業名	ちよこっつ体験	幼児から大人まで楽しめる体験を実施し、地域の歴史や文化を学ぶ機会とする。 数値目標：年100回以上実施	土曜日、日曜日、祝日に、ブンブンゴマづくりやジュズダマの腕輪づくりなどの簡単にできる体験を実施。 対象：一般 時期：土日祝日 会場：難波田城公園 参加費：無料～200円 募集人数：－ 継続年数：21年 事業予算額：25,000円	日時：通年(土日祝) 会場：難波田城公園 協力者：市民学芸員等 実施回数：100回 参加人数：のべ1770人(R7.3.20現在) 委託先：－ 事業決算額：89,000円	昨年度はほぼ全ての土日祝で開催したが、他の主催事業と時間が重なる場合や職員数が不足するとき等には不実施としたため、実施回数は前年度111回から100回に減った。しかし、今年度は新しいメニューをいくつか実施し、市民学芸員が指導協力しやすい体制を整えたので、今後の運営に活かしたい。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価(参考)
担当課	難波田城資料館					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供					2 手法は概ね適切である		
基本目標③	地域の人材を活かした学習機会の提供					継続性・発展性	3 次年度も継続	
基本目標④	市民間交流の促進							
基本目標⑤	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	難波田城資料館企画展示事業	収集した文化財や収蔵資料についての研究成果を企画展として発表し、市民に知っていただくことで、地域の歴史を学ぶ機会とする。  数値目標：会期中の入館者を1日当たり平均160人以上にする	毎年春と秋に、収集した文化財や収蔵資料の研究成果を発表する企画展を実施。 対象：一般 時期：10月～1月(秋)、3月～6月(春) 会場：難波田城資料館特別展示室 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：23年 事業予算額：800,000円	事業決算額：741,960円 【令和6年秋季企画展】 日時：10/19～1/13 テーマ：作って食べる 昔の道具 入館者数1日平均：135人 【令和7年春季企画展】 日時：3/15～6/8 テーマ：東上線開通110年 入館者数1日平均：154人（3/21現在） 関連講演会講師：老川慶喜氏	原則として、秋は収蔵資料をテーマに合わせて紹介する企画展、春は展示図録を作成し、関連講演会も開催する企画展と位置付けている。1日平均入館者数は目標に届かなかったが、今年度から市民学芸員を対象として「企画展サポーター」を募集し、資料館が資料を収蔵する意義を学べる機会を提供し、好評を得た。秋の関連イベント「新米をカマドで炊いて食べよう」も好評だった。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	難波田城資料館					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
		3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	マイミュージアム事業	市民の作品などを発表する場を設けることで、発表者・見学する市民双方のための生涯学習の場とする。  数値目標：事業実施2回以上	資料館主催展示がない期間に、市民の作品や学習成果を発表する場として特別展示室を貸与する。 対象：一般 時期：資料館主催企画展のない時期 会場：難波田城資料館特別展示室 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：23年 事業予算額：－	日時：7/13～7/26、2/8～2/24 会場：難波田城資料館特別展示室 講師：－ 参加人数：－ 委託先：－  事業決算額：－円	当館市民学芸員数人が属する「古城の会」の研究発表展示、市内の幼稚園児による「南畑幼稚園作品展」に会場を貸出した。会場を借りた市民はもとより、多くの来館者が楽しんでいた。今後も、市民の作品などの発表の場を設けていく。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	難波田城資料館					取組成果	A	A
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	市民との協働による事業の充実					実施手法		
基本目標③	学習成果の発表機会の充実					2 手法は概ね適切である		
基本目標③	学習成果の活用機会の創出					継続性・発展性		
		3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民学芸員育成事業（再掲）	生涯学習社会にふさわしい市民に開かれた資料館事業を市民と共に創出する。  数値目標：登録人数を35人以上	研修を行い、市民学芸員の育成を行う。市民学芸員は史跡公園のガイドや体験イベントの支援を行う。 対象：市民学芸員 時期：通年 会場：難波田城公園 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：23年 事業予算額：198,000円	日時：通年 会場：難波田城公園 講師：なし 登録人数：38人（途中で1人退会） 委託先：なし  事業決算額：－円（実施中の為未定）	今年度は第9期市民学芸員の活動1年目。土日祝の園内ガイドツアーの実施、ちよこっと体験の指導協力、学校見学対応、管外研修など、今年度も積極的に活動を実施した。 課題としては、①ガイドツアー未経験者への対応 ②経験を積んだ市民学芸員の引退が増えたことによる、活動の引継ぎ方法などがある。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	難波田城資料館					取組成果	B	A
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					実施手法		
基本目標③	学習成果の活用機会の創出					2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
		3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	資料館友の会協働事業（再掲）	体験教室や先人たちの技術を学び、市民の生涯学習の推進と向上を図る。  数値目標：事業回数計10回以上実施	資料館友の会と協働で竹かご教室、拓本教室、はたおり（さきおり）教室、糸つむぎ体験、ふるさと探訪などを開催。対象：一般 時期：－ 会場：難波田城公園 参加費：無料～1,000円 募集人数：8人～30人 継続年数：23年 事業予算額：35,000円	日時：4月～3月 実施回数：17回 会場：難波田城公園、富士見市内、川越市 講師：資料館友の会竹かご部会、資料館友の会ふるさと探訪部会 参加人数：8～78人 委託先：なし 事業決算額：28,000円	実施回数は目標を大きく上回った。各事業の参加者は、満足した様子だった。 長時間の教室としては参加人数が増えなかった拓本教室については、ちよこっと体験として実施し、参加者の増加につながった。 来年度も実施日程や内容を見直しながら、より多くの方が参加できるように検討したい。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	難波田城資料館					取組成果	B	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					実施手法		
基本目標③	学習成果の活用機会の創出					2 手法は概ね適切である		
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性		
		3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	田んぼ体験隊	昔ながらの手法で米作りを体験することで、先人たちの知恵を学ぶと共に、食物の大切さを学ぶ。  数値目標：事業参加者を定員の9割以上	毎年5月から12月にかけて難波田城公園内の田んぼで実施。種まきから田植え、稲刈り、脱穀、餅つきまで、昔ながらの手法で米作りを体験してもらう。主な参加者は親子。対象：一般 時期：5月～12月 会場：難波田城公園 参加費：1,000円 募集人数：15組（約50人） 継続年数：22年 事業予算額：10,000円	日時：5月～12月 会場：難波田城公園内 講師：柳下春良氏（近隣農家） 参加人数：15組(54人) 委託先：－  事業決算額：10,000円	今年度も定員を超える申込み希望があり、参加者は昔ながらの米作りを体験し、食のありがたさを考える様子が見てとれた。特に今年度は、井戸ポンプ故障と田の状態が良い状態ではなかったことに加え、猛暑と外来カメムシなどの影響で米の収量は過去最低だったので、その説明もしたうえで農業の難しさ・大切さを伝えた。来年度は改善できる部分は改善したい。	個別事項評価	令和6年度の評価	令和5年度の評価 (参考)
担当課	難波田城資料館					取組成果	A	A
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	市民との協働による事業の充実					実施手法		
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
		3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								